このたびはコルトをお買い上げいただき,ありがとうございます。

J09200100594

この取扱説明書は,お客様のお車をいつも安全・快適に運転していただくための正しい取り扱いについて説明しています。
また,お車のお手入れや万一のときの処置についても記載してありますので,ご使用前に必ずお読みください。
「安全なドライブのために」は重要ですので,しっかりお読みください。

安全に関する表示

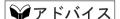
● 運転者や他の人が傷害を受けるおそれがあることと,その回避方法をつぎの表示で記載しています。重要な事項ですので必ず読んでお守りください。

記載事項を守らないと,死亡や重大な傷害につながるおそれがあること。

記載事項を守らないと,傷害や事故につながるおそれがあること。

安全のためにしてはならない行為。(イラスト内に表示されています)

その他の表示

● お車に関することやその他のアドバイスは,つぎの表示で記載しています。

お車のために守っていただきたいこと。
知っておくと便利なこと。

タイプ別装備
グレードにより異なる装備やオプション装備に表示しています。

● 取扱説明書は車の中に保管してください。
● 保証および点検,整備内容については,別冊のメンテナンスノートをご覧ください。
● 三菱マルチエンターテイメントシステムの取り扱い要領については別冊の取扱説明書をご覧ください。
● お車をゆずられるときは,取扱説明書およびメンテナンスノートを車につけておいてください。

・装備仕様の変更などにより,本書の内容がお客様のお車と合わないことがありますので,あらかじめご了承ください。
・ご不明な点は,担当営業スタッフにお問い合わせください。

目次

絵で見る目次	1
安全なドライブのために お車を安全に運転していただくための正しい取り扱いについて説明しています。	2
環境にやさしく快適なドライブのために	3
各部の開閉	4
安全装備	5
計器盤・スイッチ	6
運転装置	7
室内装備	8
エアコン	9
オーディオ	10
簡単な整備・車のお手入れ	11
寒冷時の取り扱い	12
もしものときの処置	13
サービスデータ	14
さくいん	15

ハンドルまわり

J00100800571

•装備仕様の違いやオプションなども含んでいます。

AAF002572

計器盤まわり

J00100101005

CVT車（スマートシフト車）
非常点滅灯スイッチ
P. 6-21
助手席SRSエアバッグ
P. 5-31，5-34
セキュリティーインジ
ケーターP. 4-13
セレクターレバー
P. 7-13
吹き出し口P. 9-2
ヒューズボックス
P. 13-38
グローブボックス
P. 8-6
駐車ブレーキ
P. 7-2
DCソケットP. 8-3
カップホルダー
P. 8-7
フューエルリッド（燃料補給口）
オープナーP. 4-22
AAF003566

CVT車（フロアシフト車）
助手席SRSエアバッグ
P. 5-31，5-34
セキュリティー
インジケーターP. 4-13
非常点滅灯スイッチ
P. 6-21
吹き出し口P. 9-2
ヒューズボックス
P. 13-38
グローブボックス
P. 8-6
DCソケット
P. 8-3
駐車ブレーキP. 7-2
セレクターレバーP. 7-13
フューエルリッド（燃料補給口）
オープナーP. 4-22
カップホルダー
（フロントシート用）
P. 8-7
小物入れ／
カップホルダー（リヤシート用）
P. 8-8
AAF003579

センターパネル

J00100200331

•装備仕様の違いやオプションなども含んでいます。

AAF002240

室内

J00100301078

•装備仕様の違いやオプションなども含んでいます。

AAF004550

•装備仕様の違いやオプションなども含んでいます。

ラゲッジルーム

J00100600276

1

4WD車（除く，応急用スペアタイヤ付き車）
カーゴフロア
パットセンター
けん引フック
P. 13-34
ジャッキバー
P. 13-11
ホイールナット
レンチ
（ジャッキハン
ドル）P. 13-11
パンクタイヤ応急修理キット
P. 13-23
ジャッキP. 13-10
パンクタイヤ応急修理キット
P. 13-23
TAF000535

4WD車(応急用スペアタイヤ付き車)
カーゴフロア
パット
カーゴフロア
パット
ジャッキP. 13-10
ホイールナットレンチ
(ジャッキハンドル)
P. 13-11
スペアタイヤP. 13-15
けん引フック
P. 13-34
ジャッキバーP. 13-11
AAF002110

外まわり

J00100401255

RALLIART Version-R
エンジンフード
（ボンネット）P. 4-20
アンテナP. 10-29
フューエルリッド
（燃料給油口）
P. 4-21
フロントワイパー
P. 6-22
パワーウインドウ
P. 4-15
ドアミラー
P. 7-5
方向指示灯／非常点滅灯
P. 6-20，6-21，13-43，
13-51
フロントフォグランプ
P. 6-21，13-43，13-52
ヘッドライトP. 6-15，13-43，13-46，13-48
車幅灯P. 6-15，13-43，13-49
方向指示灯／非常点滅灯P. 6-20，6-21，13-43，13-50
AAF002279

1

除く，RALLIART Version-R
ハイマウントストップランプ
P. 13-43，13-56
テールゲートP. 4-7
ドアの施錠・解錠P. 4-4
キーレスエントリーP. 4-2
リヤワイパーP. 6-24
番号灯P. 6-15，
13-43，13-55
方向指示灯／
非常点滅灯
P. 6-20，6-21，
13-43，13-54
制動灯P. 13-43，13-54
尾灯
P. 6-15，13-43，13-54
後退灯
P. 13-43，13-54
タイヤ，ホイールのサイズP. 14-7
タイヤの空気圧P. 14-8
タイヤ交換P. 13-17
タイヤローテーションP. 11-3
タイヤチェーンP. 12-6
・装備仕様の違いやオプションなども含んでいます。
AAF004488

RALLIART Version-R
ハイマウントストップランプ
P. 13-43，13-56
ドアの施錠･解錠P. 4-4
キーレスエントリーP. 4-2
方向指示灯／
非常点滅灯
P. 6-20，6-21，
13-43，13-54
リヤワイパーP. 6-24
尾灯P. 6-15，
13-43，13-54
番号灯P. 6-15，
13-43，13-55
テールゲートP. 4-7
制動灯P. 13-43，13-54
後退灯
P. 13-43，13-54
タイヤ，ホイールのサイズP. 14-7
タイヤの空気圧P. 14-8
タイヤ交換P. 13-17
タイヤローテーションP. 11-3
タイヤチェーンP. 12-6
AAF002282

エンジンルーム

J00100501038

安全なドライブのために

お車のご使用前に知っておいていただきたいこと，守っていただきたい「警告」「注意」をまとめて記載しています。
重要ですので，しっかりお読みください。

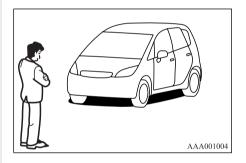
日常点検 2- 2
出発前は 2- 4
お子さまを乗せるときは. 2- 7
走行するときは. 2- 11
走行中に異常に気づいたら 2- 15
CVT 車の取り扱い 2- 16
駐停車するときは 2- 19
こんなことにも注意 2- 21
セルフ式ガソリンスタンドを利用するときは 2- 24

日常点検

J00200100302

点検，整備を忘れずに

- 日常点検整備と定期点検整備は，お客様の責任において実施していただくことが法律で義務付けられています。
  事故や故障を未然に防ぐため必ず実施してください。
- 日常点検整備は，長距離を走行するときや，洗車，給油時などにお客様自身で行う点検整備です。
- 日常点検整備の項目および点検のしかたについては，別冊の「メンテナンスノート」に記載してありますので必ずお読みください。

AAA001004

エンジンルームを点検するときは

- エンジン回転中はエンジンルームに手を入れないでください。
  手や衣服がドライブベルトなどに巻き込まれるおそれがあります。
- エンジンルーム内の部品には高温になるものがあります。
  やけどをするおそれがありますので，各部が十分冷えてから点検してください。
- 排気ガスなどが定められた基準に合うように調整されていますので，アイドリング回転数などのエンジン調整は三菱自動車販売会社で行ってください。

ラジエーターやコンデンスタンク（冷却水）が熱いときは

- ラジエーターやコンデンスタンク（冷却水）が熱いときは，ラジエーターキャップを外さないでください。
  蒸気や熱湯が吹き出しやけどをするおそれがあります。

燃料は指定されたものを補給

J00202000536

- 必ず無鉛ガソリンを補給してください。
- 軽油や有鉛ガソリン，粗悪ガソリン，高濃度アルコール混合燃料，三菱自動車純正部品以外のガソリン添加剤（含む，水分除去剤）を使用しないでください。
  排気ガス浄化装置や燃料噴射装置が損傷するおそれがあります。
  →「メンテナンスデータ：燃料の量と種類」P. 14-2

三菱自動車販売会社で点検を受けて

J00202100191

- つぎの場合は車が故障しているおそれがあります。
  そのままにしておくと走行に悪影響をおよぼしたり，思わぬ事故につながるおそれがあります。
  三菱自動車販売会社で点検を受けてください。
  - いつもと違う音や臭いや振動がするとき
  - ブレーキ液が不足しているとき
  - 地面に油の漏れたあとが残っているとき

出発前は

J00200200518

シートベルトは必ず着用

- 運転する前に必ずシートベルトを着用してください。
  →「シートベルト」P. 5-18
- 同乗者にもシートベルトを着用させてください。

TAA001410

燃料の入った容器やスプレー缶類を車の中に持ち込まない

- 燃料の入った容器やスプレー缶類を車の中に持ち込まないでください。
  容器が破裂したり，蒸発ガスに引火し爆発するおそれがあります。

TAA001423

窓越しにエンジンをかけない

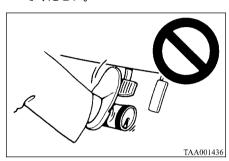
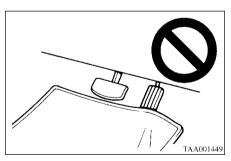
- 窓越しなど車外からエンジンをかけないでください。思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 正しい運転姿勢で運転席に座り，エンジンをかける習慣をつけましょう。
- マニュアル車は，シフトレバーをⓃに入れ，クラッチペダルをいっぱいまで踏み込みます。

  CVT車は，セレクターレバーがⓅの位置にあることを確認します。
  いずれの場合も思わぬ事故を避けるため，ブレーキペダルを右足でしっかり踏んでエンジンをかける習慣をつけてください。
  →「エンジンのかけ方」P. 7-9
- マニュアル車はクラッチスタートシステムが装着されています。

クラッチスタートシステムとは…

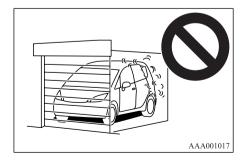
- 誤操作を防ぐため，クラッチペダルをいっぱいに踏み込まないとエンジンがかからない装置です。

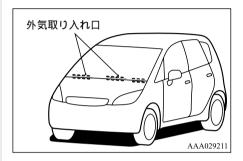
運転席の足元付近を点検

- ブレーキペダルの下に物がころがり込むと，ブレーキ操作ができなくなるおそれがあります。
  出発前に運転席の足元付近を点検してください。

- フロアマットはペダルに引っかからないよう，車にあったものを正しく敷いてください。
  また，ずれないようフックなどで確実に固定してください。
  ペダルをおおったり，重ねて敷くとペダル操作の妨げになり，重大な事故につながるおそれがあります。

荷物を積むときは

- 荷物はできるだけ低くし，シートの高さ以上に積まないでください。
  後方の確認ができなくなったり，急ブレーキをかけたとき，荷物が前方に飛び出してケガをするなど，思わぬ事故につながるおそれがあります。
  また，コーナリングのとき，車の揺れが大きくなり，思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 重い荷物はできるだけ前の方に積んでください。
  後ろの方が重くなるとハンドルが不安定になります。
- 荷物は荷くずれしないようにしっかりと固定してください。

周囲が囲まれた換気の悪い場所でエンジンをかけたままにしない

- 周囲が囲まれた換気の悪い場所でエンジンをかけたままにしないでください。
  排気ガスが車内や建物内などに充満して，ガス中毒になるおそれがあります。
- やむを得ないときは，換気を十分に行ってください。

フロントガラス前部の雪，落ち葉などは取り除く

● フロントガラス前部の外気取り入れ口に雪，落ち葉などが付いているときは取り除いてください。
そのままにしておくと，車内の換気が十分にできずガラスが曇り，視界が悪くなるおそれがあります。

お子さまを乗せるときは

J00200300548

お子さまはリヤシートに座らせる

● 助手席ではお子さまの動作が気になり運転の妨げになるだけでなく，お子さまが運転装置にふれて，重大な事故につながるおそれがあります。

● やむを得ず助手席にお子さまを乗せるときでも，つぎのことをお守りください。
- 必ずシートベルトを着用する
- シートをできるだけ後方に下げる
- シートに深く腰かけて，背もたれに背中がついた正しい姿勢で座らせる

● お子さまがシートベルトやチャイルドシートを使用せずにインストルメントパネルの前に立っていたり，助手席に正しい姿勢で座っていなかったりすると，SRS エアバッグが膨らむ際，SRSエアバッグにより，命にかかわる重大な傷害を受けるおそれがあります。

AAA001046

お子さまにもシートベルトを必ず着用させる

● ひざの上にお子さまを抱かないでください。
急ブレーキをかけたときや衝突したときなど，腕だけでは十分に支えることができず，お子さまが重大な傷害を受けるおそれがあります。

AAA001020

● リヤシートでも必ずシートベルトを着用してください。

2

2

お子さまにはチャイルドシートを使用する

- シートベルトを着けたとき，肩のベルトが首，あご，顔などに当たる場合や，腰ベルトが腰骨にかからないような小さなお子さまには，体格に合ったチャイルドシートを使用してください。
→「チャイルドシート」P. 5-25
通常のシートベルトでは，衝突のとき強い圧迫を受け，シートベルトにより重大な傷害を受けるおそれがあります。
- ６才未満のお子さまは，チャイルドシートの使用が法律で義務付けられています。
- 乳児用シート（ベビーシート）は助手席に取り付けないでください。
助手席に取り付けると助手席エアバッグが膨らむとき，強い力が後ろ向き乳児用シート（ベビーシート）の上部にかかり，背もたれに押しつけられて，命にかかわる重大な傷害を受けるおそれがあります。

お子さまの安全のための装備

- お子さまの安全のため，つぎのような装備があります。
使い方を一度お読みになって，お子さまの安全にお役立てください。

◆ ISO[*1]　FIX 対応チャイルドシート固定専用バー

[*1] ISO は International Standardization Organization（国際標準化機構）の略語です。

- ISO　FIX 規格に対応したチャイルドシート[*2]を取り付けるための固定専用バーです。
この固定専用バーを使用するときは，チャイルドシートを車両のシートベルトで固定する必要はありません。
→「ISO FIX 対応チャイルドシート固定専用バーでの取り付け方」P. 5-28

[*2] お客様のお車用として認可を受けたチャイルドシートのみ使用できます。

◆ チャイルドシート固定機構付シートベルト

- シートベルトを全部引き出すと，巻き戻し途中では引き出し方向にベルトが動かない状態となり，ISO FIX 対応していないチャイルドシートを固定することができます。
→「チャイルドシート固定機構付シートベルトでの取り付け方」P. 5-29

◆ セーフティー機構付パワーウインドウ

● 万一，お子さまが手や首などをはさんだとき，自動的にドアガラスが少し下がります。
→「セーフティー機構」P. 4-17

◆ セーフティー機構付サンルーフ タイプ別装備

● 万一，お子さまが手や首などをはさんだとき，自動的にサンルーフが少し開きます。
→「セーフティー機構」P. 4-18

◆ ロックスイッチ

● ロックスイッチを ON にすると，助手席，後席のパワーウインドウスイッチを操作してもドアガラスは開閉できなくなります。
→「ロックスイッチ」P. 4-16

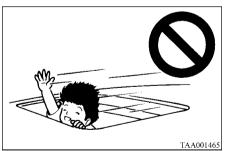
◆ チャイルドプロテクション

● ドアにあるレバーを施錠側にしておくと，後席ドアが車内から開けられなくなります。
→「チャイルドプロテクション（後席ドア安全施錠装置）」P. 4-7

ドア，ウインドウ，サンルーフ，シートの操作は大人が行う

● 手や顔などをはさまないよう注意して操作してください。
● お子さまが誤って操作しないよう，パワーウインドウにはロックスイッチをお使いください。

窓やサンルーフから手や顔を出させない

● 窓やサンルーフから手や顔を出していると，車外の物などに当たったり，急ブレーキをかけたとき，重大な傷害を受けるおそれがあります。

お子さまをシートベルトで遊ばせない

● お子さまをシートベルトで遊ばせないでください。
特にチャイルドシート固定機構付シートベルトの場合，ベルトを体に巻きつけたりして遊んでいると，誤ってチャイルドシート固定機構が作動し，ベルトが引き出せずに窒息などの重大な傷害を受けるおそれがあります。
万一，誤ってチャイルドシート固定機構を作動させてしまい，シートベルトが外せなくなったときは，はさみなどでベルトを切断してください。

AAA024346

車から離れるときはキーを抜いてお子さまも一緒に

● お子さまだけを車内に残さないでください。
炎天下での車内は高温となり，熱射病などのおそれがあります。
● キーを差したままにしておくと，お子さまのいたずらにより，パワーウインドウなど電装品の誤った操作，車の発進，火災など，重大な事故につながるおそれがあります。

TAA001478

お子さまを荷室で遊ばせない

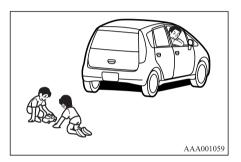
● 荷室は人が乗る構造になっておりません。
お子さまを乗せたり，遊ばせたりしないでください。
万一の場合，重大な事故につながるおそれがあります。

走行するときは

J00200400233

発進するときは

- 駐車後や信号待ちなどで停車したあとは，子どもや障害物など，車のまわりの安全を十分確認してから発進してください。
- 車をバックさせるときは目で後方を確認してください。
  バックミラーでは確認できない死角があります。

AAA001059

同乗者はシートを倒して寝ころばない

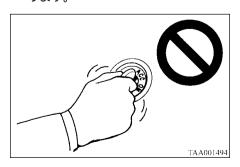
- 走行中，同乗者はシートを倒して寝ころばないでください。
  シートを倒して寝ころんでいると，急ブレーキをかけたときや衝突したときなど，身体がシートベルトの下にもぐり込み，重大な傷害を受けるおそれがあります。

TAA001481

走行中はエンジンを止めない

- 走行中にエンジンを止めると，ブレーキの効きが悪くなったり，ハンドルが非常に重くなるため，思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 走行中にキーを抜くと，ハンドルがロックされて操作ができなくなるため，思わぬ事故につながるおそれがあります。

TAA001494

2

急発進，急加速，急ブレーキ，急ハンドルは避けて

● 急ブレーキや急ハンドルは車両のコントロールができなくなり，思わぬ事故につながるおそれがあります。
スピードを控えめにし，ハンドルやブレーキ操作を慎重に行い安全運転に心がけてください。

雨天時や水たまりを走行するときは

J00202200310

● 雨天時やぬれた道路ではスピードを控えめにし，ハンドルやブレーキ操作を慎重に行い安全運転に心がけてください。
特に雨の降りはじめは路面が滑りやすいため注意してください。

● 水たまり走行後や洗車後，ブレーキに水がかかると一時的にブレーキの効きが悪くなることがあります。
ブレーキの効きが悪いときは，前後の車や道路状況に十分注意して低速で走行しながらブレーキの効きが回復するまで数回ブレーキペダルを軽く踏み，ブレーキを乾かしてください。

● わだちなど水のたまっている場所を高速で走行すると，ハイドロプレーニング現象を起こしやすくなります。

● タイヤがすり減っていたり，空気圧が適正でないと，スリップしたり，ハイドロプレーニング現象を起こしやすくなります。

AAA001062

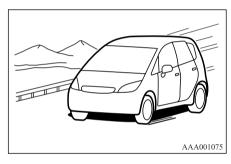
ハイドロプレーニング現象とは…

● 水のたまっている道路を高速で走行するとき，あるスピード以上になるとタイヤが路面の水を排除できず，水上を滑走する状態になり，車のコントロールが効かなくなる現象。

下り坂ではエンジンブレーキを併用

J00202300438

- ぬれた道路や凍結した道路での急激なエンジンブレーキは避けてください。
  スリップして重大な事故につながるおそれがあります。
- 長い下り坂でフットブレーキのみを多く使用すると，ベーパロックやフェード現象を起こし，ブレーキの効きが悪くなることがあります。
  坂の勾配に応じて必ずエンジンブレーキを併用してください。

AAA001075

エンジンブレーキとは…

- 走行中，アクセルペダルから足を離したときにかかるブレーキ力のことです。
  CVT 車は，セレクターレバーを Ds または L に入れてください。
  マニュアル車はシフトレバーを❸，❷または❶に入れてください。

ベーパロックとは…

- ブレーキ液がブレーキの摩擦熱により過熱されて沸騰することにより気泡が発生し，ブレーキペダルを踏んでも気泡を圧縮するだけでブレーキが効かなくなる現象。

フェード現象とは…

- ブレーキパッドまたは，ブレーキライニングの摩擦面が過熱されることにより摩擦力が低下し，ブレーキの効きが悪くなる現象。

ブレーキペダルをフットレストがわりにしない

J00202400019

- ブレーキペダルに常に足をのせ，フットレストがわりにすることは避けてください。
  ブレーキ部品が早く摩耗したり，ブレーキが過熱して，効きが悪くなるおそれがあります。

クラッチペダルに足をのせたまま走行しない

J00202500023

- クラッチペダルに足をのせたまま走行したり，必要以上に長い時間半クラッチ状態を続けないでください。
  クラッチが早く摩耗したり，過熱して，思わぬ事故につながるおそれがあります。

スタック（立ち往生）したときは

J00202600011

- スタックしたときは，タイヤを高速で回転させないでください。
  タイヤがバースト（破裂）したり，異常過熱により，思わぬ事故につながるおそれがあります。
  →「タイヤがスリップして発進できない」P.13-8

2

寒冷時にブレーキの効きが悪くなったときは

J00202700139

● 寒冷時や雪道走行ではブレーキ装置に付着した雪や水が凍結し，ブレーキの効きが悪くなることがあります。
ブレーキの効きが悪いときは，前後の車や道路状況に十分注意して低速で走行しながらブレーキの効きが回復するまで数回ブレーキペダルを軽く踏み，ブレーキを乾かしてください。

段差などを通過するときは

J00202800316

● 段差などを通過するときは、できるだけゆっくり走行してください。
段差や凹凸のある路面を通過するときの衝撃によりタイヤおよびホイールを損傷するおそれがあります。
またつぎのような場合、車体、バンパー、マフラーなどを損傷するおそれがありますので十分注意してください。
- 駐車場の出入口
- 路肩や車止めのある場所
- 勾配の急な場所
- わだちのある道路

● 特にローダウンサスペンション装着車は一般の車に比べて地面との距離が近くなっていますので十分注意してください。

走行中に異常に気づいたら

J00200500335

走行中にエンストしたときは

● 走行中にエンストしたときは，運転操作に変化がおきますので，つぎの方法で車を安全な場所に止めてください。
  - ブレーキ倍力装置が働かなくなるため，ブレーキの効きが悪くなります。
    通常よりブレーキペダルを強く踏んでください。
  - パワーステアリング装置が働かなくなるため，ハンドル操作が重くなります。
    通常よりハンドルを強く操作してください。

走行中にタイヤがパンクまたはバースト（破裂）したときは

● 走行中にタイヤがパンクまたはバーストすると，車両のコントロールができなくなるおそれがあります。
ハンドルをしっかり持ち，徐々にブレーキをかけてスピードを落としてください。

● つぎのようなときは，パンクやバーストが考えられます。
  - ハンドルがとられるとき
  - 異常な振動があるとき
  - 車両が異常に傾いたとき

警告灯が点灯または点滅したときは

● 警告灯が点灯または点滅したときは，安全な場所に停車し，適切な処置をしてください。
→「警告灯が点灯または点滅したときは！」P. 13-2
点灯または点滅したまま走行すると，思わぬ事故を引き起こしたり，エンジンなどを損傷するおそれがあります。

車体床下に強い衝撃を受けたときは

● 車体床下に強い衝撃を受けたときは，すぐに安全な場所に車を止めて下まわりを点検してください。
ブレーキ液や燃料の漏れ，損傷などがあると，思わぬ事故につながるおそれがあります。
漏れや損傷などが見つかったときは，そのまま使用せず三菱自動車販売会社にご連絡ください。

CVT車の取り扱い

J00200600248

CVT車の特性

クリープ現象とは…

- セレクターレバーを🅟，🅝以外に入れると動力がつながった状態となり，アクセルペダルを踏まなくても車がゆっくりと動き出すオートマチック車（CVT車）特有の現象。

キックダウンとは…

- 走行中にアクセルペダルを深く踏み込むと，自動的に変速比が切り換わり急加速ができます。これをキックダウンといいます。

ブレーキペダルは右足で

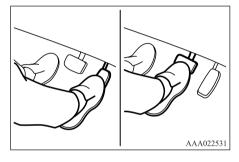
- 左足でのブレーキ操作は，緊急時の反応が遅れるなど適切な操作ができず，重大な事故につながるおそれがあります。

AAA022528

エンジンをかける前に

J00201100178

- アクセルペダルとブレーキペダルの踏みまちがいを防ぐため，各ペダルの位置を右足で確認してください。
アクセルペダルをブレーキペダルと間違えて踏んだり，両方のペダルを同時に踏んでしまうと，車が急発進し，重大な事故につながるおそれがあります。

AAA022531

- セレクターレバーが🅟の位置にあることを確認してください。

AAA001105

エンジンをかけるときは

J00201200283

- ブレーキペダルを右足で踏んだままエンジンをかけます。
  アクセルペダルを踏まないとエンジンがかかりにくいときは，エンジンをかけてから足をブレーキペダルに踏みかえます。
  →「エンジンのかけ方」P. 7-9

エンジン始動後

J00201300053

- エンジン始動直後は，自動的にエンジン回転数が高くなり，クリープ現象が強くなります。
  ブレーキペダルをしっかり踏んでください。

セレクターレバーを操作するときは

J00201400012

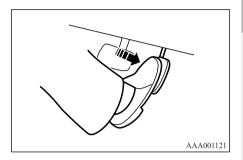
- ブレーキペダルを右足で踏んだままセレクターレバーを操作します。

AAA001118

- アクセルペダルを踏み込みながらセレクターレバーを操作しないでください。
  急発進し，重大な事故につながるおそれがあります。
- Ⓡに入れるとブザーが鳴ります。
  ブザーは車の外には聞こえませんので注意してください。

発進するときは

J00201500013

- 発進するときは，ブレーキペダルから徐々に足を離し，アクセルペダルをゆっくり踏み込んでください。

AAA001121

走行中は

J00201600014

- 走行中は，セレクターレバーをⓃに入れないでください。
  誤ってⓅ，Ⓡに入れてしまったり，エンジンブレーキがまったく効かなくなり，思わぬ事故の原因になります。
  また，トランスミッションの故障の原因になります。
- 高速走行中にセレクターレバーをⓁに入れないでください。
  急激なエンジンブレーキがかかり，思わぬ事故の原因になります。

2

停車中は

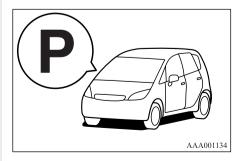
J00201700015

- エアコン作動時などは，自動的にエンジン回転数が高くなり，クリープ現象が強くなります。
  ブレーキペダルをしっかり踏んでください。
- 停車中は，むやみに空ぶかしをしないでください。
  万一，セレクターレバーがⓅ，Ⓝ以外に入っていた場合，思わぬ急発進の原因になります。

駐車するときは

J00201800016

- 駐車するときは，ブレーキペダルを踏んだまま駐車ブレーキを確実にかけ，セレクターレバーをⓅに入れます。
- 車が完全に止まらないうちにⓅに入れると，急停止してけがをするおそれがあります。
  また，トランスミッションの故障の原因になります。
- 車から離れるときは，必ずエンジンを止め，キーを抜いてください。
  エンジンをかけたままにしておくと，万一，セレクターレバーがⓅ，Ⓝ以外に入っていた場合，クリープ現象で車がひとりでに動き出したり，乗り込むときに誤ってアクセルペダルを踏み，急発進するおそれがあります。

AAA001134

その他に気をつけること

J00201900017

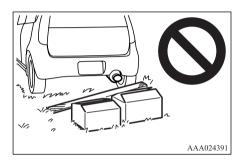
- 車を少し移動させるときでも，正しい運転姿勢をとり，ブレーキペダルとアクセルペダルが確実に踏めるようにしてください。
- 少しだけ後退したときなどは，セレクターレバーがⓇに入っていることを忘れてしまうことがあります。
  後退した後は，すぐにⓇからⓅまたはⓃに戻す習慣をつけましょう。
- 車を後退させるときは，身体を後ろにひねった姿勢になり，ペダルの操作がしにくくなります。
  ブレーキペダルが確実に踏めるように注意してください。
- 切り返しなどでⒹからⓇ，ⓇからⒹと何度もレバーを操作するときは，そのつどブレーキペダルをしっかりと踏み，車を完全に止めてから行ってください。
  車が動いているうちにⓅやⓇに入れると，トランスミッションの故障の原因になります。

駐停車するときは

J00200700991

燃えやすいものの近くには車を止めない

● 枯草や紙など燃えやすいものの近くには車を止めないでください。
走行後の排気管は高温になっているため，火災になるおそれがあります。

AAA024391

長時間のアイドリングは避ける

● 長く停車するときは，エンジンを止めてください。
燃料の無駄使いであると同時に，騒音や排気ガスにより周辺への迷惑となります。

車から離れるときは

● 車が無人で動き出したり，盗難にあうおそれがありますので，車から離れるときは必ずつぎのことをお守りください。
- 駐車ブレーキをかける。
- マニュアル車はシフトレバーを❶または🅡に，CVT 車はセレクターレバーを🅟に入れる。
- エンジンを止める。
- キーを抜き，ドアを施錠する。

また，施錠していても車内に貴重品を置いたままにしないでください。

車を移動するときは必ずエンジンを始動する

● エンジンがかかっていないと，ブレーキの効きが悪くなり，思わぬ事故につながるおそれがあります。
坂道で車を移動させるときも，必ずエンジンをかけてください。

仮眠するときは必ずエンジンを止める

● 排気ガスが車内に侵入して，ガス中毒になるおそれがあります。
● 無意識にシフトレバーやセレクターレバーを動かしたり，アクセルペダルの踏み込みにより，不用意な発進など，重大な事故につながるおそれがあります。
● 無意識にアクセルペダルを踏み続けたときに，オーバーヒートを起こしたり，エンジンや排気管などの異常過熱により，火災事故が発生するおそれがあります。

坂道に駐車するときは

● 坂道に駐車するときは，駐車ブレーキを確実にかけ，マニュアル車はシフトレバーを❶または🅡，CVT 車はセレクターレバーを🅟に入れてください。さらに輪止めをすると効果があります。
輪止めは標準装備されておりません。三菱自動車販売会社でお買い求めください。
輪止めがないときは，タイヤを固定できる大きさの石などで代用できます。
● 急な坂道での駐車は避けてください。無人で車が動き出すなど，思わぬ事故につながるおそれがあります。

雪が積もった場所や降雪時に駐車するときは必ずエンジンを止める

● エンジンがかかった状態で，車のまわりに雪が積もると排気ガスが車内に侵入して，ガス中毒になるおそれがあります。

こんなことにも注意

J00200900951

運転中に自動車電話や携帯電話を使用しない

- 運転中，運転者が自動車電話や携帯電話を使用すると周囲の状況に対する注意が不十分になり，思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 運転中，運転者がハンズフリー以外の自動車電話や携帯電話を使用することは法律で禁止されています。

オーディオなどの操作は停車してから

- 走行中に CD プレーヤーやカセットプレーヤー，カーナビゲーションなどの操作をしないでください。
  操作に気をとられて思わぬ事故につながるおそれがあります。

喫煙しながらの運転は控える

- 喫煙しながらの運転は控えてください。
  注意がおろそかになり，思わぬ事故を招くことがあります。

車内にライター・炭酸飲料缶・メガネなどを放置しない

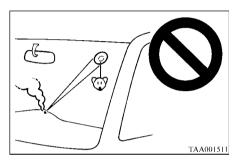
- 強い直射日光にさらされると車内が高温になるため，ライター・炭酸飲料缶・メガネなどを放置しないでください。
  ライターなどの可燃物は自然発火したり，炭酸飲料やビールなどの缶は破裂するおそれがあります。また，プラスチックレンズまたはプラスチック素材のメガネは変形，ひび割れをおこすおそれがあります。

AAA004034

灰皿を使用したあとは

- 灰皿を使用したあとは，マッチやタバコの火は確実に消し，必ず閉めてください。
  万一の場合，火災になるおそれがあります。

アクセサリー取り付け時の注意

● ウインドウガラスなどにアクセサリーをつけたり，インストルメントパネルの上に芳香剤などを置かないでください。
運転の妨げになったり，吸盤や芳香剤の容器がレンズの働きをして火災など，思わぬ事故の原因となります。

● 塗装が施されている部分にはアクセサリーなどをつけないでください。
吸盤に含まれる特殊な成分により，塗装面がはがれたり，変色したりするおそれがあります。

タイヤ，ホイールは指定サイズを使用

● タイヤ，ホイールのサイズなどは三菱自動車工業が国土交通省に届け出をしています。

● 指定サイズ以外のタイヤを使用したり，種類の異なったタイヤを混ぜて使用することは，安全走行に悪影響をおよぼしますので，避けてください。
→「タイヤ，ホイールのサイズ」P. 14-7

● ホイールは，リムサイズやオフセット（インセット）量が同じでも，車体に干渉するため使えないときがあります。
お手持ちのものを使われるときは，三菱自動車販売会社にご相談ください。

ジャッキアップしたままエンジンをかけない

● ジャッキアップしたままエンジンをかけると，ジャッキから車体が外れ，重大な事故につながるおそれがあります。

違法改造はしない

- 法律で認められている改造以外は行わないでください。
  また，三菱自動車純正部品以外の部品を装着すると，車の性能や機能に影響し，思いがけない事故が発生するおそれがあります。

MITSUBISHI MOTORS
GENUINE PARTS

AAA024359

電装品や無線機などの注意

- 電装品や無線機などを取り付けるときは，三菱自動車販売会社にご相談ください。
  配線が車体に干渉したり，保護ヒューズがないなど取付け方法が適切でないと，電子機器部品に悪影響をおよぼしたり，火災など，思わぬ事故につながるおそれがあります。

セルフ式ガソリンスタンドを利用するときは

J00201000210

燃料の取り扱いに注意

- 燃料を補給するときは火気厳禁です。燃料は引火しやすいため火災や爆発のおそれがあります。
  - 必ずエンジンを止めてください。
  - たばこ，ライター，携帯電話などは使用しないでください。
- 気化した燃料を吸わないように注意してください。燃料には有毒な成分を含んでいるものもあります。
- 給油中はドアおよびドアガラスを閉めてください。車内に気化した燃料が侵入するおそれがあります。
- 燃料をこぼさないように注意してください。塗装の変色，シミ，ひび割れの原因になります。付着したときは，柔らかい布などでふき取ってください。

静電気は確実に除去する

- フューエルキャップを外す前に車体や給油機の金属部分に触れて，必ず身体の静電気を除去してください。
  静電気を帯びていると，放電による火花で気化した燃料に引火するおそれがあります。
- リッド（補給口）の開口，フューエルキャップの取り外しなど，給油操作は必ず一人で行い，補給口に他の人を近づけないでください。
  複数で行うと他の人が帯電していた場合，気化した燃料に引火するおそれがあります。
- 給油が終わるまで補給口から離れないでください。途中，シートに座るなどすると，再帯電するおそれがあります。

フューエルキャップの取り扱いに注意

- フューエルキャップを開けるときは，急激に回さないでください。燃料タンク内の圧力により，補給口から燃料が吹き返すおそれがあります。
- フューエルキャップをゆるめたときにシューッという音がしたときは，音がしなくなるまで待ってから，フューエルキャップをゆっくり回してください。
- フューエルキャップを閉めたときは，確実に閉まっていることを確認してください。確実に閉まっていないと燃料が漏れ，火災になるおそれがあります。
- 三菱自動車純正部品以外のフューエルキャップは使用しないでください。

ガソリンスタンドの注意事項を守る

- ガソリンスタンドに掲示されている注意事項を守ってください。
- 補給口に給油ノズルを確実に差し込んでください。
  給油ノズルが正しく差し込まれていないと，燃料がこぼれるおそれがあります。
- 給油ノズルが自動的に停止したら給油を終了してください。
  つぎ足しを繰り返すと燃料があふれ出るおそれがあります。
- 給油方法についてご不明な点は，ガソリンスタンドの係員にご相談ください。

経済的な運転をするために

J00300200229

ムダな荷物を載せない

● 不要な荷物を降ろして重量を軽くしてください。

発進，加速はスムーズに

● 不必要な急発進，急加速，急減速など，アクセルペダルをバタつかせるような運転は避け，アクセルペダルの操作はゆるやかに行ってください。

スピードに応じた変速位置に

● 変速位置は，走行速度に応じた正しい位置を選択してください。

速度はできるだけ一定に

● 法定速度を守り，できるだけ一定のスピードで運転してください。

空ぶかしは禁物

● 空ぶかしは，燃料の無駄使いであると同時に，騒音や排気ガスにより周辺への迷惑となりますので避けてください。

駐車時はエンジンストップ

● 携帯電話の使用や休憩など，長い間車を止めるときは，エンジンを止めてください。燃料の無駄使いであると同時に，騒音や排気ガスにより周辺への迷惑となります。

タイヤの空気圧は定期的にチェック

● タイヤの空気圧はこまめに点検し，常に規定の空気圧に調整してください。

エアコンはひかえめに

● エアコンは燃費に影響します。
冷やしすぎに注意して適温を心がけてください。

その他に気を付けること

● 車間距離を十分にとり，不必要なブレーキをかけないようにしてください。
● 下り坂では早めにアクセルペダルを戻し，エンジンブレーキを使用してください。
● 高速道路でも不必要な高速走行は避けてください。

機能を上手く使うために

J00300300015

携帯電話やパソコンなどの電子機器からの影響

- 車内で携帯電話を使用すると，オーディオから雑音が出ることがあります。
  このときは，携帯電話をオーディオからできるだけ離して使用してください。
- 車内や車の近くでパソコンなどの電子機器を使用すると，カーナビゲーションが正常に作動しないことがあります。
  このときは，電子機器を車からできるだけ離して使用してください。

環境保護のために守っていただきたいこと

J00300400045

廃棄物を処理するときは

- バッテリーは，鉛や希硫酸が使われています。
  使用済みのバッテリーは，新品バッテリーを購入した販売店に処分を依頼してください。
- タイヤを燃やすと有害なガスが発生します。
  使用済みのタイヤは，新品タイヤを購入した販売店に処分を依頼してください。
- エンジンオイルを地下や河川などに流すと，水質汚濁の原因となります。
  エンジンオイルを交換する場合は，三菱自動車販売会社にご相談ください。
- 冷却水を地下や河川などに流すと，水質汚濁の原因となります。
  冷却水を交換する場合は，三菱自動車販売会社にご相談ください。

エアコンの冷媒ガスについて

- エアコン冷媒は，オゾン層を破壊させない代替フロンガスHFC-134a（R134a）を使用していますが，この代替フロンガスにも地球を温暖化させる働きがあります。エアコンの効きが悪い場合は三菱自動車販売会社でガス漏れの点検を行い，ガスの大気放出を防止してください。

各部の開閉

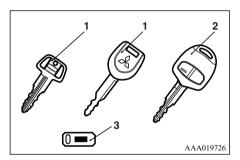
キー 4- 2
キーレスエントリー 4- 2
ドア 4- 4
センタードアロック 4- 5
チャイルドプロテクション(後席ドア安全施錠装置) 4- 7
テールゲート 4- 7
セキュリティーアラーム 4- 9
パワーウインドウ 4- 15
サンルーフ 4- 17
エンジンフード(ボンネット) 4- 20
フューエルリッド(燃料補給口) 4- 21

キー

J00400100841

キーが2本ついています。

アドバイス

- 万一，キーを紛失したときキーナンバーを三菱自動車販売会社へ連絡していただければ，キーを作ることができます。
  キーナンバーはキーナンバープレートに打刻してあります。キーナンバープレートは，キーとは別に大切に保管してください。
- お車によりキーの組み合わせは異なります。

1- マスターキー
2- マスターキー
（キーレスエントリー用キー）
3- キーナンバープレート

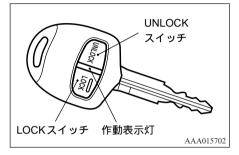
アドバイス

- セキュリティーアラーム付き車は，セキュリティーアラームを「作動する」に設定したときには，つぎの点にご注意ください。
  →「セキュリティーアラーム」P. 4-9
  - セキュリティーアラームをシステム作動可能状態にしているときは，キーやロックノブを使って解錠した後ドアを開けると警報が作動します。
  - セキュリティーアラームを「作動する」に設定していても，キーレスエントリーを使わないで施錠した場合はシステム準備状態になりません。

キーレスエントリー

タイプ別装備

J00400300843

リモコンスイッチですべてのドアおよびテールゲートの施錠・解錠をすることができます。
また，ドアミラーやパワーウインドウを操作することもできます。

ドアおよびテールゲートの施錠・解錠

J00405700129

LOCK スイッチを押すとすべてのドアおよびテールゲートが施錠し，UNLOCKスイッチを押すとすべてのドアおよびテールゲートが解錠します。
UNLOCKスイッチを押して解錠しても約30秒以内にドアまたはテールゲートを開けなければ自動的に施錠されます。

アドバイス

- リモコンスイッチを押すと作動表示灯が点灯します。
- セキュリティーアラームを「作動する」に設定しているときは，施錠と同時にシステム準備状態，続いてシステム作動可能状態になります。
  詳しくは「セキュリティーアラーム」をお読みください。→P. 4-9
- UNLOCKスイッチを押した後，自動的に施錠されるまでの時間を調整することができます。詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。

◆ 施錠・解錠時の作動確認

J00405800120

つぎの通り作動を確認することができます。ただし，マップ＆ルームランプの点滅・点灯はマップ＆ルームランプのスイッチがDOORの位置にあるときに限られます。

施錠時: マップ＆ルームランプおよび非常点滅灯が1回点滅

解錠時: マップ＆ルームランプが約 15 秒間点灯し，非常点滅灯が2回点滅

アドバイス

- つぎの機能を変更することができます。詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。
  - 作動確認の機能（非常点滅灯の点滅）を施錠時のみまたは解錠時のみにする
  - 作動確認の機能（非常点滅灯の点滅）を働かなくする
  - 作動確認の機能（非常点滅灯の点滅）の点滅回数を，施錠時２回，解錠時１回にする

ドアミラーの格納・復帰

J00406600082

電動リモコンドアミラー付き車

LOCK スイッチを押して施錠した後，約 30 秒以内にLOCK スイッチをさらに続けて2回押すとドアミラーが格納されます。UNLOCK スイッチを押して解錠した後，約 30 秒以内に UNLOCK スイッチをさらに続けて 2 回押すとミラーは元の位置に戻ります。

パワーウインドウの閉じ方

J00406700070

LOCK スイッチを押して施錠した後，約 30 秒以内にLOCK スイッチを再度約１秒以上押し続けるとすべてのドアガラスが閉まります。
途中で止めたいときはLOCK または UNLOCKスイッチを押します。

アドバイス

- リモコンスイッチによるつぎの操作を変更することができます。詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。
  - パワーウインドウの「閉じる」操作をできなくする
  - パワーウインドウの「開ける」機能を追加する
  - ドアミラーの格納・復帰をドアの施錠・解錠と連動させる
- リモコンスイッチは車から約 1m 以内で作動します。
  近くにTV塔や変電所，放送局があるなど周囲の状況により作動距離が変わることがあります。
- つぎのようなときはリモコンスイッチは作動しません。
  - エンジンスイッチにキーが差してあるとき
  - ドア，テールゲートが開いている，または半ドアのとき
- ダッシュボードの上など直射日光が当たる場所にはリモコンスイッチを放置しないでください。リモコンスイッチが故障するおそれがあります。
- リモコンスイッチを紛失したときや，新しいリモコンスイッチを作りたいときは三菱自動車販売会社にご相談ください。最大4個まで作ることができます。
- リモコンスイッチ内部は精密なためつぎの点に留意してください。
  - 衝撃を与えない
  - 水にぬらさない
  - 分解，改造をしない
- つぎのときは電池の消耗が考えられます。三菱自動車販売会社で電池を交換してください。
  - 正しい距離でリモコンスイッチを押しても施錠・解錠しないとき
  - 作動表示灯が暗い，または点灯しないとき

4

ドア

J00400400352

⚠警告

- 車から離れるときは，火災や盗難などを未然に防ぐため，必ずエンジンを止めドアを施錠してください。
  法的にも義務づけられています。
  お子さま連れのときは必ずお子さまも一緒に連れて出てください。
  また車内に貴重品を置いたままにしないでください。

⚠注意

- ドアを閉めるときは，確実に閉め，メーター内の半ドア警告灯が消灯していることを確認してください。半ドアでは，走行中にドアが開き思わぬ事故につながるおそれがあります。

アドバイス

- 運転席のドアが開いているときは，キー閉じ込め防止のため，運転席ドアのロックノブまたはキーを使って施錠しようとしても運転席のドアは施錠できません。

車外から施錠・解錠するときは

J00404400347

◆ キーを使って施錠・解錠するときは（運転席ドア）

キーを車両前方に回すと施錠，車両後方に回すと解錠されます。

◆ キーを使わずに施錠するときは（助手席，後席ドア）

1. ドア内側のロックノブを車両前方に倒し，
2. ドアを閉じます。

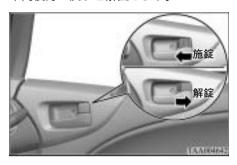
◆ キー抜き忘れ防止機構

J00404500016

エンジンスイッチを切り，キーを差したまま運転席ドアを開くとキー抜き忘れ警告ブザー（ピピッ，ピピッ）が断続的に鳴り，キーの抜き忘れを知らせます。

車内から施錠・解錠するときは

J00404600121

ロックノブを車両前方へ倒すと施錠し，車両後方へ戻すと解錠します。

◆ オーバーライド機構

運転席ドアはロックノブを車両前方に倒したままでも，室内側のドアハンドルを引くとドアを開けることができます。また，同時にすべてのドアおよびテールゲートが解錠されます。

センタードアロック

J00400500571

つぎの操作ですべてのドアおよびテールゲートの施錠・解錠ができます。

アドバイス

- 運転席のドアが開いているときは，運転席ドアのキーまたはロックノブを使って施錠しようとしても運転席のドアは施錠できません。
- 施錠と解錠を交互に連続操作すると保護回路が働いてセンタードアロックが一時的に作動しなくなることがあります。
このようなときはしばらくしてから（約1分後）操作してください。

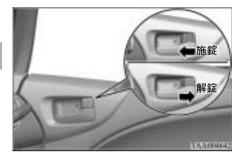
キーを使って施錠・解錠するときは

J00411000042

運転席ドアのキーを車両前方に回すとすべてのドアおよびテールゲートが施錠し，車両後方に回すとすべてのドアおよびテールゲートが解錠します。

ロックノブを使って施錠・解錠するときは

J00411100043

運転席ドア内側のロックノブを車両前方へ倒すとすべてのドアおよびテールゲートが施錠し，車両後方へ倒すとすべてのドアおよびテールゲートが解錠します。

セレクターレバーを使って解錠するときは

タイプ別装備

J00411300074

エンジンスイッチが ON のときにセレクターレバーをⓅに入れるとすべてのドアおよびテールゲートが解錠します。

工場出荷時は「解錠しない」に設定されています。「解錠する」に変更したいときは三菱自動車販売会社にご相談ください。

スマートシフト車

フロアシフト車

アドバイス

- パワーウインドウのロックスイッチを ON にすると，セレクターレバーをⓅに入れても解錠できないようにすることができます。
  詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。

4

チャイルドプロテクション（後席ドア安全施錠装置）

J00400600208

レバーを施錠側（1）にしてドアを閉めると，ドアのロックノブの位置に関係なく，車内からはドアが開けられなくなります。
お子さまを乗せるときにご使用ください。

1- 施錠
2- 解錠

ドアを開けるときは車外のドアハンドルで開けます。

アドバイス

- 万一のときなど車内からドアを開けたいときは，ドアのロックノブを解錠状態にしてドアガラスを下げ，窓から手を出して車外のドアハンドルを引いてください。

テールゲート

J00401100691

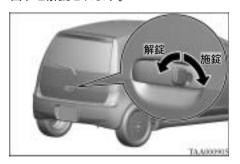
⚠警告

- 走行前に必ずテールゲートが確実に閉じていることを確認してください。
開けたまま走行すると，車内に排気ガスが侵入し，一酸化炭素中毒になるおそれがあります。
- テールゲートを開閉するときは，まわりに人がいないことを確認し，頭をぶつけたり，手や首などをはさまないように注意してください。

⚠注意

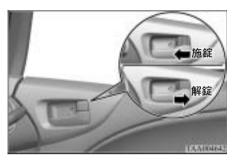
- ラゲッジルームの荷物を出し入れするときは，排気管の後方に立たないでください。
排気熱によりやけどをするおそれがあります。

車外から施錠・解錠するときは

キーを差し込み，右に回すと施錠，左に回すと解錠されます。

アドバイス

- 運転席ドアを施錠・解錠すると，テールゲートも同時に施錠・解錠されます。

車内から施錠・解錠するときは

運転席のロックノブを車両前方に倒すと施錠，車両後方に倒すと解錠されます。

アドバイス

- 施錠と解錠を交互に連続操作すると保護回路が働いてセンタードアロックが一時的に作動しなくなることがあります。
このようなときはしばらくしてから（約1分後）操作してください。

開けるときは

解錠後，ハンドルを引いて持ち上げます。

注意

- テールゲートを開けるときはまわりに人がいないことを確認してください。

閉めるときは

テールゲートの取っ手に手をかけてテールゲートを途中まで引き下げた後，取っ手から手を離してテールゲートを軽く押しつけます。

注意

- テールゲートの取っ手に手をかけたまま直接テールゲートを閉じないでください。手や腕をはさみ，けがをするおそれがあります。
- テールゲートを閉じた後は必ずテールゲートが確実に閉じていることを確認してください。走行中に開くと，荷物が落ちて思わぬ事故につながるおそれがあります。

アドバイス

- テールゲートを支えるためのガススプリングがつぎの位置についています。

損傷や作動不良を防ぐため，つぎのことをお守りください。

- ガススプリングに手をかけてテールゲートを閉めたり，押したり引いたりしないでください。
- ビニール片，テープなどがガススプリングに付着しないようにしてください。
- ひもなどをガススプリングに巻き付けないでください。
- ガススプリングに物をかけないでください。

セキュリティーアラーム

タイプ別装備　J00401200461

セキュリティーアラームは，車両内への不正侵入防止のため，キーレスエントリーで解錠せずにドアやテールゲートを開けたとき，またはエンジンフードを開けたときに警報を作動させ，周囲に異常を知らせるシステムです。
キーレスエントリー以外の操作で（キーやドアのロックノブを使って）ドアおよびテールゲートを施錠したときは，このシステムは働きません。

工場出荷時は,セキュリティーアラームが「作動しない」に設定されています。設定を変更するときは「システム作動の設定変更のしかた」の手順に従って操作してください。→P. 4-11

アドバイス

- 三菱自動車純正部品以外の部品を装着すると，セキュリティーアラームに影響をおよぼすおそれがあります。

4

システムの基本状態

セキュリティーアラームには準備状態，作動可能状態，警報作動，作動解除の4つの状態があります。
それぞれの状態に応じて，ブザー，セキュリティーインジケーター，非常点滅灯またはホーンがつぎの通り作動します。

◆ 準備状態：約20秒間

（ブザーが断続的に鳴り，セキュリティーインジケーターが点滅する）

キーレスエントリーの LOCK スイッチを押してすべてのドアおよびテールゲートを施錠した後，システム作動可能状態になるまでの準備時間です。
車内に荷物を忘れたり，ドアガラスを閉め忘れたのに気がついて，一時的にキーレスエントリーを使わずにドアを開けたときに警報しないよう，この状態を設定しています。

◆ 作動可能状態

（ブザーは停止し，セキュリティーインジケーターがゆっくりと点滅し続ける）

システム準備状態が過ぎると，システム作動可能状態になります。
このとき，キーレスエントリー以外の操作で（キーやドアのロックノブを使って）解錠し，いずれかのドア，テールゲートまたはエンジンフードを開けると警報が作動し，周囲に異常を知らせます。

◆ 警報作動

車内警報の後，車外警報が作動します。

車内警報（約10秒間）：
ブザーが鳴り，車内に異常を知らせます。
車外警報（約30秒間）：
非常点滅灯が点滅し，ホーンが鳴り，周囲に異常を知らせます。
→「警報作動」P. 4-14

◆ 作動解除

システム準備状態，システム作動可能状態のときにシステムの作動を解除することができます。
また，警報が作動しているときも警報作動を解除することができます。
→「システム作動の解除のしかた」P. 4-14
→「警報作動の解除のしかた」P. 4-15

アドバイス

● 他の人にお車を貸されるときや，セキュリティーアラームの作動について知らない人が運転されるときは，セキュリティーアラームについて十分ご説明いただくか，セキュリティーアラームを「作動しない」に設定してください。セキュリティーアラームについて知らない人が誤って解錠すると，警報が作動し，周辺への迷惑となります。

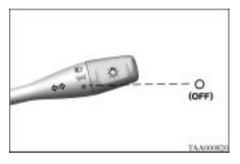
システム作動の設定変更のしかた

J00402700535

警報作動の設定状態を選択することができます。つぎの手順に従って設定を変更してください。

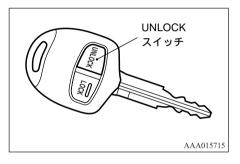
1. エンジンスイッチからキーを抜きます。
2. ライトスイッチを“ o ”(OFF)位置にして，運転席ドアを開いたままにします。

TAA000820

TAA000833

3. フロントワイパー・ウォッシャースイッチを手前に引いたまま保持します。
（エンジンスイッチは LOCK の位置なのでウォッシャー液は出ません。）

TAA000947

4. 約10秒経過するとブザーが“ ピー ”と鳴りますが，フロントワイパー・ウォッシャースイッチは手前に引いたまま保持してください。
（フロントワイパー・ウォッシャースイッチを離すと，設定変更モードが無効になります。
やり直すときは手順3.からもう一度操作してください。）

5. ブザーが鳴り止んだら，フロントワイパー・ウォッシャースイッチを手前に引いたままキーレスエントリーのUNLOCK スイッチを押してセキュリティーアラームの設定状態を選択します。
設定状態は UNLOCK スイッチを押すごとに切り換わり，ブザーの回数によって確認できます。

ブザーの回数	セキュリティーアラームの設定状態
1回	警報作動しない
3回	ホーンと非常点滅灯で警報作動する

6. つぎのいずれかの操作でシステム設定変更モードが終了します。
   - フロントワイパー・ウォッシャースイッチを離す
   - 運転席ドアを閉じる
   - エンジンスイッチにキーを差す
   - ライトスイッチを“ o ”(OFF) 以外にする
   - 設定を変更しないまま約30秒経過する

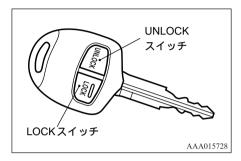
アドバイス

- セキュリティーアラームの設定変更がわかりにくいときは三菱自動車販売会社にご相談ください。
- セキュリティーアラームを「作動する」に設定した場合も，万一のため，車を離れるときは車内に貴重品を置いたままにしないでください。

システム作動のセットのしかた

J00402800305

あらかじめセキュリティーアラームを「作動する」に設定した後，つぎの手順でシステム作動可能状態にセットします。

AAA015728

1. エンジンスイッチからキーを抜きます。
2. 車両から出てすべてのドアおよびテールゲートを閉じます。
3. キーレスエントリーのLOCKスイッチを押してすべてのドアおよびテールゲートを施錠します。
   キーレスエントリーによる施錠操作で，システム準備状態になります。このとき確認のためのブザーが断続的に“ピー，ピー”と鳴り，インストルメントパネル上のセキュリティーインジケーターが点滅します。

AAA022733

アドバイス

- キーレスエントリー以外の操作で（キーやドアのロックノブを使って）すべてのドアおよびテールゲートを施錠したときは，システム準備状態になりません。
- エンジンフードが開いているときは，セキュリティーインジケーターが点灯し，システム作動可能状態になりません。
  エンジンフードを閉めるとシステム準備状態になり，約20秒後にシステム作動可能状態になります。

4. 約20秒後，ブザーが止まり，セキュリティーインジケーターの点滅速度が遅くなり始めたらシステム作動可能状態です。システム作動可能状態中は，セキュリティーインジケーターは点滅し続けます。

アドバイス

- 車内に人が乗っている状態，またはドアガラスが開いた状態でもセキュリティーアラームは作動します。警報の思わぬ作動を防ぐため，車内に人が乗っている状態ではシステム作動可能状態にしないでください。

システム作動の解除のしかた

J00402900218

システム準備状態またはシステム作動可能状態のときに，つぎの方法でシステム作動を解除することができます。

- キーレスエントリーの UNLOCK スイッチを押す
- エンジンスイッチをONまたはACCにする
- システム準備状態のとき，いずれかのドアまたはテールゲートを開けるか，エンジンスイッチにキーを差し込む

アドバイス

- システム準備状態中にエンジンフードを開けるとシステム準備状態が中断し，エンジンフードを閉めるとシステム準備状態に戻ります。
- システム準備状態のときにバッテリー端子を外すと記憶は消去されます。
- リモコンスイッチは 4 個まで登録できます。
  登録済みのリモコンスイッチであれば，セットしたリモコンスイッチと別のリモコンスイッチを使ってもシステムを解除することができます。
  リモコンスイッチの追加登録については三菱自動車販売会社にお問い合わせください。
- キーレスエントリーの作動距離は約 1 m です。正しい距離でスイッチを押しても施錠，解錠およびセキュリティーアラームのセット，解除ができないときには電池の消耗が考えられます。三菱自動車販売会社で電池を交換してください。
- UNLOCKスイッチを押して解錠しても約30秒以内にドアおよびテールゲートを開けなければ自動的に施錠されます。このときもシステム準備状態になります。
  UNLOCKスイッチを押した後，自動的に施錠されるまでの時間を調整することができます。
  詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。

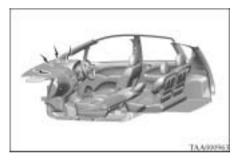
警報作動

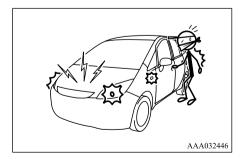
J00403000391

システム作動可能状態のときに，キーレスエントリーのUNLOCKスイッチを押す以外の操作で解錠し，いずれかのドア，テールゲートまたはエンジンフードを開けるとつぎのように警報作動します。

1. 約10秒間ブザーが断続的に鳴ります。（車内警報）

アドバイス

- 作動可能状態中にエンジンフードを開けると車内警報は作動せず，すぐに車外警報が作動します。

2. 車内警報の後，設定した車外警報が約30秒間作動します。
   非常点滅灯が点滅しホーンが断続的に鳴ります。

AAA032446

3. 警報が停止した後もドア，テールゲートまたはエンジンフードを開くと車外警報が再び作動します。

警報作動の解除のしかた

J00403100190

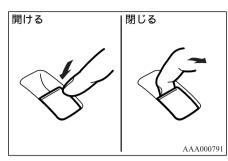
つぎの方法で警報作動を止めることができます。

- キーレスエントリーの LOCK または UNLOCKスイッチを押す
  〔LOCKスイッチを押したとき，すべてのドアおよびテールゲートが閉じていれば施錠し，再びシステム準備状態になります〕
- エンジンスイッチをONまたはACCにする

アドバイス

- 車内警報中にドアまたはテールゲートを閉じても警報作動は解除されません。
- エンジンスイッチを ON にしてブザーが4回鳴り，セキュリティーインジケーターが4回点滅したときは，駐車中に警報が作動したことを示しています。盗難にあっていないかお車の中を確認してください。
- バッテリーを外しても警報作動の記憶は消去されません。
  一時的にバッテリーを外して警報作動しないようにしても，バッテリーを再び接続するとすぐに警報し，周囲に異常を知らせます。

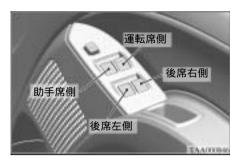
パワーウインドウ

J00401500187

⚠警告

- パワーウインドウを閉じるときは，安全のため同乗者が窓から顔や手を出していないことを確認してください。
- 安全のためパワーウインドウの操作はお子さまではなく大人が行ってください。車を離れるときは必ずキーを抜いて，お子さまも一緒に連れて出てください。
  キーを差したままだとお子さまがいたずらをして手や首をはさむおそれがあります。

アドバイス

- キーレスエントリー付き車は，リモコンスイッチでもパワーウインドウを閉じることができます。
  →「キーレスエントリー」P. 4-2

4

運転席スイッチ

運転席スイッチで全席のドアガラスの開閉をすることができます。エンジンスイッチが ON のときにスイッチを押すと開き，引き上げると閉まります。
スイッチを強く押したり，強く引き上げると自動的に全開，全閉します。
途中で止めたいときはスイッチを軽く操作します。

助手席，後席スイッチ

エンジンスイッチが ON のときにスイッチを押すと開き，引き上げると閉まります。

アドバイス

- 後席ドアガラスは全開しません。

タイマー機構

J00405200225

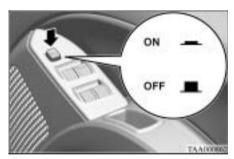
エンジンスイッチを切った後でも約30秒間はガラスを開閉することができます。この時間内に運転席ドアを開けるとさらに約30秒間ガラスを開閉できます。ただし，一旦運転席ドアを閉めるとガラスの開閉はできなくなります。

アドバイス

- つぎの機能を変更することができます。詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。
  - •タイマー時間を調整する
  - •タイマー機能をなくす

ロックスイッチ

J00404300418

お子さまを乗せるときはロックスイッチをONにしてください。
助手席，後席スイッチを操作してもドアガラスは開閉できなくなります。
解除するときはもう一度押します。

アドバイス

- ロックスイッチが ON でも運転席スイッチでは全席のドアガラスを開閉することができます。
- ロックスイッチが ON のとき，運転席スイッチでも助手席，後席のドアガラスを開閉できないようにすることができます。
  詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。

セーフティー機構

J00403200159

万一，手や首などをはさんだ場合は安全のため自動的にドアガラスが少し下がります。
ドアガラスが下がった後，再度スイッチを引き上げるとドアガラスを閉めることができます。

⚠注意

- ドアガラスを確実に閉めるため，閉め切り直前ではセーフティー機構が働かないようになっています。指などをはさまないように注意してください。

アドバイス

- 環境や走行条件により，手や首などをはさんだときと同じ衝撃が加わると，セーフティー機構が働くことがあります。
- ３回以上連続してセーフティー機構が働いたときは，セーフティー機構が解除され，ドアガラスが正常に閉まらなくなります。
  つぎの方法でドアガラスを処置してください。
  ドアガラスが開いているときは，パワーウインドウスイッチを繰り返し引き上げて，ドアガラスを一度全閉します。全閉後，一旦スイッチから手を離し，再度約1秒間スイッチを引き上げてください。これにより，元通りドアガラスの開閉操作ができるようになります。

サンルーフ

タイプ別装備

J00401800223

開けるときは

エンジンスイッチがONのとき，スイッチを(1)の方向に押すと全開します。
途中で止めたいときは，スイッチの(2)を押すか，または(3)の方向に押します。

閉めるときは

エンジンスイッチがONのとき，スイッチを(3)の方向に押すと全閉します。
途中で止めたいときは，スイッチの(2)を押すか，または(1)の方向に押します。

チルトアップするときは（サンルーフの後端を上げる）

エンジンスイッチがONのとき，スイッチの(2)を押すとサンルーフの後端が上がります。（チルトアップ）
スイッチを(3)の方向に押すとサンルーフが閉じます。（チルトダウン）

セーフティー機構

J00403500194

万一，手や首などをはさんだ場合は安全のため自動的にサンルーフが数 cm 開きます。サンルーフが開いた後スイッチでサンルーフを閉めることができます。

環境や走行条件で手や首などをはさんだときと同じ衝撃によりセーフティー機構が働いたときは，サンルーフが正常に作動しなくなるときがあります。
つぎの方法でサンルーフを処置してください。

1. スイッチを (3) の方向に押してサンルーフを作動させます。
   その際，作動が止まるまでスイッチを(3)の方向に押し続けてください。
2. 一旦スイッチから手を離し，3 秒以内に再度スイッチを (3) の方向に押し続けてサンルーフを全閉状態にします。

アドバイス

- サンルーフが全閉しないときは，再度スイッチから手を離し 3 秒以内にスイッチを(3)の方向に押し続けてください。この操作を 4 回以上繰り返してもサンルーフが閉まらないときは，三菱自動車販売会社で点検を受けてください。
- サンルーフ作動中にスイッチから 3 秒以上手を離してしまったときは，もう一度 1からの手順で操作をしてください。

3. これにより，元通りにサンルーフの開閉操作ができるようになります。

⚠警告

- サンルーフを閉じるときは，安全のため同乗者がサンルーフから手や顔を出していないことを確認してください。
- 安全のためサンルーフの操作はお子さまではなく大人が行ってください。
  車を離れるときは必ずキーを抜いて，お子さまも一緒に連れていってください。
  キーを差したままだとお子さまがいたずらをして手や首をはさむおそれがあります。
- 走行中はサンルーフ開口部から手や顔，荷物などを絶対に出さないでください。

⚠注意

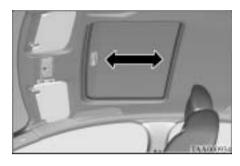
- サンルーフを確実に閉めるため，閉め切り直前ではセーフティー機構が働かないようになっています。指などをはさまないように注意してください。

アドバイス

- 降雪時，厳寒時は凍結することがありますので開閉操作は行わないでください。故障の原因となります。
- サンルーフやルーフ開口部の縁に腰をかけたり荷物を乗せるなどの大きな力を加えないでください。サンルーフが破損するおそれがあります。
- サンルーフが全開または全閉した後はスイッチを押し続けないでください。
- サンルーフスイッチを押してもサンルーフが動かないときはすぐにスイッチから手を離しサンルーフに何かはさまれていないか確かめてください。
  何もはさまれていないのにサンルーフが動かないときは三菱自動車販売会社で点検を受けてください。
- スキーキャリア，ルーフキャリアを装着している時，チルトアップすると種類によってはキャリアと当たる場合がありますので気をつけて操作してください。
- 車から離れるときや洗車時にはサンルーフが完全に閉じていることを確認してください。
- サンルーフ開口部周囲のウェザーストリップ（黒いゴム）にワックスが付くとサンルーフとの密着が悪くなります。ワックスがけを行うときは気をつけてください。
- 雨が降った後や洗車後に開けるときは，車内に水が入るおそれがありますのでサンルーフの水を拭き取ってください。
- エンジンをかけずに何度もサンルーフを開閉するとバッテリーが上がることがあります。なるべくエンジンがかかっているときに操作してください。

サンシェードを開閉するときは

J00403600010

手動で開閉することができます。

⚠注意

- 開閉するときは，指をはさまれないように注意してください。

アドバイス

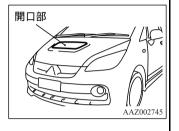
- サンシェードはサンルーフを開けるとき連動して開きます。
- サンシェードは必ずチルトダウンしてから閉めてください。
- サンルーフが開いた状態でサンシェードのみ閉じることはできません。

4

エンジンフード（ボンネット）

J00402100669

⚠注意

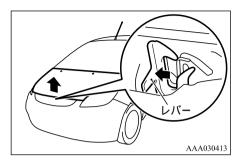
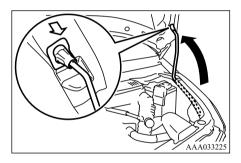
● エンジンフードに開口部のある車は，エンジン回転中および走行直後などエンジンルームの温度が高くなっているとき，開口部に触れないでください。やけどをするおそれがあります。

開けるときは

1. ワイパーアームが立っているときはワイパーアームを倒します。

アドバイス

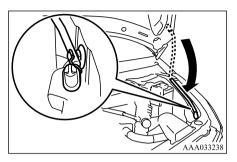
● ワイパーアームが立った状態でエンジンフードを開けるとエンジンフードに傷がつくおそれがあります。

2. 計器盤右下にあるレバーを引くとエンジンフードが少し浮き上がります。

3. エンジンフードのすき間に手を入れ，前端中央部のレバーを左へ押しながらエンジンフードを持ち上げます。

4. 支持棒をエンジンフードの穴に差し込みエンジンフードを確実に固定します。

⚠注意

● 風の強いときにエンジンフードを開けていると，風にあおられて支持棒が外れることがあります。特に風の強いときはご注意ください。
● 支持棒は必ず所定の穴に差し込んでください。所定以外の箇所に掛けると支持棒が外れ，思わぬ事故につながるおそれがあります。

閉めるときは

1. エンジンフードを支えながら支持棒を穴から外してクリップに固定します。

2. エンジンフードを少し持ち上げた位置（約30cm）から離します。

⚠注意

● 手や物をはさまないように注意してください。

3. エンジンフードが完全に閉じていることを確認します。

⚠注意

● 走行前に必ずエンジンフードが確実に閉じていることを確認してください。
完全に閉じていないまま走行するとエンジンフードが開くおそれがあります。

アドバイス

● エンジンフードを手で強く押しつけないでください。力のかけぐあいや場所によっては，万一の場合，車体がへこむおそれがあります。

フューエルリッド（燃料補給口）

J00402300528

フューエルリッド（燃料補給口）は車両の左側後方にあります。

⚠警告

● 燃料を補給するときは火気厳禁です。
燃料は引火しやすいため火災や爆発のおそれがあります。
• 必ずエンジンを止めてください。
• たばこ，ライター，携帯電話などは使用しないでください。

● フューエルキャップを外す前に車体や給油機の金属部分に触れて，必ず身体の静電気を除去してください。
静電気を帯びていると，放電による火花で気化した燃料に引火するおそれがあります。

● リッド（補給口）の開口，フューエルキャップの取り外しなど，給油操作は必ず一人で行い，補給口に他の人を近づけないでください。
複数で行うと他の人が帯電していた場合，気化した燃料に引火するおそれがあります。

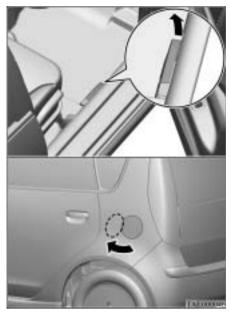
● 給油が終わるまで補給口から離れないでください。途中，シートに座るなどすると，再帯電するおそれがあります。

アドバイス

● 燃料は必ず指定された燃料をご使用ください。
→「燃料は指定されたものを補給」P. 2-3
→「メンテナンスデータ:燃料の量と種類」P. 14-2

開けるときは

J00405000018

1. 運転席右下のレバーを引き上げてリッド（補給口）を開けます。

2. フューエルキャップのつまみを持ち，ゆっくり左に回して外します。

⚠警告

● 急激にフューエルキャップを回さないでください。燃料タンク内の圧力により，補給口から燃料が吹き返すおそれがあります。

⚠警告

● フューエルキャップをゆるめたときにシューッという音がしたときは，音がしなくなるまで待ってから，フューエルキャップをゆっくり回してください。

閉めるときは

J00405100019

1. フューエルキャップをカチッカチッと音がするまで右に回して閉めます。

⚠警告

● フューエルキャップが確実に閉まっていることを確認してください。確実に閉まっていないと燃料がもれ，火災になるおそれがあります。

2. フューエルリッドを手で軽く押して閉めます。

安全装備

5

シート

シート 5- 2
シートアレンジ 5- 3
シート調整 5- 4
フロントシート 5- 4
リヤシート 5- 7
ヘッドレスト 5- 9
荷室の作り方 5- 10
フラットシートの作り方 5- 16

シートベルト

シートベルト 5- 18
プリテンショナー機構／フォースリミッター機構付シートベルト . . . 5- 23

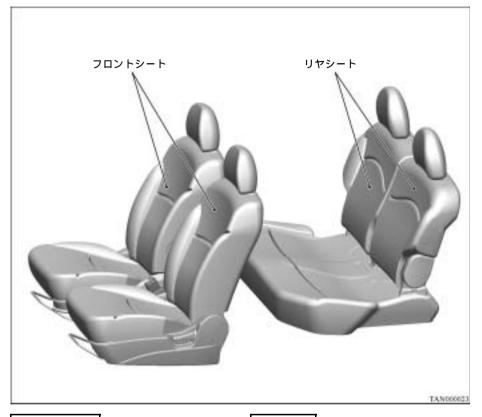
チャイルドシート

チャイルドシート 5- 25

SRSエアバッグ

SRSエアバッグ 5- 31

シート

J00509900915

フロントシート

- 前後調整P. 5-5
- 背もたれの角度調整P. 5-5
- 上下調整（運転席）除く，レカロシート P. 5-6
- アームレスト（ひじ掛け）タイプ別装備 P. 5-6

リヤシート

- 前後調整P. 5-7
- 背もたれの角度調整P. 5-7

シートアレンジ

J00500100321

お好みに合わせて，つぎのようなシートアレンジをすることができます。

<table>
<tr><td colspan="2">通常の使い方</td><td>TAM000068</td></tr>
<tr><td colspan="2">フラットシート
（除く，レカロシート）→ P. 5-16</td><td>TAM000071</td></tr>
<tr><td rowspan="2">荷室の作り方</td><td>背もたれの前倒し
→ P. 5-8</td><td>TAM000084</td></tr>
<tr><td>リヤシートの
折りたたみ（2WD車）
→ P. 5-10</td><td>TAM000097</td></tr>
</table>

5

シート調整

J00500200247

シート各部の調整は走行前に行ってください。

⚠警告

- シートの調整は必ず走行前に行ってください。走行中にシートを調整すると必要以上に動くことがあり，重大な事故につながるおそれがあります。
- シートの調整をした後は，シートが確実に固定されていることを確認してください。シートが固定されていないとシートが動き，重大な事故につながるおそれがあります。
- シートの背もたれを必要以上に倒して走行しないでください。急ブレーキをかけたときや衝突したときなどに，身体がシートベルトの下にもぐり，重大な傷害を受けるおそれがあります。

⚠注意

- シートの調整は必ず大人が行ってください。お子さまが操作すると思わぬ事故を起こすおそれがあります。
- シートを操作しているときは，シートの下や動いている部分に手足を近づけないでください。

5

フロントシート

J00500300365

正しい運転姿勢がとれるように，つぎの点に注意してシートを調整してください。

⚠警告

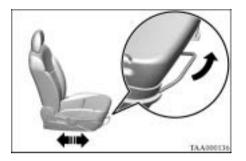
- 背もたれと背中の間にクッションなどを入れないでください。
  正しい運転姿勢がとれないため，思わぬ事故につながるおそれがあります。

⚠注意

- 後方へシートを移動したり，背もたれを倒すときは乗員に注意してください。

前後調整

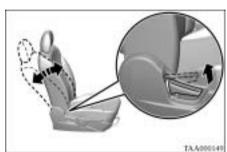
J00500400018

レバーを引いたまま調整します。
調整後はシートを前後に軽くゆすり，シートが確実に固定されたことを確認します。

背もたれの角度調整

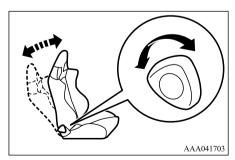
J00500500383

除く，レカロシート

レバーを引いたまま調整します。
調整後は背もたれを軽くゆすり，背もたれが確実に固定されたことを確認します。

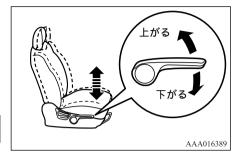
⚠注意

- レバーを操作するときは，背もたれに身体を添わせるか，手を添えて行ってください。
背もたれが急に戻り顔などにあたるおそれがあります。

レカロシート

ノブを回して調整します。

上下調整（運転席）

J00500600296

除く，レカロシート

レバーを繰り返し操作して調整します。

アームレスト（ひじ掛け）

タイプ別装備

J00501000226

アドバイス

- アームレストの上に乗ったり座ったりしないでください。アームレストが破損するおそれがあります。

◆ Aタイプ

手前に倒して使用します。
元に戻すときは，後ろに起こします。

◆ Bタイプ

手前に倒し，持ち上げて角度を調整します。
元に戻すときは，後ろに起こします。

リヤシート

J00501400015

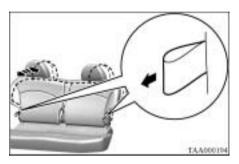
前後調整

J00501500087

レバーを手前に引いたまま調整します。調整後はシートを前後に軽くゆすり，シートが確実に固定されたことを確認します。

背もたれの角度調整

J00501600222

ベルトを手前に引いたまま調整します。調整後は背もたれを軽くゆすり，背もたれが確実に固定されていることを確認します。

⚠警告

- 5 人乗り車のリヤシート中央席に座る場合は，背もたれを同じ位置にそろえて使用してください。急ブレーキをかけたときや衝突したときなどにシートベルトが十分な効果を発揮しないおそれがあります。

背もたれの前倒し

J00501700148

背もたれを倒すことにより，大きな荷物を積むことができます。

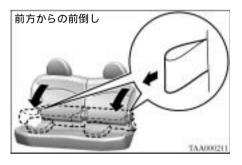
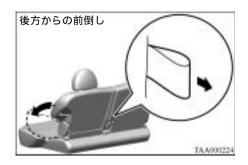
⚠警告

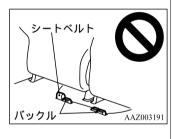
- 背もたれを前倒しした状態で人を乗せたり，お子さまを遊ばせないでください。
  急ブレーキをかけたときなどに重大な傷害を受けるおそれがあります。

⚠注意

- 室内にはシートの高さ以上に荷物を積まないでください。また荷物は確実に固定してください。
  後方の確認ができなくなったり，急ブレーキをかけたときなどに荷物が前方に飛び出して思わぬ傷害を受けるおそれがあります。

◆ 倒すときは

倒したい側のベルトを引いたまま，背もたれを前に倒します。

アドバイス

- リヤシートクッションのスリット部にシートベルトおよびバックルを差し込まないでください。背もたれの前倒しをしたときにシートベルトやバックルが背もたれにあたりシートが損傷するおそれがあります。

◆ 戻すときは

背もたれを確実にロックするまで起こします。
元に戻した後は，背もたれが確実に固定されていることを確認します。

ヘッドレスト

J00503400312

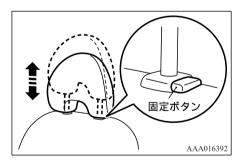
除く，レカロシート

⚠警告

- ヘッドレストの固定できる高さを超えて使用しないでください。
  万一のとき安全確保に役立ちません。
- 背もたれと背中の間にクッションなどを入れると安全確保に役立ちません。
- ヘッドレストを取り外したままで走行しないでください。走行前に必ず取り付けてください。衝突したときなどに重大な傷害を受けるおそれがあります。

上下調整

ヘッドレストの中央部ができるだけ目の高さになるように調整します。
目の高さに届かない場合（特に背の高い人など）は，固定できる範囲で一番高い位置に調整してください。

上げるときはそのまま引き上げ，下げるときは固定ボタンを押しながら下げます。

取り外すときは

J00508900019

固定ボタンを押したまま，いっぱいに引き上げて取り外します。

取り付けるときは

J00509000088

固定ボタンを押しながら差し込みます。

⚠注意

- ヘッドレストを取り付けた後，固定ボタンがロックされていることを確認してください。

- シートによりヘッドレストの形状や大きさが異なる場合があります。間違えないように取り付けてください。

5

荷室の作り方

J00503500296

2WD車

リヤシートを折りたたんで，荷室を作ることができます。

⚠警告

- 荷室を作るときは必ず走行前に行ってください。走行中にシートを操作すると必要以上に動くことがあり，重大な事故につながるおそれがあります。
- シートを折りたたんだり，または元に戻したときは，シートが確実に固定されていることを確認してください。シートが固定されていないとシートが動き，重大な事故につながるおそれがあります。
- 走行中に荷室に人が乗ったり，お子さまを遊ばせないでください。
  急ブレーキをかけたときや衝突したときなどに重大な傷害を受けるおそれがあります。

⚠注意

- 室内にはシートの高さ以上に荷物を積まないでください。また，荷物は確実に固定してください。
  後方の確認ができなくなったり，急ブレーキをかけたときに荷物が飛び出して思わぬ事故につながるおそれがあります。
- シートを折りたたんだり，戻すときは，必ず大人が行ってください。
  お子さまが操作をすると思わぬ事故につながるおそれがあります。
- シートを操作するときは，手足をはさまないように注意してください。けがをするおそれがあります。

アドバイス

- フロントシートの背もたれが後方に倒れているときは，通常の位置に戻してください。

5

折りたたむときは

J00507600237

4人乗り

1. フロントシートを一番後ろの位置にしているときは，前方へ移動させます。
2. リヤシートのヘッドレストを一番下の位置まで下げます。
   →「ヘッドレスト」P. 5-9
3. レバーを引いたまま，シートを前方へいっぱいまで移動させます。

アドバイス

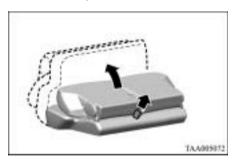
- リヤシートを一番前までいっぱいに移動させないと，折りたたむことはできません。

4. ベルトを引いたまま，背もたれを前に倒します。

前方からの前倒し

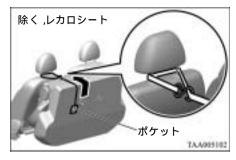
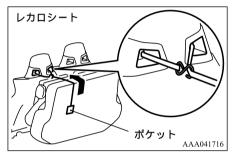
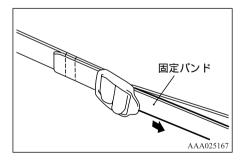
後方からの前倒し

5. シートの後ろにあるロック解除ベルトを引いたまま，シート全体を前方に起こします。

⚠注意

- ロック解除ベルトを引いたままリヤシートをスライドさせないでください。ロック機構の金具が変形し，解除できなくなるおそれがあります。

6. 固定バンドをリヤシートクッション裏側のポケットから取り出し，フロントシートの図の位置に引っ掛けます。

除く，レカロシート

レカロシート

7. 固定バンドをたるみがなくなるまで引っぱり，シートを確実に固定します。

8. 固定後はシートを軽くゆすり，シートが確実に固定されていることを確認します。

⚠警告

● 折りたたんだシートは必ず固定バンドで確実に固定してください。固定されていないとシートが倒れ，重大な事故につながるおそれがあります。

⚠注意

● 折りたたんだシートの上に人や荷物などを乗せないでください。シートの取り付け金具が変形し，シートが車両に固定できなくなるおそれがあります。
● フロアのシート固定穴にごみや異物を入れないでください。シートが車両に固定できなくなるおそれがあります。

5人乗り

1. フロントシートを一番後ろの位置にしているときは，前方へ移動させます。
2. リヤシートのヘッドレストを一番下の位置まで下げます。
→「ヘッドレスト」P. 5-9
3. レバーを引いたまま，シートを前方へいっぱいまで移動させます。

TAA000279

アドバイス

● リヤシートを一番前までいっぱいに移動させないと，折りたたむことはできません。

4. ベルトを引いたまま，背もたれを前に倒します。

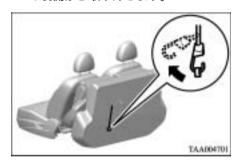
前方からの前倒し

後方からの前倒し

5. シートの後ろにあるロック解除ベルトを引いたまま，シート全体を前方に起こします。

⚠注意

● ロック解除ベルトを引いたままリヤシートをスライドさせないでください。ロック機構の金具が変形し，解除できなくなるおそれがあります。

6. 固定バンドをリヤシートクッションの裏側から取り外します。

7. 固定バンドをフロントシートのヘッドレストに引っ掛けてシートを確実に固定します。

TAA004613

8. 固定後はシートを軽くゆすり，シートが確実に固定されていることを確認します。

⚠警告

- 折りたたんだシートは必ず固定バンドで確実に固定してください。固定されていないとシートが倒れ，重大な事故につながるおそれがあります。

⚠注意

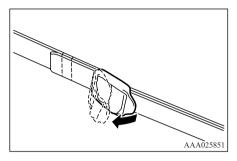
- 折りたたんだシートの上に人や荷物などを乗せないでください。シートの取り付け金具が変形し，シートが車両に固定できなくなるおそれがあります。
- フロアのシート固定穴にごみや異物を入れないでください。シートが車両に固定できなくなるおそれがあります。

戻すときは

J00507700182

4人乗り

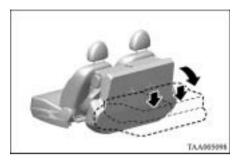
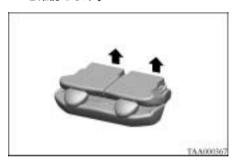
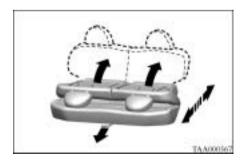
1. 固定バンドの長さ調整部を図のように引いて，固定バンドをゆるめます。

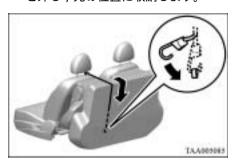
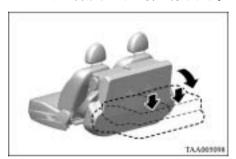
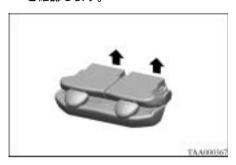
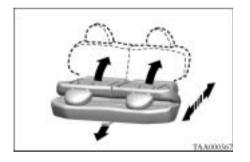
AAA025851

2. シートを手で支えながら固定バンドを外し，ポケットに収納します。

TAA005115

⚠注意

- 固定バンドはポケットからはみ出さないように収納してください。
はみ出した固定バンドがフロアのシート固定穴に入ると，シートを車両に固定できなくなるおそれがあります。

3. シートをゆっくり倒し，シート全体をカチッと音がするまで押し付けます。

4. シートクッション後部を持ち上げ，シートが確実に固定されていることを確認します。

5. シートの前後位置を調整し，背もたれを確実にロックするまで戻します。
操作後はシートを軽くゆすり，シートが確実に固定されたことを確認します。

5人乗り

1. シートを手で支えながら固定バンドを外し，元の位置に収納します。

2. シートをゆっくり倒し，シート全体をカチッと音がするまで押し付けます。

3. シートクッション後部を持ち上げ，シートが確実に固定されていることを確認します。

4. シートの前後位置を調整し，背もたれを確実にロックするまで戻します。
操作後はシートを軽くゆすり，シートが確実に固定されたことを確認します。

フラットシートの作り方

J00504500336

除く，レカロシート

シートを倒して大きな空間を作ることができます。

⚠警告

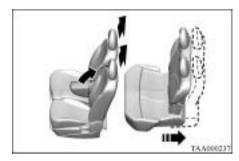
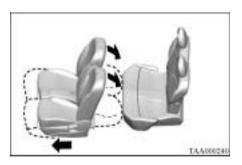
- フラットにした状態で人を乗せて走行しないでください。
急ブレーキをかけたときや衝突したときなどに，重大な傷害を受けたり，荷物が飛び出して重大な事故につながるおそれがあります。

⚠注意

- フラットにするときは，必ず車を安全な場所に止めてから行ってください。
- フラットにする操作は必ず大人が行ってください。
お子さまが操作をすると思わぬ事故につながるおそれがあります。
- フラットにしたとき，または元に戻したときは，シートが確実に固定されていることを確認してください。
- フラットにしたとき，シートの上を歩き回らないでください。
シートから足を踏み外すと危険です。必ずシートの中央を踏んで，ゆっくり移動してください。

アドバイス

- フラットにしたときは，背もたれ上部に飛び乗ったり，強い衝撃を与えないでください。シートが損傷することがあります。

1. リヤシートを後方へいっぱいまで移動させ，フロントシートのヘッドレストを取り外します。
   →「ヘッドレスト：取り外すときは」P. 5-9
   アームレスト付き車は，アームレストを起こします。
   →「アームレスト（ひじ掛け）」P. 5-6

2. フロントシートを前方へいっぱいまで移動させ，背もたれを倒します。
   →「前後調整」P. 5-5
   →「背もたれの角度調整」P. 5-5

3. リヤシートの背もたれを倒します。
   →「背もたれの角度調整」P. 5-7

4. これでフラットシートの完成です。
   戻すときは逆の手順で行います。

シートベルト

J00505100355

シートベルトは万一の場合，運転者と同乗者の安全を守ります。シートベルトはつぎの使用方法，注意を守り，運転する前に必ず着用してください。

⚠警告

- 肩部ベルトは脇の下を通さないで，肩に十分かかるように着用してください。ベルトが肩に十分かかっていないと衝突したときなどに身体が前方に投げ出され，重大な傷害を受けるおそれがあります。
- 腰部ベルトは腹部にかけないでください。衝突したときなどに腹部などに強い圧迫を受け，シートベルトにより重大な傷害を受けるおそれがあります。
- ベルトは1人用です。2人以上で使用しないでください。衝突のときなどにベルトが正常に働かず，重大な傷害を受けるおそれがあります。

5

⚠警告

- シートの背もたれを必要以上に倒して走行しないでください。急ブレーキをかけたときや衝突したときなどに，身体がシートベルトの下にもぐり，重大な傷害を受けるおそれがあります。
- 車に乗るときは必ず全員がシートベルトを着用してください。ベルトを着用しないと急ブレーキをかけたときや衝突したときなどに身体がシートに保持されず，車外に投げ出されたりして，重大な傷害を受けるおそれがあります。
- シートベルトは上体を起こして，シートに深く腰かけた状態で着用してください。正しい姿勢で着用しないと十分な効果を発揮しないおそれがあります。正しい姿勢については「フロントシート」を参照してください。→ P. 5-4
- シートベルトはねじれのないように着用してください。ねじれがあるとベルトの幅が狭くなり，衝突したときなどに局部的に強い力を受けてシートベルトにより重大な傷害を受けるおそれがあります。
- ハンドルやインストルメントパネルに必要以上に近づいて運転しないでください。衝突したときなどにシートベルトが十分な効果を発揮しないおそれがあります。
- お子さまでもシートベルトを必ず着用させてください。ひざの上でお子さまを抱いていても，急ブレーキをかけたときや衝突したときなどに十分に支えることができず，お子さまが重大な傷害を受けるおそれがあります。

⚠警告

- 妊娠中の女性や疾患のある方も，万一のときのためにシートベルトを着用してください。ただし，局部的に強い圧迫を受けるおそれがありますので，医師にご相談のうえ注意事項を確認してからご使用ください。
  妊娠中の方は，腰部ベルトを腹部を避けて腰部のできるだけ低い位置にぴったりと着用してください。肩部ベルトは確実に肩を通し，腹部を避けて胸部にかかるように着用してください。
- シートベルトを着用する場合は洗たくばさみやクリップなどでベルトにたるみをつけないでください。ベルトにたるみがあると十分な効果を発揮しないおそれがあります。
- ほつれや切り傷ができたり，金具部などが正常に動かなくなったときは，シートベルトを交換してください。異常がある状態で使用すると衝突時に正常に動かず，性能を十分発揮できないおそれがあります。
- 万一，事故にあって，シートベルトに強い衝撃を受けた場合は，外観に異常がなくても必ず交換してください。軽い事故の場合も三菱自動車販売会社で点検を受けてください。ベルト自体が壊れている場合があり，性能を十分発揮できないおそれがあります。
- シートベルトを修理または交換する場合は三菱自動車販売会社へご相談ください。
- バックルや巻き取り装置の内部に異物などを入れないようにしてください。またシートベルトの改造や取り付け，取り外しをしないでください。衝突したときなどに十分な効果を発揮できないおそれがあります。
- ベルトが汚れた場合は，中性洗剤を使用してください。ベンジンやガソリンなどの有機溶剤の使用や漂白，染色は絶対にしないでください。
  シートベルトの性能が落ち，十分な効果を発揮できなくなるおそれがあります。

3点式シートベルト

J00505200226

ベルトの長さを調整する必要はありません。ベルトは身体の動きに合わせて伸縮しますが，強い衝撃を受けたときは，ベルトが自動的にロックされ身体を固定します。

◆ 着用するときは

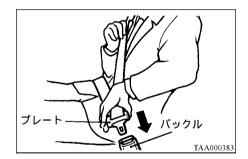
J00507800183

1. プレートを持ってシートベルトをゆっくりと引き出します。

アドバイス

- シートベルトがロックしたまま引き出せないときは，一度ベルトを強く引いてからベルトをゆるめ，再度ゆっくりと引き出してください。

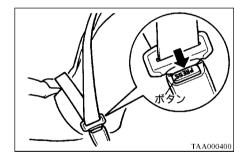
2. ベルトがねじれていないか確認した後，プレートをバックルにカチッと音がするまではめ込みます。

5

3. 腰部ベルトを腰骨のできるだけ低い位置にかけ，ベルトを引いて腰部に密着させます。

◆ 外すときは

J00507900184

プレートを持ってバックルのボタンを押します。
ベルトは自動的に巻き取られますので，プレートに手を添えて，ゆっくり戻してください。

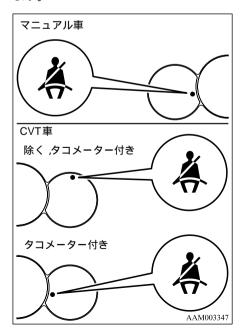
⚠警告

- お子さまをシートベルトで遊ばせないでください。
  特にチャイルドシート固定機構付シートベルトの場合，ベルトを身体に巻き付けたりして遊んでいると，誤ってチャイルドシート固定機構が作動し，ベルトが引き出せずに窒息などの重大な傷害を受けるおそれがあります。
  万一，誤ってチャイルドシート固定機構を作動させてしまい，シートベルトが外せなくなったときは，はさみなどでベルトを切断してください。

アドバイス

- チャイルドシート固定機構付シートベルトは，シートベルトを着用した状態で上体を大きく動かしたときに，シートベルトが引き出せなくなることがあります。これはチャイルドシート固定機構が作動しているためです。
  このときは，シートベルトをすべて巻き取らせてチャイルドシート固定機構を解除してから再度シートベルトを着用してください。
  →「チャイルドシート固定機構付シートベルトでの取り付け方」P. 5-29

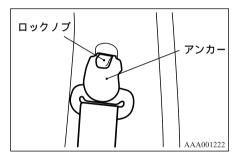
◆ シートベルト警告

J00509700405

運転席のシートベルトを着用しないままエンジンスイッチをONにすると，警告灯が点灯し，約6秒間ブザー（ピピピッ，ピピピッ）が鳴ってシートベルトの着用を促します。
そのままシートベルトを着用せずに走行したとき，エンジンスイッチをONにしてから約 1 分が経過していると警告灯が点灯・点滅を繰り返し，ブザーが断続的に鳴ります。
警告灯とブザーの警告は約90秒で止まります。
その後，シートベルトを着用しないまま停車・発進を繰り返すと，発進するたびに警告灯とブザーによってシートベルトの着用を促します。また，走行中にシートベルトを外しても同じようにシートベルトの着用を促します。
シートベルトを着用すれば警告は止まります。

◆ ベルトが首，顔に当たるときは（アジャスタブルシートベルトアンカー）

J00508000179

フロントシート

肩部ベルトの高さを調整することができます。
ベルトが首，顔に当たったり，肩から外れて腕にかかってしまうときに調整してください。
上げるときはアンカーをそのまま押し上げ，下げるときはロックノブを押したままアンカーを下げます。
調整後はアンカーが固定されていることを確認します。

⚠注意

- アンカーはできるだけ高い位置でご使用ください。ベルトが首に当たったり，肩に十分かからないときは，アンカーを一段ずつ下げて調整してください。

5

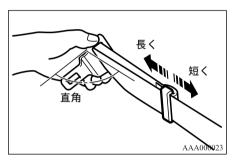
2点式シートベルト

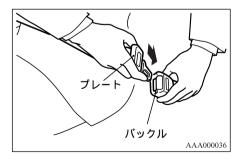
タイプ別装備　J00505300256

体格に合わせてベルトの長さを調整します。

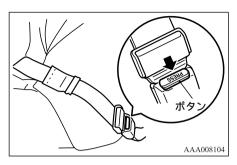
◆ 着用するときは

1. シートベルトがねじれていないか確認した後，ベルトをプレートと直角にして，ベルトを着けたときに腰部とベルトの間に手のひらが入る程度の長さに調整します。

AAA000023

2. プレートをバックルにカチッと音がするまではめ込みます。
   ベルトは腰部のできるだけ低い位置にかけ，ベルトを引いて腰部に密着させます。

AAA000036

◆ 外すときは

バックルのボタンを押します。

AAA008104

プリテンショナー機構／フォースリミッター機構付シートベルト

J00505700830

プリテンショナー付シートベルトは，運転席および助手席に装備されています。

プリテンショナー機構

J00512800035

プリテンショナー機構は，エンジンスイッチが ON のときに運転者または助手席同乗者に重大な危害がおよぶような強い衝撃を車両前方より受けたときに，シートベルトを瞬時に引き込み，シートベルトの効果をいっそう高める装置です。

⚠警告

- プリテンショナー付シートベルトの効果を十分に発揮させるため，つぎのことをお守りください。
  - シートを正しい位置に調整してください。
    →「フロントシート」P. 5-4
  - シートベルトを正しく着用してください。
    →「シートベルト」P. 5-18
- プリテンショナー付シートベルトやフロアコンソール付近の修理，カーオーディオなどの取り付けをする場合はプリテンショナー機構に影響をおよぼすおそれがありますので，三菱自動車販売会社にご相談ください。

⚠注意

- 廃車するときは三菱自動車販売会社へご相談ください。プリテンショナー付シートベルトが思いがけなく作動し，けがをするおそれがあります。

アドバイス

- プリテンショナー付シートベルトはシートベルトを装着していなくても，前方からの強い衝撃を受けると作動します。
- プリテンショナー付シートベルトは一度作動すると再使用できません。
  三菱自動車販売会社で運転席，助手席側を同時に交換してください。

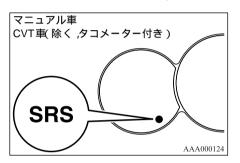
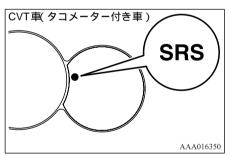
SRS エアバッグ／プリテンショナー機構警告灯

J00510000222

正常なときはエンジンスイッチを ON にすると点灯し，数秒後に消灯します。
また，SRS エアバッグおよびプリテンショナー機構が作動すると，点灯したままとなります。
SRS エアバッグ警告灯はプリテンショナー警告灯と兼用しています。

⚠ 注意

● 警告灯がつぎのようになったときはシステムの異常が考えられます。
衝突したときなどに SRS エアバッグおよびプリテンショナー付シートベルトが正常に作動せずけがをするおそれがありますので三菱自動車販売会社で点検を受けてください。
- エンジンスイッチを ON にしても警告灯が点灯しない，または点灯したまま
- 走行中に警告灯が点灯する

5

フォースリミッター機構

J00510100034

衝突時に，シートベルトにかかる荷重を効果的に吸収し，乗員への衝撃をやわらげる装置です。

チャイルドシート

J00506000742

⚠警告

- シートベルトを着けたとき肩部ベルトが首，あご，顔などに当たる場合や，腰部ベルトが腰骨にかからないような小さなお子さまは通常のシートベルトでは衝突のとき強い圧迫を受け，シートベルトにより重大な傷害を受けるおそれがあります。体格に合ったチャイルドシートを使用してください。
- 6 才未満のお子さまはチャイルドシートの使用が法律で義務付けられています。

⚠注意

- 後方へシートを移動したり背もたれを倒すときは，チャイルドシートに座ったお子さまに十分注意してください。お子さまがシートとチャイルドシートの間にはさまれるおそれがあります。

チャイルドシートには乳児用（ベビーシート），幼児用（チャイルドシート），学童用（ジュニアシート）の3種類があります。チャイルドシートはお子さまの体格によりお使いになれる種類が異なります。詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。

ISO*1 FIX対応チャイルドシート

J00506100495

チャイルドシート固定専用バーが装備された座席専用のチャイルドシート*2です。専用バーを使用してチャイルドシートを固定します。車両のシートベルトでチャイルドシートを固定する必要はありません。

*1 ISO は International Standardization Organization（国際標準化機構）の略語です。

*2 お客様のお車用として認可を受けたチャイルドシートのみ使用できます。

⚠警告

- お客様のお車用として認可を受けていないチャイルドシート（サポートレッグなしのもの，三菱自動車純正指定以外のものなど）を使用すると，チャイルドシートが適切に固定されずお子さまが重大な傷害を受けるおそれがあります。必ずお客様のお車専用のチャイルドシートを使用してください。

5

A- 乳児用（ベビーシート）
B- 幼児用（チャイルドシート）

ベース部（斜線部分）は，各シートと別体となります。

＜選択の目安＞

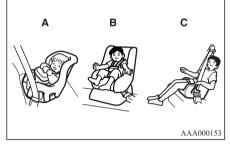
	体重（kg）	身長（cm）	参考年齢
乳児用（ベビーシート）	9未満	75以下	新生児~9ヶ月
幼児用*3（チャイルドシート）	9~25未満	75~115	9ヶ月~6才

*3 幼児用（チャイルドシート）は学童用（ジュニアシート）としても使用できます。詳しくはチャイルドシートに添付の取扱説明書をお読みください。

5

除く，ISO FIX対応チャイルドシート

J00506200340

車両のシートベルトを使用して固定するチャイルドシートです。シートの形状，サイズによっては固定できない場合があります。

A- 乳児用（ベビーシート）
B- 幼児用（チャイルドシート）
C- 学童用（ジュニアシート）

＜選択の目安＞

	体重（kg）	身長（cm）	参考年齢
乳児用（ベビーシート）	10未満	75以下	新生児~12ヶ月
幼児用（チャイルドシート）	18未満	105以下	4才以下
学童用（ジュニアシート）	15~36	100~135	4才~10才

アドバイス

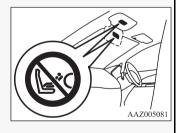
● 上記の表は体重・身長・年齢の目安を示しています。各製品により使用条件が異なりますので，必ず確認してください。

⚠警告

- 助手席に乳児用シート（ベビーシート）など後ろ向き装着のチャイルドシートは絶対に取り付けないでください。
  また，幼児用シート（チャイルドシート）など前後向きとも装着可能なシートでも後ろ向きには絶対に取り付けないでください。
  助手席 SRS エアバッグが膨らむとき，強い力が後ろ向きチャイルドシートの上部にかかり，背もたれに押しつけられて命にかかわる重大な傷害を受けるおそれがあります。

AAZ000057

- 助手席に後ろ向き装着のチャイルドシートを取り付けることを禁止するラベルが，サンバイザーに貼り付けてあります。

AAZ005081

⚠警告

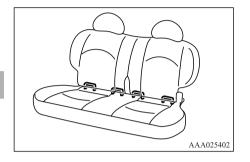
- やむを得ず助手席に前向き装着のチャイルドシートを取り付ける場合は，助手席を一番後ろの位置にして取り付けてください。

AAZ000943

ISO FIX 対応チャイルドシート固定専用バーでの取り付け方

J00506300468

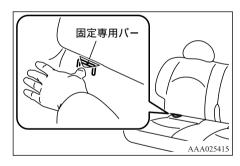
リヤシートの図の位置に ISO FIX 対応のチャイルドシートを固定するための専用バーが装備されています。

AAA025402

◆ 取り付けるときは

⚠警告

- チャイルドシートを取り付けるときは，固定専用バー周辺に異物がないことを確認してください。異物があるとチャイルドシートが固定されず，衝突したときなどに重大な傷害を受けるおそれがあります。
- リヤシートの背もたれを倒した状態でチャイルドシートを取り付けないでください。
  また，チャイルドシートが取り付けられているときは，シートの調整はしないでください。

1. リヤシートの背もたれの角度を一番起こした状態に調整します。
2. シートクッションと背もたれのすきまを手で少し広げて，固定専用バーの位置を確認します。

AAA025415

3. チャイルドシートに添付の取扱説明書にしたがって，チャイルドシートを取り付けます。
4. チャイルドシートを前後左右にゆすり，確実に固定されたことを確認します。

◆ 取り外すときは

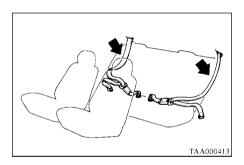
チャイルドシートに添付の取扱説明書にしたがって，チャイルドシートを取り外します。

チャイルドシート固定機構付シートベルトでの取り付け方

J00506400267

リヤシートの 3 点式シートベルトにはチャイルドシート固定機構がついています。
シートベルトを全部引き出すとチャイルドシート固定機構が作動します。ベルトを巻き戻す途中で手を止めると引き出し方向にベルトが動かない状態となって，チャイルドシートを固定することができます。

チャイルドシートを取り付けるときはつぎの手順で確実に取り付けてください。

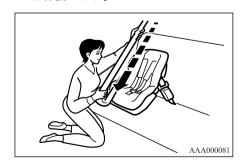
◆ 取り付け可能位置

◆ 取り付けるときは

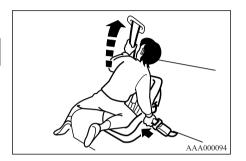
アドバイス

- 以下に説明する取り付け方は，一般的なチャイルドシートの取り付け方を例に記載しています。取り付けるときは必ずチャイルドシートに添付の取扱説明書にしたがって正しく取り付けてください。

1. チャイルドシートをリヤシートに置きます。
2. チャイルドシートに添付の取扱説明書にしたがってチャイルドシートのベルトガイドにシートベルトを通してから，プレートをバックルにカチッと音がするまで差し込みます。

3. 肩部ベルトをゆっくりと最後まで引き出すとチャイルドシート固定機構が作動します。

5

4. ベルトを巻き取らせます。このとき，ベルトが引き出し方向に動かないことを確認します。ベルトが引き出し方向に動く場合は，再度ベルトを最後まで引き出してください。
5. チャイルドシートにひざを置き，体重をかけてシートに押しつけながら，バックル側のベルトを引き上げてシートベルト全体のたるみがなくなるまで肩部ベルトを巻き取らせます。

AAA000094

6. チャイルドシートを前後左右にゆすり，確実に固定されていることを確認します。

◆ 取り外すときは

1. プレートをバックルから外して，シートベルトをチャイルドシートから取り外します。
2. シートベルトを最後まで巻き取らせチャイルドシート固定機構を解除します。

チャイルドシート固定機構付シートベルト以外のシートベルトでの取り付け方

J00506500415

チャイルドシート固定機構付シートベルトで取り付けることをおすすめします。やむを得ずチャイルドシート固定機構付シートベルト以外で取り付けるときはつぎの手順で確実に取り付けてください。

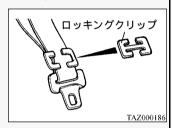
◆ 取り付け可能位置

AAA000108

◆ 取り付けるときは

1. チャイルドシートを助手席に置きます。
2. チャイルドシートに添付の取扱説明書にしたがって，チャイルドシートをシートベルトで固定します。
3. チャイルドシートを前後左右にゆすり，確実に固定されていることを確認します。

⚠警告

● シートベルトの種類によってチャイルドシートの取り付け方法が異なります。各シートベルトに合わせて正しく取り付けてください。
- チャイルドシート固定機構付シートベルト以外の3点式シートベルトを使うときも，必ずチャイルドシートの取扱説明書にしたがって正しく取り付けてください。
  タイプによってはチャイルドシートに付属のロッキングクリップでの固定が必要です。

◆ 取り外すときは

プレートをバックルから外して，シートベルトをチャイルドシートから取り外します。

SRSエアバッグ

J00506600953

SRSとはSupplemental Restraint Systemの略語で補助拘束装置の意味です。

運転席，助手席SRSエアバッグ

エンジンスイッチが ON のときに，運転者または助手席同乗者に重大な危害がおよぶような強い衝撃を車両前方から受けたときに，シートベルトの働きを補って，運転者または助手席同乗者の頭部や胸部への衝撃をやわらげる装置です。

SRSサイドエアバッグ

タイプ別装備

エンジンスイッチがONのときに，運転者または助手席同乗者に重大な危害がおよぶような強い衝撃を車両側面から受けたときに膨らみ，運転者または助手席同乗者の胸などの上体への衝撃をやわらげる装置です。

SRSカーテンエアバッグ

タイプ別装備

エンジンスイッチがONのときに，運転者および同乗者に重大な危害がおよぶような強い衝撃を車両側面から受けたときに膨らみ，運転者および同乗者の主に頭部への衝撃をやわらげる装置です。

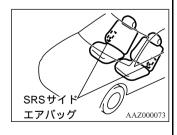
5

⚠警告

- SRS エアバッグはシートベルトに代わるものではありません。シートベルトは必ず着用してください。
  シートベルトをしていないと急ブレーキなどで身体が前方へ放り出されることがあり，その際にSRSエアバッグが膨らむとその強い衝撃で命にかかわる重大な傷害を受けるおそれがあります。シートベルトはつぎの理由により必ず着用してください。
  - SRSエアバッグが膨らんだとき，シートベルトがあなたの身体を正しい位置に保ちます。
  - SRS エアバッグが作動しないときでも，シートベルトによりけがを軽減することができます。
- シートは正しい位置に調整し，背もたれに背中をつけた正しい姿勢でシートに座ってください。
  SRS エアバッグは非常に速い速度で膨らむため，SRS エアバッグに近づきすぎた姿勢で乗車していると SRS エアバッグが膨らむ際，エアバッグにより命にかかわる重大な傷害を受けるおそれがあります。
- SRS エアバッグ構成部品およびその周辺は膨らんだ後，高温になりますのでさわらないでください。やけどをするおそれがあります。

⚠注意

- SRS エアバッグが収納されている部分に傷がついていたり，ひび割れがあるときは三菱自動車販売会社で点検を受けてください。
  衝突したときなどにSRSエアバッグが正常に作動せずけがをするおそれがあります。

- SRS サイドエアバッグ付き車は，エアバッグが収納されているシート部分に生地のやぶれ，縫いほつれなどがあるときは三菱自動車販売会社で点検を受けてください。
  衝突したときなどにSRSエアバッグが正常に作動せずけがをするおそれがあります。

アドバイス

- SRS エアバッグは非常に速い速度で膨らむため，SRS エアバッグとの接触によりすり傷や打撲などを受けることがあります。
- SRS エアバッグが膨らむときかなり大きな音がし，白煙が出ますが火災ではありません。また人体への影響もありません。ただし，呼吸器系の疾患がある人や皮膚が弱い人の場合，一時的にのどや皮膚に刺激を感じることがあります。また，残留物（カスなど）が目や皮膚など身体に付着したときは，できるだけ早く水で洗い流してください。
  皮膚が弱い人の場合，まれに皮膚を刺激することがあります。
- 膨らんだSRSエアバッグはすぐにしぼむので運転席，助手席SRSエアバッグおよびSRSサイドエアバッグは視界を妨げません。
- SRS エアバッグは一度膨らむと再使用できません。三菱自動車販売会社でSRSエアバッグ構成部品を交換してください。
- 衝撃や助手席SRSエアバッグが膨らむことにより，前面ガラスが破損する場合があります。

運転席SRSエアバッグ

J00506700606

運転席SRSエアバッグはハンドルの中に装備されています。

⚠警告

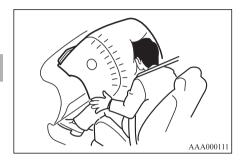
- ハンドルの交換や，パッド部にステッカーを貼ったり，カバーを付けることはしないでください。SRS エアバッグが正常に作動せず重大な傷害を受けるおそれがあります。

- ハンドルに顔や胸を近づけた姿勢で運転しないでください。
  SRS エアバッグが膨らむ際，エアバッグにより命にかかわる重大な傷害を受けるおそれがあります。

助手席SRSエアバッグ

J00506800812

助手席SRSエアバッグはグローブボックス上のインストルメントパネルの中に装備されています。
助手席SRSエアバッグは同乗者がいなくても運転席SRSエアバッグと同時に作動します。

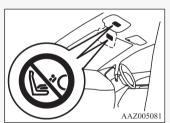
AAA000111

⚠警告

- インストルメントパネルの上に物を置いたり，ステッカーなどを貼らないでください。
  また，前面ガラスにアクセサリーを取り付けたり，ルームミラーにワイドミラーを取り付けたりしないでください。SRS エアバッグが正常に膨らむのを妨げたり，膨らむときにこれらの物が飛んで重大な傷害を受けるおそれがあります。

AAZ002598

⚠警告

● お子さまを乗せるときには，必ずつぎのことをお守りください。SRS エアバッグが膨らむときの強い衝撃でお子さまの命にかかわる重大な傷害を受けるおそれがあります。
- お子さまはリヤシートに座らせて必ずシートベルトを着用させてください。
- シートベルトを正しく着用できない小さなお子さまには，チャイルドシートをリヤシートに装着してご使用ください。
- 6才未満のお子さまはチャイルドシートの使用が法律で義務付けられています。
- 助手席に乳児用シート（ベビーシート）など後ろ向き装着のチャイルドシートは絶対に取り付けないでください。
  また，幼児用シート（チャイルドシート）など前後向きとも装着可能なシートでも後ろ向きには絶対に取り付けないでください。
  助手席SRSエアバッグが膨らむとき，強い力が後ろ向きチャイルドシートの上部にかかり，背もたれに押しつけられて命にかかわる重大な傷害を受けるおそれがあります。

- 助手席に後ろ向き装着のチャイルドシートを取り付けることを禁止するラベルが，サンバイザーに貼り付けてあります。

- やむを得ず助手席に前向き装着のチャイルドシートを取り付ける場合は，助手席を一番後ろの位置にして取り付けてください。

⚠警告

- 助手席同乗者はシートの前端に座ったり，インストルメントパネルに手や足を乗せたり，顔や胸を近づけた姿勢で座らないでください。また，お子さまをインストルメントパネルの前に立たせたり，ひざの上に抱いたりしないでください。SRSエアバッグが膨らむ際，SRS エアバッグにより命にかかわる重大な傷害を受けるおそれがあります。

- 助手席同乗者は，かばんなどの荷物をひざの上にかかえるなど，SRS エアバッグとの間に物を置いたりしないでください。SRS エアバッグが膨らむ際に物が飛ばされ重大な傷害を受けるおそれがあります。

SRSサイドエアバッグ

タイプ別装備

J00507000361

SRS サイドエアバッグは運転席，助手席各シートの背もたれの中に装備されており，衝撃を受けた側のみ作動します。
また，衝撃を受けた側に同乗者がいなくても作動します。

⚠警告

- フロントシート背もたれのSRSサイドエアバッグ収納部に手，足，顔を近づけたり，ドアにもたれかかるような姿勢で座らないでください。
  また，お子さまなどに後席からフロントシートの背もたれを抱えたような姿勢はさせないでください。
  SRS サイドエアバッグが膨らむ際，エアバッグにより重大な傷害を受けるおそれがあります。

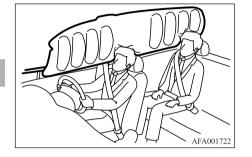
⚠警告

- フロントシートおよびフロントシートのSRSサイドエアバッグが収納されている付近に，カップホルダーなど三菱自動車純正品以外のアクセサリーを取り付けたり，ステッカーなどを貼らないでください。
  SRS サイドエアバッグが正常に膨らむのを妨げたり，膨らむときにこれらの物が飛んで重大な傷害を受けるおそれがあります。

SRSカーテンエアバッグ

タイプ別装備　　J00507500311

SRS カーテンエアバッグはフロントピラー，リヤピラーおよびルーフサイド部の中に装備されており，衝撃を受けた側のみ作動します。また，衝撃を受けた側に同乗者がいなくても作動します。

AFA001722

⚠警告

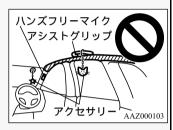
- フロントピラー，リヤピラーおよびルーフサイド部の SRS カーテンエアバッグ収納部に近づいたり，ドアにもたれかかるような姿勢で座らないでください。
  SRS カーテンエアバッグが膨らむ際，エアバッグにより重大な傷害を受けるおそれがあります。
  特にお子さまには注意してください。

AAZ000099

AAZ000060

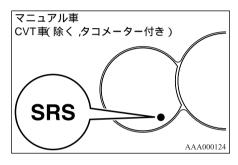
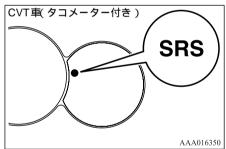
AAZ000305

⚠警告

● 前面ガラス，側面ガラス，フロントピラー，リヤピラー，ルーフサイド部およびアシストグリップなどのSRSカーテンエアバッグ展開部周辺にステッカー等を貼りつけたり，アクセサリーやハンズフリーマイクなどを取り付けたりしないでください。
SRSエアバッグが正常に膨らむのを妨げたり，膨らむときにこれらの物が飛んで重大な傷害を受けるおそれがあります。

SRSエアバッグ／プリテンショナー機構警告灯

J00507300814

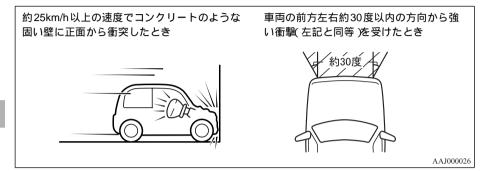
正常なときはエンジンスイッチをONにすると点灯し，数秒後に消灯します。
また，SRSエアバッグおよびプリテンショナー機構が作動すると，点灯したままとなります。
SRSエアバッグ警告灯はプリテンショナー警告灯と兼用しています。

⚠注意

● 警告灯がつぎのようになったときはシステムの異常が考えられます。
衝突したときなどにSRSエアバッグおよびプリテンショナー付シートベルトが正常に作動せずけがをするおそれがありますので三菱自動車販売会社で点検を受けてください。
• エンジンスイッチをONにしても警告灯が点灯しない，または点灯したまま
• 走行中に警告灯が点灯する

運転席，助手席SRSエアバッグの作動条件

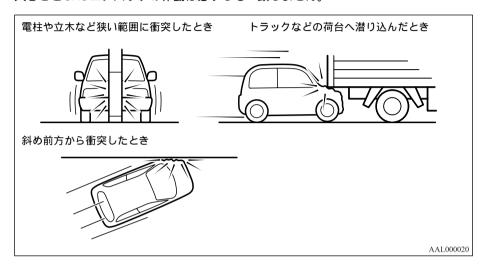
J00506900174

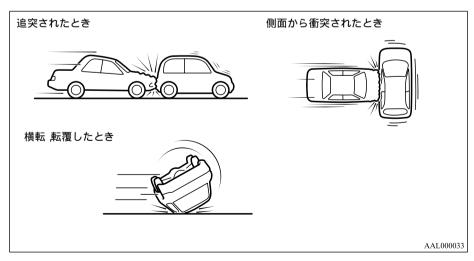
◆ 作動するとき

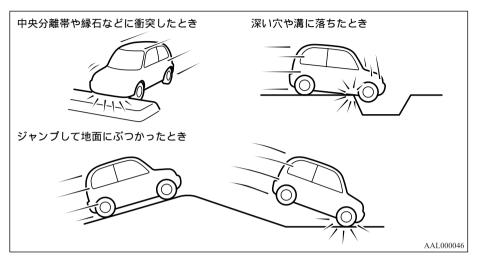
乗員に重大な危害がおよぶような強い衝撃を車両前方から受けたときに作動します。

アドバイス

- コンクリートのような固い壁でなく，衝撃を吸収できるもの（車やガードレールのように変形，移動するもの）に衝突した場合は，エアバッグが作動するときの衝突速度（車速）は高くなります。

◆ 作動しないことがあるとき

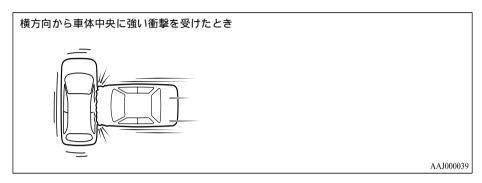
衝突により車両前部が大きく変形しても，衝突した位置や角度,衝突したものの形状や状態などによってSRSエアバッグは作動しないことがあります。車両の変形や損傷の大きさとSRSエアバッグの作動は必ずしも一致しません。

◆ 作動しないとき

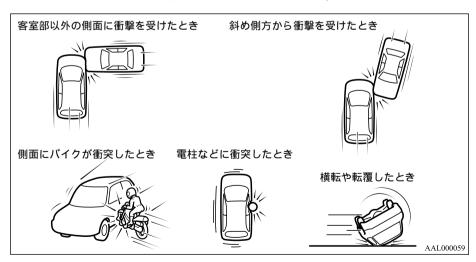
SRSエアバッグが膨らんでも乗員保護の効果がないため作動しません。
また，一度作動したSRSエアバッグは，2回目以降の衝突では再作動しません。

◆ 作動することがあるとき

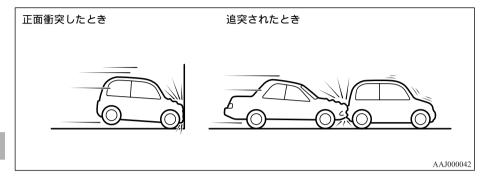
走行中，車両下部に強い衝撃を受けたときに作動することがあります。

SRSサイドエアバッグ，SRSカーテンエアバッグの作動条件

J00507100128

◆ 作動するとき

乗員に重大な危害がおよぶような強い衝撃を車両側方から受けたときに作動します。

◆ 作動しないことがあるとき

衝突により車両側面が大きく変形しても，衝突した位置や角度，衝突したものの形状や状態などによってSRSエアバッグは作動しないことがあります。車両の変形や損傷の大きさとSRSエアバッグの作動は必ずしも一致しません。

◆ 作動しないとき

SRSエアバッグが膨らんでも乗員保護の効果がないため作動しません。
また，一度作動したSRSエアバッグは，2回目以降の衝突では再作動しません。

取り扱い上の注意

J00507400554

⚠警告

- つぎの修理または部品の取り付けをするときは，SRS エアバッグに影響をおよぼしたり，SRS エアバッグが思いがけなく作動しけがをするおそれがありますので，三菱自動車販売会社へご相談ください。
  - 運転席，助手席SRSエアバッグ：
    ハンドル周り，インストルメントパネル，フロアコンソール付近の修理，カーオーディオなどの取り付け，および車両前部の修理
  - SRSサイドエアバッグ（タイプ別装備）：
    前席シート，センターピラーおよびその付近の修理
    前席シートの表皮の張り替え
  - SRSカーテンエアバッグ（タイプ別装備）：
    フロントピラー，センターピラー，リヤピラー，ルーフサイド部，およびその付近の修理
- サスペンションを改造しないでください。車高が変わったり，サスペンションの硬さが変わるとSRSエアバッグの誤作動につながるおそれがあります。
- つぎのSRSエアバッグ展開部付近を強くたたくなど，過度の力を加えないでください。SRSエアバッグが正常に作動せず重大な傷害を受けるおそれがあります。
  - ステアリングパッド
  - インストルメントパネル上部
  - フロントシート側面
  - フロントピラー
  - センターピラー
  - リヤピラー
  - ルーフサイド部

⚠注意

- 廃車するときは三菱自動車販売会社へご相談ください。SRS エアバッグが思いがけなく作動し，けがをするおそれがあります。
- 電気テスターを使って，エアバッグの回路診断はしないでください。SRS エアバッグの誤作動につながるおそれがあります。
- 無線機の電波などは，SRS エアバッグを作動させるコンピューターに悪影響を与えるおそれがありますので，無線機などを取り付けるときは，三菱自動車販売会社にご相談ください。

アドバイス

- お車をゆずられるときはSRS エアバッグ装着車であることを説明し，取扱説明書を車につけておいてください。

計器盤・スイッチ

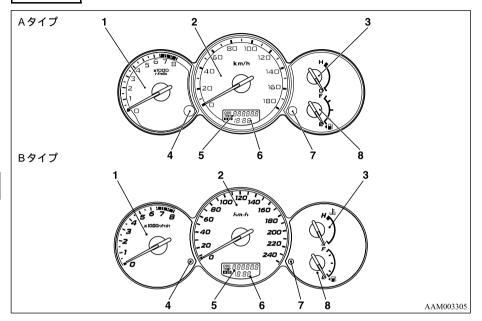
計器盤
メーター 6- 2
表示灯・警告灯 6- 9
表示灯 6- 13
警告灯 6- 13

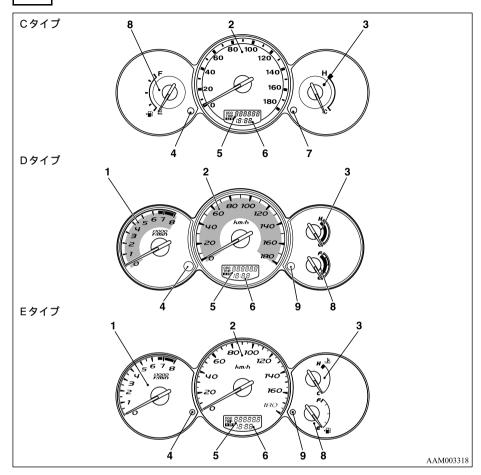
スイッチ
ライトスイッチ 6- 15
ヘッドライトレベリング 6- 19
方向指示レバー 6- 20
非常点滅灯スイッチ 6- 21
フロントフォグランプスイッチ 6- 21
ワイパー／ウォッシャースイッチ 6- 22
リヤウインドウデフォッガー（曇り取り）スイッチ 6- 25
ホーンスイッチ 6- 25

6

メーター

J00600100670

マニュアル車

1- タコメーター →P. 6-4
2- スピードメーター →P. 6-4
3- 水温計→P. 6-8
4- ツマミ（時刻合わせ）→ P. 8-3
5- オドメーター（積算距離計）／
トリップメーター（区間距離計）→P. 6-4
6- 時計→P. 8-3
7- リセットボタン→P. 6-4
8- 燃料計→P. 6-5

CVT車

1- タコメーター タイプ別装備 → P. 6-4
2- スピードメーター → P. 6-4
3- 水温計 → P. 6-8
4- ツマミ（時刻合わせ）→ P. 8-3
5- オドメーター（積算距離計）／トリップメーター（区間距離計）→ P. 6-4
6- 時計 → P. 8-3
7- リセットボタン タイプ別装備 → P. 6-4
8- 燃料計 → P. 6-5
9- リセットボタン／メーター照度調整ダイヤル タイプ別装備 → P. 6-8

スピードメーター

J00600200017

走行速度を示します。

タコメーター

タイプ別装備

J00600300207

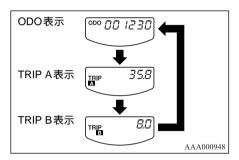
毎分のエンジン回転数を示します。

アドバイス

- 指針がレッドゾーン（赤色表示部）に入らないようにしてください。エンジンの寿命が短くなり，破損するおそれがあります。

オドメーター（積算距離計）／トリップメーター（区間距離計）

J00600600444

エンジンスイッチがONのとき，ODO（オドメーター）表示，またはTRIP（トリップメーター）表示をします。
リセットボタンを軽く（約1秒未満）押すたびに表示が切り換わります。

◆ オドメーター

走行した総距離をkm単位で表示します。

◆ トリップメーター

2地点間の走行距離をkm単位で表示します。

TRIP A とTRIP B があります。

＜例＞

TRIP A で自宅を出発してからの距離を測りながら,TRIP B で途中の経由地からの距離を測ることができます。

リセットするときは

0に戻すにはリセットボタンを約1秒以上押し続けます。この場合，表示されている方だけリセットされます。

＜例＞

TRIP A が表示されていれば TRIP A だけリセットされます。

アドバイス

- トリップメーターはA, B共999.9kmまで計測することができます。
- エンジンスイッチを切った後でもつぎのいずれかの操作をした場合，約30秒間オドメーターまたはトリップメーターを表示します。
  - 運転席のドアを開けたとき
  - リセットボタンを押したとき
  - 時刻合わせのツマミを押したとき（回したときは表示されません。）→「時計」P. 8-3
- バッテリー端子を外すと，トリップメーターの A 表示, B 表示とも記憶が消去され，表示が0に戻ります。

燃料計

J00600700184

エンジンスイッチがONのとき，燃料の残量を示します。

F- 満タンです。（約45L）
E- 燃料を補給してください。

⚠警告

- 燃料を入れるときは必ずエンジンを止めてください。たばこ，ライターなど火気は使用しないでください。

⚠注意

- 燃料切れを起こすと触媒装置に悪影響を与えるおそれがあります。警告灯が点灯したら早めに燃料を補給してください。

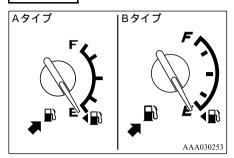
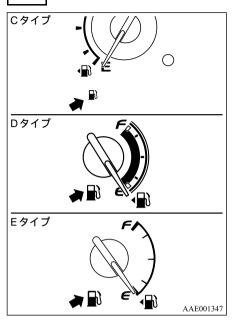
アドバイス

- 坂道やカーブなどは，タンク内の燃料が移動するため，指針が振れることがあります。
- 燃料補給後，指針が安定するまで少し時間がかかります。
- エンジンスイッチが ON のまま燃料を補給すると，正しい燃料残量が表示できません。

6

◆ 燃料残量警告灯

J00605800568

マニュアル車

CVT車

エンジンスイッチがONのとき，燃料が約7L以下になると点灯します。
警告灯が点灯したら早めに燃料を補給してください。
→「フューエルリッド（燃料補給口）」P. 4-21
→「メンテナンスデータ：燃料の量と種類」P. 14-2

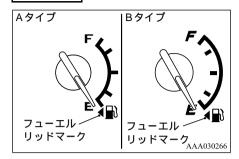
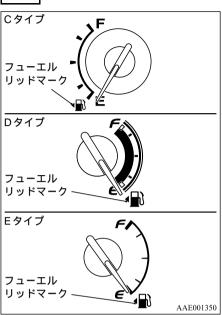
アドバイス

- 坂道やカーブなどでは，タンク内の燃料が移動するため，正しく表示しないときがあります。

6

◆ フューエルリッド位置表示

J00605900370

マニュアル車

CVT車

フューエルリッド（燃料補給口）が車体の左側に付いていることを示しています。

→「フューエルリッド（燃料補給口）」P. 4-21

水温計

J00600800084

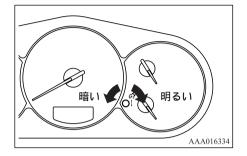
エンジンスイッチがONのとき，エンジン冷却水の温度を示します。

> **⚠注意**
>
> ● 指針が「H」表示部に近づいたときはオーバーヒートのおそれがあります。そのまま走行を続けるとエンジン故障の原因となりますので，ただちに安全な場所に車を止め，処置してください。
> →「オーバーヒートしたときは!」P. 13-32

メーター照度調整ダイヤル

タイプ別装備

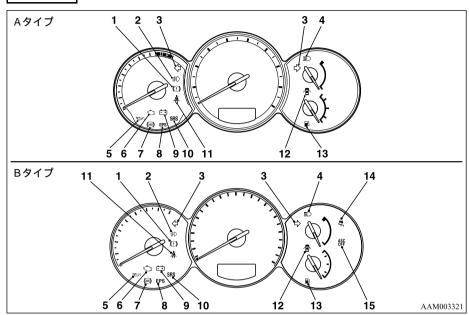
J00606600156

ダイヤルを右へ回すとメーター内の照明が明るくなり，左へ回すと暗くなります。

> **アドバイス**
>
> ● ライトスイッチの位置により，つぎのとおりメーター照明が調整された明るさに切り換わります。
> <除く，オートライトコントロール付き車>
> • ライトスイッチを またはの位置にするとメーター照明が減光されます。
>
> <オートライトコントロール付き車>
> • ライトスイッチが AUTO の位置にあるときは，車外の明るさに応じてメーター照明が自動的に調整された明るさに切り換わります。
> • 周囲が暗いとき（夜間など）ライトスイッチを またはの位置にするとメーター照明が減光されます。
> ただし，周囲が明るいとき（昼間など）にはメーター照明は減光されません。

6

表示灯・警告灯

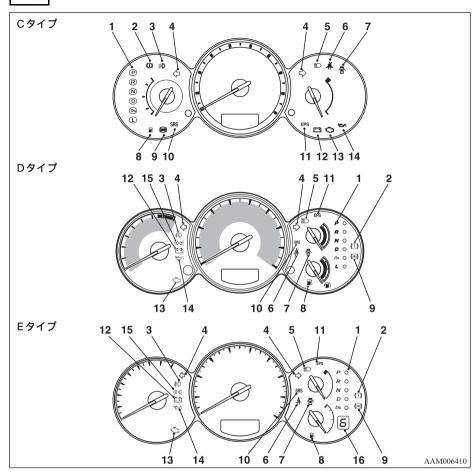
J00601501001

マニュアル車

1- ブレーキ警告灯 → P. 6-13
2- フロントフォグランプ表示灯 タイプ別装備 → P. 6-13
3- 方向指示表示灯／非常点滅表示灯 → P. 6-13
4- ヘッドライト上向き表示灯 → P. 6-13
5- 油圧警告灯 → P. 6-14
6- エンジン警告灯 → P. 6-14
7- ABS警告灯 → P. 7-26
8- 電動パワーステアリング警告灯 → P. 7-28
9- 充電警告灯 → P. 6-14
10- SRSエアバッグ／プリテンショナー機構警告灯 → P. 5-24，5-39

11- シートベルト警告灯→ P. 5-21
12- 半ドア警告灯 → P. 6-15
13- 燃料残量警告灯→ P. 6-6
14- アクティブスタビリティコントロール(ASC)作動表示灯 タイプ別装備
→ P. 7-31
15- アクティブスタビリティコントロール(ASC) OFF 表示灯 タイプ別装備
→ P. 7-31

アドバイス
● ディスチャージヘッドライト付き車は計器盤右下にヘッドライトオートレベリング警告灯があります。 詳しくは「ヘッドライトオートレベリング警告灯」をお読みください。→P. 6-20

6

CVT車

1- セレクターレバー位置表示灯（“N”表示灯はCVT警告灯と兼用）→ P. 7-14
2- ブレーキ警告灯 → P. 6-13
3- フロントフォグランプ表示灯 タイプ別装備 → P. 6-13
4- 方向指示表示灯／非常点滅表示灯 → P. 6-13
5- ヘッドライト上向き表示灯 → P. 6-13
6- シートベルト警告灯 → P. 5-21
7- 半ドア警告灯 → P. 6-15
8- 燃料残量警告灯 → P. 6-6
9- ABS警告灯 → P. 7-26
10- SRSエアバッグ／プリテンショナー機構警告灯 → P. 5-24，5-39

11- 電動パワーステアリング警告灯→ P. 7-28
12- 充電警告灯→ P. 6-14
13- エンジン警告灯→ P. 6-14
14- 油圧警告灯→ P. 6-14
15- 車幅灯表示灯 タイプ別装備→ P. 6-13
16- スポーツモード表示灯 タイプ別装備→ P. 7-19

アドバイス

- ディスチャージヘッドライト付き車は計器盤右下にヘッドライトオートレベリング警告灯があります。
  詳しくは「ヘッドライトオートレベリング警告灯」をお読みください。→P. 6-20

6

表示灯

J00601600018

方向指示表示灯／非常点滅表示灯

J00601700211

方向指示レバー，非常点滅灯を作動させると点滅します。

アドバイス

- 点滅が異常に早くなったときは，方向指示灯の球切れが考えられますので三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

ヘッドライト上向き表示灯

J00601800010

ヘッドライトを上向きにすると点灯します。

フロントフォグランプ表示灯

タイプ別装備

J00601900242

フロントフォグランプを点灯させると表示灯が点灯します。

車幅灯表示灯

タイプ別装備

J00602100065

車幅灯を点灯させると表示灯が点灯します。

警告灯

J00602500014

ブレーキ警告灯

J00602600608

エンジンスイッチをONにすると点灯し，数秒後に消灯します。
エンジンをかけても，つぎのようなときは点灯します。

- 駐車ブレーキをかけたままのとき
- ブレーキ液が不足しているとき

⚠注意

- つぎの場合はブレーキの効きが悪くなるおそれがありますので，車を安全な場所に止めて三菱自動車販売会社へ連絡してください。
  - 駐車ブレーキをかけても点灯しないときや戻しても消灯しないとき。
  - 走行中ブレーキ警告灯が点灯したまま消灯しないとき。
- ブレーキ警告灯がABS警告灯と同時に点灯したときは，ブレーキ力の配分機能も作動しないため，急ブレーキをかけたときに車体姿勢が不安定になるおそれがあります。急ブレーキや高速走行を避け，車を安全な場所に止めて三菱自動車販売会社へ連絡してください。
- ブレーキの効きが悪い場合はつぎの処置により車を止めてください。
  - ブレーキペダルを通常より強く踏んでください。
    ブレーキペダルが奥まで踏み込まれた状態になることがありますが，そのままブレーキペダルを強く踏み続けてください。
  - 万一，ブレーキが効かないときは，エンジンブレーキでスピードを落としてから駐車ブレーキをゆっくりかけてください。
    このとき後続車に注意をうながすため，ブレーキペダルを踏んでストップランプを点灯させてください。

エンジン警告灯

J00602700377

エンジン制御装置に異常があると点灯または点滅します。
正常なときはエンジンスイッチをONにすると点灯し，数秒後に消灯します。

⚠注意

- エンジン回転中に点灯または点滅したときは，高速走行を避けてできるだけ早く三菱自動車販売会社で点検を受けてください。走行中はアクセルペダルを踏んでもスピードが出なくなることがあります。停車時はアイドリング回転数が高くなり，CVT 車はクリープ現象が強くなることがあるため，よりしっかりとブレーキペダルを踏んでください。

充電警告灯

J00602800192

充電系統に異常があると点灯します。
正常なときはエンジンスイッチをONにすると点灯し，エンジンをかけると消灯します。

⚠注意

- エンジン回転中に点灯したときは，ただちに安全な場所に停車し，三菱自動車販売会社へご連絡ください。

油圧警告灯

J00602900210

エンジン回転中，エンジンオイルの圧力が低下すると点灯します。
正常なときはエンジンスイッチをONにすると点灯し，エンジンをかけると消灯します。

⚠注意

- エンジンオイルが不足したまま運転したり，エンジンオイルの量が正規であっても点灯したままで運転するとエンジンが焼き付き，破損するおそれがあります。
- エンジン回転中に点灯したときは，ただちに安全な場所に停車しエンジンを止め，エンジンオイル量を点検してください。
（点検方法は別冊の「メンテナンスノート」をご覧ください。）
- エンジンオイル量が正常で点灯するときは，三菱自動車販売会社へご連絡ください。

アドバイス

- 油圧警告灯はオイル量を示すものではありません。オイル量の点検は必ずオイルレベルゲージで行ってください。

6

半ドア警告灯

J00603200379

いずれかのドアまたはテールゲートが完全に閉められていないときに点灯します。
半ドアのまま車速が約8km/h以上になると，警告灯が 16 回点滅すると同時にブザーが「ピー，ピー」と16回鳴り，半ドアを知らせます。

⚠注意

- 走行する前に，警告灯が消灯していることを確認してください。

アドバイス

- 警告灯の点滅とブザーの機能を働かなくすることができます。
詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。

ライトスイッチ

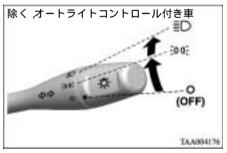
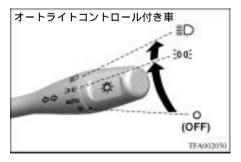
J00604000736

手動で使うときは

J00616700017

エンジンスイッチの位置に関係なく使用できます。
レバー先端のツマミを回すと下表の○印のランプが点灯します。

ツマミの位置	≣D	≣D0≣
ヘッドライト	○	—
車幅灯	○	○
尾灯	○	○
番号灯	○	○
計器類照明灯	○	○

除く,オートライトコントロール付き車

オートライトコントロール付き車

⚠注意

- 点灯中および消灯直後は，レンズの表面が高温になっているため触らないでください。やけどをするおそれがあります。

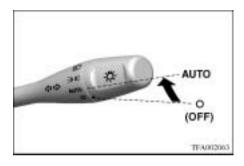
アドバイス

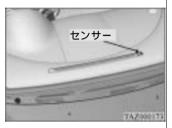
- 雨の日や洗車後などにレンズ内側が曇ることがあります。これは湿気の多い日などに窓ガラスが曇るのと同様の現象で，機能上の問題はありません。ランプを点灯すると熱で曇りは取れます。ただし，ランプ内に水がたまっているときは三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

自動で使うときは（オートライトコントロール）

タイプ別装備

J00616800021

エンジンスイッチが ON のときに使用できます。レバー先端のツマミを AUTO 位置にすると，車外の明るさに応じてヘッドライト，車幅灯，尾灯，番号灯などが自動的に点灯・消灯します。
エンジンスイッチを OFF にすると自動的に消灯します。

アドバイス

- 自動点灯センサーの感度を調整することができます。
  詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。
- フロントフォグランプ付き車は,AUTOの位置でフロントフォグランプが点灯しているとき，エンジンスイッチをOFFにすると，フロントフォグランプも自動消灯します。
- 自動点灯・消灯装置のセンサーの上には物を置いたり，ガラスクリーナーなど吹きかけないでください。

- AUTOの位置で点灯・消灯しないときは，手動でスイッチを操作し，三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

ヘッドライト*1 オートカット機能（自動消灯）

J00606000684

*1 ヘッドライトやフォグランプなどの車外照明

- ライトスイッチが≣Dまたは⩉の位置でも，エンジンスイッチを OFF にし，運転席ドアを開くと，ランプ類が自動的に消灯します。
  - •キーを抜き運転席ドアを開いた場合は，ブザーが「ピーッ」と鳴り，ランプ類の消し忘れを知らせます。
  - •キーを差したまま運転席ドアを開いた場合は，ブザーが断続的に「ピピッ，ピピッ」と鳴り，キーの抜き忘れを知らせます。
- ライトスイッチが≣Dまたは⩉の位置でも，エンジンスイッチを OFF にし，運転席ドアを開かないまま約3分たつとランプ類が自動的に消灯します。

6

◆ 降車後，照明として利用するときは

J00615600022

降車後も約 3 分間ランプ類を点灯させておくことができます。

1. ライトスイッチとエンジンスイッチをOFFにします。
2. ライトスイッチを≣Dの位置にし，降車します。

アドバイス

- ライトスイッチを≡DO≡位置にすると降車後照明として利用できません。（自動消灯せず通常通り，ランプ類が点灯し続けます。）
- 運転席から降車するとき，キーが抜かれていればライト消し忘れ警告ブザー（ピーッ）が鳴り，キーが差さっていればキー抜き忘れ警告ブザー（ピピッ，ピピッ）が鳴りますが，ドアを閉じれば止まります。

3. 約 3 分後にランプ類が自動消灯します。

アドバイス

- つぎの機能を変更することができます。詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。
  - ライトスイッチが≡DO≡位置でも降車後照明として利用できるようにする。
  - ランプ類のオートカット機能を働かなくする

ライト消し忘れブザー

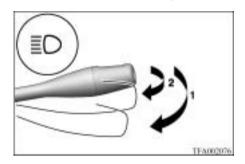
J00606100018

ライトスイッチが≣Dまたは≡DO≡の位置のままでキーを抜き，運転席のドアを開くと，ブザーが「ピーッ」と鳴り，ランプ類の消し忘れを知らせます。
ヘッドライトオートカット機能が働く，ライトスイッチをOFFにする，またはドアを閉じればブザーは止まります。

上下切り換え

J00606200080

レバーを(1)まで引くたびにヘッドライトの照らす方向が上向き，下向きと交互に切り換わります。
レバーを(2)まで軽く引くと，引いている間ヘッドライトが上向きになり，メーター内の表示灯も点灯します。

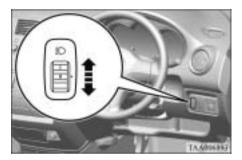
アドバイス

- ライトスイッチが O (OFF)位置でも，レバーを(2)まで軽く引いている間ヘッドライトが上向きで点灯します。
- ヘッドライトを上向きにしたまま戻し忘れても，次回ライトスイッチを≣Dの位置にすると必ず下向きで始まります。

ヘッドライトレベリング

J00604100649

ヘッドライトレベリングダイヤル

除く，ディスチャージヘッドライト付き車

ヘッドライトの照らす方向（光軸）は，乗員の人数や荷物の重さなどによって変化します。人や荷物をのせて，ヘッドライトの光軸がいつもより上向きになった場合は，ダイヤルを回してヘッドライトの光軸を下向きに調整します。ダイヤルの数字が大きくなるほど下向きになります。

乗員の人数や荷物の重さに応じてつぎの表を目安にダイヤル位置を調整してください。
人や荷物をおろした後は，必ずダイヤルを“０”の位置に戻してください。

⚠注意

● 調整は必ず走行前に行ってください。走行中の調整は運転を誤り思わぬ事故につながるおそれがあります。

〈2WD車〉

乗員やラゲッジルームの積載状態		ダイヤル位置
	運転席乗車時	0
	運転席＋助手席乗車時	
	全席乗車時	2
	全席乗車時＋ラゲッジルーム最大積載時	3
	運転席乗車時＋ラゲッジルーム最大積載時（後席折りたたみ）	3

〈4WD車〉

乗員やラゲッジルームの積載状態		ダイヤル位置
	運転席乗車時	0
	運転席＋助手席乗車時	
	全席乗車時	2
	全席乗車時＋ラゲッジルーム最大積載時	2
	運転席乗車時＋ラゲッジルーム最大積載時（後席折りたたみ）	2

アドバイス

● 車検などで光軸調整をするときは，ダイヤルを“０”の位置（光軸が一番上向きの位置）に戻してから行ってください。

6

ヘッドライトオートレベリング

J00610400038

ディスチャージヘッドライト付き車

乗員の人数や荷物の重さなどによる車両姿勢の変化に応じて，ヘッドライトの照らす方向（光軸）を自動的に調整する装置です。
エンジンスイッチが ON のときにヘッドライトが点灯すると，停車時にヘッドライトの光軸を自動的に調整します。

◆ ヘッドライトオートレベリング警告灯

J00611300106

正常なときはエンジンスイッチを ON にすると点灯し，数秒後に消灯します。

TAA000352

⚠注意

- エンジンスイッチを ON にしても警告灯が点灯しない，または点灯したままのときは装置の故障が考えられます。三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

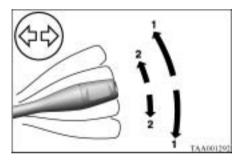
6

方向指示レバー

J00604200682

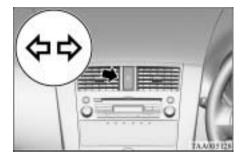
エンジンスイッチが ON のときにレバーを(1)まで操作すると，方向指示灯とメーター内の表示灯が点滅します。
レバーはハンドルを戻すと自動的に戻ります。ゆるいカーブなどで戻らないときは手で戻してください。
車線変更などのときは，レバーを(2)まで軽く操作すると操作している間だけ方向指示灯とメーター内の表示灯が点滅します。

1- 方向指示
2- 車線変更

アドバイス

- 点滅が異常に早くなったときは，方向指示灯の球切れが考えられますので三菱自動車販売会社で点検を受けてください。
- つぎの機能を変更することができます。詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。
  - 方向指示灯の点滅に合わせてブザーを鳴らす。
  - エンジンスイッチがONまたはACCのときにレバーを操作すると，方向指示灯とメーター内の表示灯を点滅させる。

非常点滅灯スイッチ

J00604300582

故障したときなど，やむを得ず路上に車を止めたいときに使用します。
スイッチを押すとすべての方向指示灯が点滅し，メーター内の表示灯も点滅します。もう一度押すと消灯します。

アドバイス

- エンジンがかかっていないときに長時間使用するとバッテリーが上がり，エンジンがかからなくなることがあります。
- 方向指示灯の点滅に合わせてブザーを鳴らすことができます。詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。

フロントフォグランプスイッチ

タイプ別装備

J00604500409

霧の出ているとき，雨や雪などの降る夜間など視界が悪いときに使用します。
ヘッドライトまたは尾灯が点灯しているときにスイッチを押すと，フロントフォグランプが点灯し，メーター内の表示灯も点灯します。消灯するときはもう一度スイッチを押します。

アドバイス

- ヘッドライトと尾灯が消灯すると，フロントフォグランプも自動消灯します。
再度点灯させたいときは，ヘッドライトまたは尾灯が点灯しているときに，もう一度スイッチを押します。

ワイパー／ウォッシャースイッチ

J00604800330

エンジンスイッチがONまたはACCのときに使用できます。

⚠注意

● 寒冷時にウォッシャーを使用するとガラスに噴きつけられたウォッシャー液が凍結し，視界を妨げることがあります。ウォッシャー使用前にヒーターやリヤウインドウデフォッガーを使って，ガラスを暖めてください。

アドバイス

● ガラスがほこりや泥で汚れているときは，洗車するかウォッシャー液を噴射してからワイパーを使用してください。
汚れたままでワイパーを動かすとガラスに傷がつくことがあります。

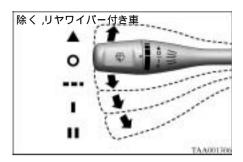
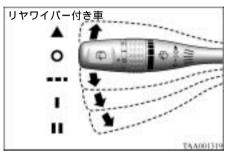
● ウォッシャー液が出ないとき，ウォッシャースイッチを操作し続けるとポンプが故障するおそれがあります。ウォッシャー液量やノズルのつまりを点検してください。
→「ウォッシャー液の点検・補給」P. 11-3

● 凍結などでワイパーブレードがガラスに張り付いたまま作動させないでください。ガラスに張り付いたまま作動させるとワイパーブレードを傷めたり，ワイパーモーターが故障するおそれがあります。
凍結のおそれがあるときや長時間ワイパーを使用しなかったときは，ワイパーブレードがガラスに張り付いていないことを確認してください。

● ワイパーを作動中，積雪等によりワイパーブレードが途中で止まったときはワイパースイッチをOFFにしてもモーターに電流が流れておりエンジンスイッチをOFFにしないとモーターが焼き付くことがあります。必ず車を安全な場所に止めてエンジンスイッチをOFFにし，ワイパーブレードが作動できるように積雪等を取り除いてください。

フロントワイパースイッチ

除く，リヤワイパー付き車

リヤワイパー付き車

▲ 1回作動（ワイパーミスト機能）

○ 停止

--- 間けつ作動（車速感応）
車速に応じてワイパーが間けつ作動します。
車速が速くなると間けつ時間が短くなります。

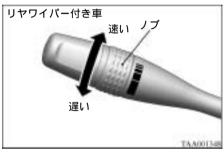
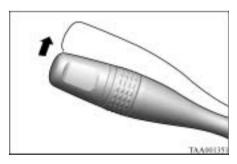
I 低速作動

II 高速作動

アドバイス

● つぎの機能を変更することができます。詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。
・車速感応の機能を働かなくする。
・オートライトコントロール付き車は，ワイパーが作動している間，ヘッドライトを自動的に点灯させる。（ライトスイッチがAUTO位置のときのみ）

◆ 間けつ時間の調整のしかた

レバーが---（間けつ作動）位置のときにノブを回すと間けつ時間を調整できます。

◆ ワイパーミスト機能

レバーを▲位置に上げて離すとワイパーが1回だけ作動します。霧雨のときなどにご使用ください。レバーを▲位置に上げている間はワイパーが連続作動します。

フロントウォッシャースイッチ

J00604900315

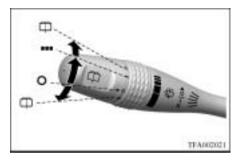
レバーを手前に引いている間ウォッシャー液が噴射します。
ワイパーが作動していないときや間けつ作動中にウォッシャー液を噴射するとワイパーが数回作動します。

アドバイス

- ワイパーを作動させずにウォッシャー液を噴射するときは，レバーを手前に引いた状態でエンジンスイッチをＯＮまたはACCにするとワイパーは連動せず，ウォッシャー液のみが噴射します。
- ウォッシャー液を噴射しても常時ワイパーを連動させないようにすることができます。詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。

リヤワイパー／ウォッシャースイッチ

タイプ別装備 J00605000498

エンジンスイッチがONまたはACCのときに使用できます。

レバー先端のツマミを回すとつぎの通り作動します。

- --- 間けつ作動
  数回作動し，その後約8秒おきに作動
- o 停止
- この位置に回している間，ウォッシャー液を噴射。同時にワイパーが数回作動。

アドバイス

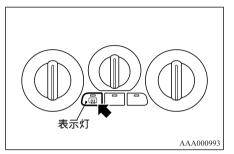
- CVT車は，レバー先端のツマミを --- の位置に回して間けつ作動にした状態でセレクターレバーをⓇに入れると，ワイパーが自動的に数回作動しその後間けつ作動に戻ります。
- ワイパーを作動させずにウォッシャー液を噴射するときは，レバー先端のツマミをの位置に回した状態でエンジンスイッチをONまたはACCにするとワイパーは連動せず，ウォッシャー液のみが噴射します。

アドバイス

- つぎの機能を変更することができます。詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。
  - ワイパーの間けつ作動時間を調整する。この調整をした場合，間けつ作動だけでなく1秒以内にレバー先端のツマミを ---（間けつ作動）の位置に2回繰り返して回すと，ワイパーを連続作動に切り換えることができます。（連続作動モード）
  - ワイパーの間けつ作動を連続作動にする。
  - ウォッシャー液を噴射しても常時ワイパーを連動させない。

リヤウインドウデフォッガー（曇り取り）スイッチ

J00605500321

リヤガラスにプリントされた電熱線でガラスを暖めて曇りを取ると同時に，ガラス表面の霜や氷を取り除きやすくします。
エンジンスイッチが ON のときにスイッチを押すと作動し，表示灯が点灯します。もう一度押すとスイッチが切れます。

ヒーテッドドアミラー付き車は，デフォッガースイッチを押すと同時にドアミラーの曇りも取ることができます。
→「ヒーテッドドアミラー」P. 7-7

アドバイス

- エンジン停止時に使用しないでください。バッテリーが上がり，エンジンがかからなくなることがあります。
- この装置は消費電力が大きいので曇りが取れたらスイッチを切ってください。
  万一，スイッチを切り忘れても約20分後に自動的に切れます。
- リヤガラス付近に物を置かないでください。車の振動で物が当たると電熱線が切れることがあります。
- リヤガラスの内側を清掃するときは，電熱線を傷つけないように柔らかい布を使い電熱線に沿ってふいてください。

ホーンスイッチ

J00605600478

ハンドルの〔ホーン〕マーク部付近を押すとホーン（警音器）が鳴ります。

6

運転装置

駐車ブレーキ 7- 2
チルトステアリング 7- 4
ルームミラー 7- 4
ドアミラー 7- 5
エンジンスイッチ 7- 8
エンジンのかけ方 7- 9
ターボ車の取り扱い 7- 11
マニュアルトランスミッション 7- 11
CVT 7- 12
CVT車の運転のしかた 7- 20
フルタイム4WD 7- 23
4WD車取り扱い上の注意 7- 24
アンチロックブレーキシステム(ABS) 7- 25
電動パワーステアリング 7- 27
アクティブスタビリティコントロール(ASC) 7- 29

7

駐車ブレーキ

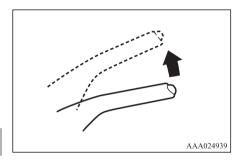
J00700100772

マニュアル車

かけるときは

ボタンを押さずに駐車ブレーキレバーをいっぱいまで引きます。

AAA024939

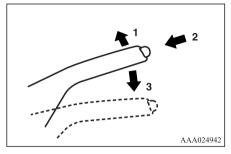
⚠注意

- 坂道に駐車するときは駐車ブレーキを確実にかけ，シフトレバーを❶または🅡に入れてください。
- 駐車ブレーキをかけるときはブレーキペダルをしっかり踏み，完全に車を止めてから駐車ブレーキレバーを引いてください。
  車が動いているうちに駐車ブレーキレバーを引くと後輪がロックして車体姿勢が不安定になるおそれがあります。
  また，駐車ブレーキの故障の原因になります。

解除するときは

1. レバーを少し引き上げ
2. ボタンを押したまま
3. 完全に戻します。

解除したときはメーター内のブレーキ警告灯が消灯していることを確認してください。

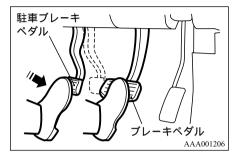
AAA024942

⚠注意

- 駐車ブレーキをかけたまま運転するとブレーキが過熱し，ブレーキの効きが悪くなるとともにブレーキが故障する原因になります。

CVT車

かけるときは

右足でブレーキペダルを踏んだまま左足で駐車ブレーキペダルをいっぱいまで踏み込みます。

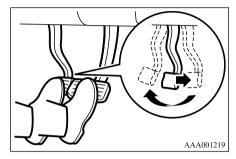
⚠注意

- 坂道に駐車するときは駐車ブレーキを確実にかけ，セレクターレバーをⓅに入れてください。
- 駐車ブレーキの効きを強くするときは，ブレーキペダルをしっかりと踏んだまま，一度駐車ブレーキを解除してから再度駐車ブレーキをかけ直してください。駐車ブレーキがかかった状態で駐車ブレーキペダルを踏み込むと駐車ブレーキは解除されます。
- 駐車ブレーキをかけるときはブレーキペダルをしっかり踏み，完全に車を止めてから駐車ブレーキペダルを踏んでください。
  車が動いているうちに駐車ブレーキペダルを踏むと後輪がロックして車体姿勢が不安定になるおそれがあります。
  また，駐車ブレーキの故障の原因になります。

解除するときは

右足でブレーキペダルを踏んだまま，左足で駐車ブレーキペダルを踏み込みます。カチッと音がしたら駐車ブレーキペダルをゆっくりと戻します。
解除したときはメーター内のブレーキ警告灯が消灯していることを確認してください。

⚠注意

- 駐車ブレーキをかけたまま運転するとブレーキが過熱し，ブレーキの効きが悪くなるとともにブレーキが故障する原因になります。

7

チルトステアリング

J00700200395

⚠注意

- 調整は必ず走行前に行ってください。走行中の調整は運転を誤り思わぬ事故につながるおそれがあります。

ハンドルを手で支えてレバーを押し下げ，ハンドルを上下に動かして調整します。
レバーをいっぱいまで引き上げると固定できます。
調整後はハンドルを上下に動かして固定されていることを確認してください。
固定が不十分だとハンドル位置が突然変わり，思わぬ事故につながるおそれがあります。

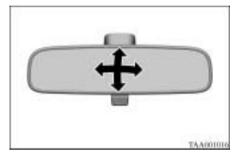
ルームミラー

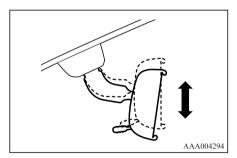
J00700300396

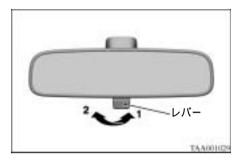
⚠注意

- 調整は必ず走行前に行ってください。走行中の調整は運転を誤り思わぬ事故につながるおそれがあります。

ミラーの角度調整

ミラーの本体を上下左右に動かして調整します。

ミラーの上下位置調整

ミラーの本体を上下方向に動かして調整します。

防眩切り換え

レバーを動かしてミラーの位置を切り換えることができます。

1- 通常はレバーを前方に押した状態で使用します。
2- 後続車のライトがまぶしいときはレバーを手前に引きます。

ドアミラー

J00700500789

ミラーの角度調整

J00718200017

⚠注意

- 調整は必ず走行前に行ってください。
- ドアミラーは凸面鏡を採用しています。
  凸面鏡は平面鏡に比べ，物が遠くに見え，実際と距離感覚が異なりますので注意してください。

◆ 除く，電動リモコンドアミラー付き車

ミラーの部分を押して角度を調整します。

◆ 電動リモコンドアミラー付き車

エンジンスイッチがONまたはACCのときに操作できます。

1. 切り換えレバーを調整したい方向に動かします。
   L：左側ミラーの調整
   R：右側ミラーの調整
2. 調整スイッチを押して角度を調整します。

アドバイス

- 調整が終わったら切り換えレバーは中央の位置に戻してください。

切り換え
レバー

調整
スイッチ

7

ドアミラーの格納・復帰

J00718300018

⚠注意

- ミラーを倒したままで運転しないでください。ミラーによる後方確認ができず思わぬ事故につながるおそれがあります。

◆ 除く，電動リモコンドアミラー付き車

手でミラーを車両後方に倒して格納します。
戻すときはカチッと音がするまで車両前方へ起こします。

◆ 電動リモコンドアミラー付き車

格納スイッチによるミラーの格納・復帰

エンジンスイッチがONまたはACCのとき，格納スイッチを押すとミラーが格納されます。もう一度押すと元の位置に戻ります。
エンジンスイッチを切った後でも，約30秒間はミラーを格納・復帰することができます。

⚠注意

- ミラーは手で倒すことも戻すこともできますが，格納スイッチの操作で倒したミラーは手で戻さず，再度格納スイッチを押してミラーを元の位置に戻してください。
  格納スイッチで倒したミラーを手で戻すとミラーの固定が不完全になり，走行中の振動および風の影響などでミラーが動き，後方の確認ができなくなります。

アドバイス

- ミラーが動いているときは手などをはさまないように注意してください。
- キーレスエントリー付き車は，キーレスエントリーのリモコンスイッチでもミラーの格納，復帰操作ができます。
  →「キーレスエントリー」P. 4-2
- 手でミラーを動かしたり，人や物に当たってミラーが動いたあとは，格納スイッチでミラーを元の位置に戻せないことがあります。
  このようなときは，一度格納スイッチを押してミラーを格納状態にしたあと，再度格納スイッチを押してミラーを元の位置に戻してください。
- 凍結などによりドアミラーが動かないときはミラー格納スイッチを何回も操作しないでください。モーターが焼き付くことがあります。

◆ ミラーの自動復帰

J00718500010

ミラーを格納した状態でエンジンスイッチをONにした後，走行スピードが約30km/hになると，安全のためミラーが自動的に復帰します。

アドバイス

- エンジン始動後に，格納スイッチを押して一度ミラーを格納したり，手動で格納した場合は，自動復帰しません。
  この場合は，格納スイッチを押してミラーを復帰してください。
  エンジンスイッチをLOCKにすれば自動復帰の状態に戻ります。
- つぎのとおり機能を変更することができます。詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。
  - エンジンスイッチONで自動復帰，エンジンスイッチOFF後，運転席ドアを開くと自動格納する
  - キーレスエントリー付き車は，キーレスエントリーのリモコンスイッチですべてのドアおよびテールゲートを施錠，解錠すると自動格納，自動復帰する
  - 自動格納・復帰の機能を働かなくする

ヒーテッドドアミラー

タイプ別装備

J00706800090

エンジンスイッチがONのときにリヤウインドウデフォッガースイッチを押すと，ドアミラー内部のヒーターが作動し，ミラーの曇りを取ります。
もう一度押すとヒーターは切れます。スイッチを切り忘れても約20分後に，自動的に切れます。
→「リヤウインドウデフォッガー（曇り取り）スイッチ」P. 6-25

親水鏡面ドアミラー

タイプ別装備

J00709100023

ドアミラーの鏡面にコーティングがしてあり，雨天時など鏡面に付着した水滴を膜状に広げる（親水効果）ことにより，後方を見やすくします。
ただし，霧雨や小雨など少量の水滴に対しては，親水効果を十分発揮しないことがあります。
通常のお手入れは水洗いをするだけで十分ですが，親水効果を長持ちさせ，またドアミラーの傷付きを防止するためにお手入れ方法をお守りください。
→「外装品のお手入れ：親水鏡面ドアミラーのお手入れ」P. 11-9

エンジンスイッチ

J00700800519

各位置の働き

LOCK （ロック）	キーが抜き差しできます。 キーを抜くとハンドルがロックされます。
ACC （アクセサリー）	エンジンを止めたままでもオーディオ，DC ソケットなどが使用できます。
ON （オン）	すべての電気系統が働きます。 エンジン回転中の位置です。
START （スタート）	エンジンがかかります。 エンジンがかかったら，キーから手を離してください。自動的に ON の位置へ戻ります。

7

アドバイス

- エンジン停止時はエンジンスイッチを LOCK にしてください。エンジンスイッチを ON または ACC のままオーディオなどの電気製品を長時間使用すると，バッテリー上がりを起こし，エンジンの始動ができなくなるおそれがあります。
- エンジンが回転しているときは，キーを START の位置に回さないでください。スターチングモーターが破損することがあります。
- キーが LOCK から ACC に回らないときはハンドルを軽く左右に動かしながらキーを回してください。

キーを抜くときは

J00706200212

LOCKまで回して抜きます。

CVT車はセレクターレバーがⓅでないとキーを抜くことはできません。
マニュアル車はACCの位置でキーを押しながらLOCKまで回して抜いてください。

エンジンのかけ方

J00700900998

⚠警告

- 車庫など周囲が囲まれた換気の悪い場所でエンジンをかけたままにしないでください。排気ガスが車内に侵入して，ガス中毒になるおそれがあります。
- 排気音が変わったり，車内でガソリンや排気ガスのにおいが消えない場合は排気系や燃料系の異常が考えられますので，必ず三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

⚠注意

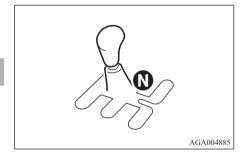
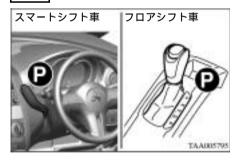
- 窓越しなど車外からエンジンをかけないでください。思わぬ事故につながるおそれがあります。
- エンジン回転中にエンジン警告灯が点灯または点滅したときは，高速走行を避けてできるだけ早く三菱自動車販売会社で点検を受けてください。
→「エンジン警告灯」P. 6-14

アドバイス

- バッテリー上がりやスターチングモーターの故障を防ぐため，STARTにして10秒以上スターチングモーターを回さないでください。10秒以上たってもエンジンがかからなかったときは，一旦キーをLOCKに戻し，2～3秒待ってから再度エンジンをかけてください。エンジンやスターチングモーターが止まらないうちに始動の操作をくり返すと関連部品の故障の原因となります。
- エンジンが冷えているときや，再始動直後はエンジン保護のため高回転させたり，高速運転は避けてください。
- エンジン始動直後にカチカチ音がすることがありますがエンジンの構造的なものです。そのまま運転を続ければ音は止まります。

7

1. 正しい運転姿勢をとります。
   ブレーキペダルが確実に踏め，ハンドル操作が楽にできるように，シート位置を調整します。
   →「フロントシート」P. 5-4
2. 駐車ブレーキがかかっていることを確認します。
3. マニュアル車はシフトレバーをⓃに入れてクラッチペダルをいっぱいまで踏み込みます。CVT車はセレクターレバーがⓅにあることを確認します。

マニュアル車

CVT車

アドバイス

- CVT 車はセレクターレバーがⓅまたはⓃ以外ではエンジンがかかりません。
  安全のため車輪が固定できるⓅでエンジンをかけてください。

アドバイス

- マニュアル車はクラッチスタートシステムが装着されています。

  クラッチスタートシステムとは…
  誤操作を防ぐため，クラッチペダルをいっぱいに踏み込まないとエンジンがかからない装置です。

4. ブレーキペダルを右足で踏み，エンジンスイッチを START に回してエンジンをかけます。

警告

- CVT 車はアクセルペダルとブレーキペダルの踏み間違いを防ぐため，各ペダルの位置を右足で確認してください。
  アクセルペダルをブレーキペダルと間違えて踏んだり，両方のペダルを同時に踏んでしまうと，車が急発進し，重大な事故につながるおそれがあります。

アドバイス

- エンジンがかからないときはつぎの手順に従ってください。
  - アクセルペダルを踏み込んだままエンジンをかけてください。
  - エンジンがかかったらアクセルペダルを徐々に戻してください。

注意

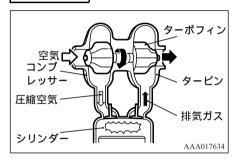
- アクセルペダルを踏まないとエンジンがかかりにくい場合でも，エンジンがかかった後はブレーキペダルを踏んでください。

ターボ車の取り扱い

J00701200103

⚠注意

- エンジンをかけた直後は，空ぶかしや急加速などでエンジンを高回転させないでください。
- 高速走行または登坂走行をした後は，低速走行やアイドリング運転でターボが冷えるのを待ってからエンジンを止めてください。

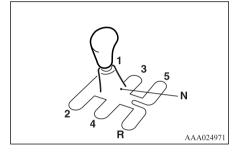
ターボとは…

正式にはターボチャージャーといい，シリンダー内へ大量の空気を過給してより大きなパワーを引きだします。ターボフィンは超高速で回転し，高温下で使われ，潤滑はエンジンオイル，冷却はエンジンオイルと冷却水で行っています。エンジンオイルは定められた時期に交換しないとターボ軸受部の固着，異音の発生などの原因となります。

マニュアルトランスミッション

J00701300061

シフトレバー

シフトレバーは必ずクラッチペダルをいっぱいに踏み込んでから操作してください。

⚠注意

- Ⓡに入れるときは車を完全に停止させてから行ってください。

アドバイス

- クラッチペダルに常に足をのせ，フットレストがわりにすることは避けてください。クラッチの早期摩耗，損傷の原因となります。
- ギヤが入りにくいときはクラッチペダルを踏み直すと楽に入ります。
- ❺→Ⓡへは直接入れることはできません。
  一度Ⓝにしてから Ⓡへ入れてください。
- クラッチペダルを踏み込んだ後すぐにⓇへ入れるとギヤ鳴り音がすることがあります。
  Ⓡへ入れるときは，クラッチペダルを踏み込んでから約 3 秒後に操作するようにしてください。

7

変速位置とスピード範囲

J00706900163

エンジンを過回転させないため，各シフト位置での速度が下の表の数値を超えないようにしてください。

アドバイス

- 法定速度を守って走行してください。
- 各シフト位置の最低速度はノッキングが発生しない速度で使用してください。

	ターボ車	除く，ターボ車
1速	50 km/h	50 km/h
2速	95 km/h	85 km/h
3速	135 km/h	130 km/h
4速	180 km/h	175 km/h

7

CVT

J00701400134

INVECS-III CVT

INVECS: Intelligent & Innovative Vehicle Electronic Control System

CVT: Continuously Variable Transmission

INVECS-III は，全運転域での最適制御と学習制御により路面や走行状況を判断して，適切な変速比を選択します。
CVT は走行状態に応じて，全運転域で常に最適な変速比を無段階に自動選択するトランスミッションです。変速ショックのないスムーズな走りと優れた燃費を実現します。

◆ 上り坂では

アクセルペダルをもどしても不必要なシフトアップを防止し，加速する場合のもたつきをなくしてスムーズな加速が得られます。

◆ 下り坂では

状況に応じて自動的にシフトダウンを行ってエンジンブレーキをかけ，運転者のブレーキを踏む回数を低減します。

⚠ 注意

- 走行開始直後でオートマチックトランスミッション (CVT) オイルの温度が低いときは，自動的にシフトダウンしない場合があります。その場合は必要に応じてブレーキを踏んだり，手動でシフトダウンしてください。
  常に道路状況に合った安全な運転を心がけてください。

◆ スポーティ走行では

急加速，急減速をくりかえすスポーティな走行を行うと，通常走行に比べてシフトアップしにくくなります。これにより大きな駆動力で走行することができます。

◆ スポーツモード

フロアシフト車

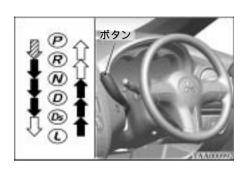
「スポーツモード」では，マニュアルトランスミッション感覚でスポーティな運転を楽しむことができます。
→「スポーツモード」P. 7-18

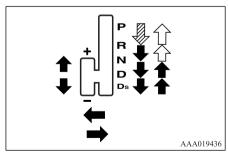
「安全なドライブのために：CVT車の取り扱い」も合わせてお読みください。
→P. 2-16

アドバイス

- 新車のときやバッテリーを外した後は，セレクターレバーをⓃからⒹあるいはⓇに入れたときに多少のショックを感じることがあります。これは電子制御システムの学習内容が消去されたためで，異常ではありません。駐車ブレーキをかけ，ブレーキペダルを踏んだまま数回セレクターレバーをⓃからⒹあるいはⓇに入れてください。スムーズに切り換わるようになります。

セレクターレバーの動かし方

J00701500281

◆ スマートシフト車

◆ フロアシフト車

ブレーキペダルを踏んだまま，ボタンを押して操作します。

ボタンを押さずに操作します。

ボタンを押したまま操作します。

⚠警告

- ⬇の操作は必ずボタンを押さずに行ってください。いつもボタンを押したまま操作すると誤ってⓅ,Ⓡ,Ⓛ(スマートシフト車）に入れてしまい，思わぬ事故の原因となり重大な傷害を受けるおそれがあります。
- セレクターレバーをⓃ→ⒹまたはⓃ→Ⓡに操作するときは，安全のため必ずブレーキペダルを右足で踏んだまま行ってください。絶対にアクセルペダルを踏み込んだまま行わないでください。車が急発進し，重大な事故につながるおそれがあります。また，トランスミッションの故障の原因になります。

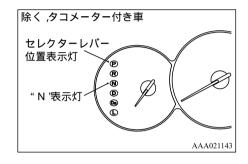
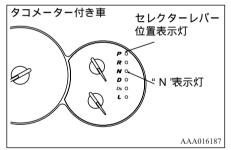
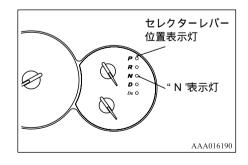
アドバイス

- レバーの操作は誤操作防止のため，各位置ごとに一旦止めて確実に行ってください。操作後は必ず表示灯でポジションを確認してください。
- ブレーキペダルを踏んでいないと，シフトロック装置が働いてⓅから他の位置に操作できません。また，キーが LOCK 位置のときはブレーキペダルを踏んでもⓅから他の位置に操作できません。
- ⇩の操作はブレーキペダルを先に踏んでから行ってください。ブレーキペダルを踏む前に操作すると，セレクターレバーが動かなくなることがあります。
- ⒹからⓇ,ⓇからⒹおよびⓅに入れるときはブレーキペダルをしっかりと踏み，完全に車を止めてから入れてください。車が動いているうちにⓅやⓇに入れるとトランスミッションが破損することがあります。

セレクターレバー位置表示灯／“N”表示灯

J00701600181

セレクターレバーの位置をランプで表示します。

◆ スマートシフト車

◆ フロアシフト車

⚠注意

- 走行中に“Ｎ”表示灯が点滅したときは装置の故障が考えられます。つぎの方法で処置してください。
  （セレクターレバー位置がⓅ，Ⓡ，Ⓝのときは“Ｎ”表示灯は点滅しません）

  〔“Ｎ”表示灯が速く点滅（1秒間に約2回）しているとき〕
  オートマチックトランスミッション(CVT) オイルの温度が高くなっています。
  車を安全な場所に止め，セレクターレバーをⓅに入れてエンジンをかけたままエンジンフードを開けて冷やします。しばらくしたらセレクターレバーをⒹに入れて“Ｎ”表示灯が消灯するか確認します。消灯したらもとのように走行できます。
  消灯しないときや，たびたび点滅するときは三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

  〔“Ｎ”表示灯がゆっくり点滅（1秒間に約1回）しているとき〕
  CVT に何らかの異常が発生し，安全装置が働いていると考えられます。できるだけ早く三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

7

セレクターレバーの位置・働き

J00701700209

	（パーキング） 駐車およびエンジンをかけるとき	車輪が固定されます。駐車のときは必ず駐車ブレーキをかけてⓅに入れてください。 Ⓟでのみエンジンスイッチからキーが抜けます。
	（リバース） 後退させるとき	Ⓡに入れるとブザーが鳴り，Ⓡにあることを運転者に知らせます。

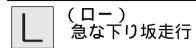
⚠注意

- ブザーは車外の人には聞こえませんのでご注意ください。

	（ニュートラル） 中立	動力が伝達されません。 この位置でもエンジンをかけることができますが安全のためⓅで行ってください。
	（ドライブ） 通常走行	発進から高速走行まで無段階に自動変速されます。 道路状況に合わせて自動的にエンジンブレーキもかけます。
	（ダウンシフト＆ドライブスポーティ） 坂道走行	軽いエンジンブレーキが必要なとき，力強いスポーティ走行を行うときに使います。

アドバイス

- 高速道路の長い下り坂，山道や登降坂路などの走行に有効です。

スマートシフト車

強力なエンジンブレーキが必要なときに使います。

⚠警告

- ぬれた道路や凍結した道路では急激なエンジンブレーキは避けてください。スリップして重大な事故につながるおそれがあります。

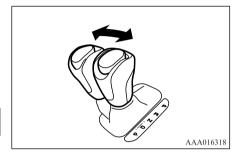
7

スポーツモード

J00701800095

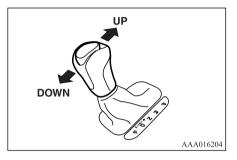
フロアシフト車

停車中や走行中にⒹからセレクターレバーを助手席側に動かすことで，スポーツモードが選択されます。通常のⒹ走行に戻りたいときは，セレクターレバーを運転席側に戻します。

AAA016318

アドバイス

- スポーティなドライブをお楽しみいただくため，走行中にスポーツモードを選択すると,走行状態より1段低速の変速段に切り換わります。

スポーツモードでは，セレクターレバーを前後に動かすだけで，素早くシフトチェンジすることができます。
マニュアルトランスミッションと違って，アクセルペダルを踏み込んだままシフトチェンジをすることができます。
カーブの手前の軽快なシフトダウンによる減速とすばやいコーナーの立ち上がりなど，スポーティなドライブを楽しむことができます。

AAA016204

＋(UP)：　1操作で1段ずつシフトアップ
－(DOWN)：　1操作で1段ずつシフトダウン

アドバイス

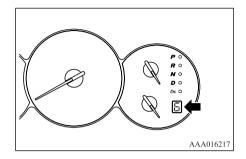
- 1速から6速の前進しか選択できません。後退，駐車するときはセレクターレバーをⓇ,Ⓟに入れてください。
- スポーツモードで走行中に車速が下がると自動的にシフトダウンし,停車前に1速に入ります。
- セレクターレバーを連続して操作すると変速段が連続して切り換わります。
  例：4速走行中に－(DOWN)側へ2回操作
  　4速→3速→2速
- 走行性能を確保するため，車速によっては＋(UP)側へ操作してもシフトアップしない場合があります。また，エンジンの過回転を防止するため，車速によっては－(DOWN)側へ操作してもシフトダウンしない場合があります。

⚠注意

- スポーツモードで走行中は，道路状況に合わせて，エンジン回転がレッドゾーンに入らないよう適切にシフトチェンジしてください。
- 急激なエンジンブレーキや急加速はスリップの原因となります。道路状況，スピードに合ったシフトダウンを心がけてください。

◆ スポーツモード表示灯

J00711000090

スポーツモードで走行中は変速段をメーター内に表示します。

アドバイス

- スポーツモードを選択しているときは“D”表示灯は消灯しています。
- スポーツモード走行中，前輪が空転したときにメーター内のスポーツモード表示灯が点滅することがあります。
  これはCVT保護機能が正常に作動し自動的にシフトアップしている状態を示すもので故障ではありません。
  点滅表示が終了したら再度セレクターレバーを操作して車速や道路状況にあった変速段にシフトチェンジしてください。

7

CVT車の運転のしかた

J00702900673

発 進

1. ブレーキペダルを右足で踏みます。

⚠警告

● ブレーキペダルは必ず右足で踏んでください。
左足でのブレーキ操作は，緊急時の反応が遅れるなど適切な操作ができず，重大な事故につながるおそれがあります。

AAZ002224

⚠注意

● セレクターレバーをⓅ，Ⓝ以外の位置（前進または後退の位置）に入れるとクリープ現象により，ブレーキペダルから足を離すとアクセルペダルを踏まなくても車が動き出します。
特にエアコン作動中などエンジン回転数が高くなるとクリープ現象が強くなりますので，よりしっかりとブレーキペダルを踏んでください。
→「クリープ現象」P. 2-16

2. セレクターレバーを前進はⒹ，後退はⓇに入れます。

⚠警告

● セレクターレバーの操作は必ずブレーキペダルを右足で踏んだまま行ってください。絶対にアクセルペダルを踏み込んだまま行わないでください。車が急発進し，重大な事故につながるおそれがあります。また，トランスミッションの故障の原因になります。

3. セレクターレバーの位置を確認します。

AAA016161

AAA016174

4. 周囲の安全を確認し，駐車ブレーキを解除します。
5. ブレーキペダルを徐々にゆるめ，アクセルペダルをゆっくりと踏み込んで発進します。

◆ 急な上り坂での発進

1. 車が動き出さないよう駐車ブレーキをかけたまま，ブレーキペダルから足を離します。
2. アクセルペダルをゆっくり踏みながら，車が動き出す感触を確認してから，駐車ブレーキを解除して発進します。

⚠警告

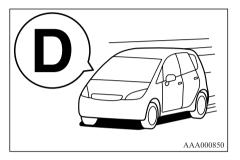
● 走行中はセレクターレバーをⓃに入れないでください。誤ってⓅ，Ⓡに入れてしまったり，エンジンブレーキが効かなくなり，思わぬ事故につながるおそれがあります。また，トランスミッションの故障の原因になります。

⚠注意

● セレクターレバーは走行状況に合った正しい位置で使用してください。
坂道などで，前進の位置（Ⓓ，Ds，Ⓛまたはスポーツモード）にしたまま惰性で後退したり，後退の位置Ⓡにしたまま惰性で前進しないでください。
エンストしてブレーキの効きが非常に悪くなったり，ハンドルが非常に重くなり，思わぬ事故につながるおそれがあります。
● スマートシフト車は，高速走行中にセレクターレバーをⓁに入れないでください。急激なエンジンブレーキがかかり，思わぬ事故につながるおそれがあります。

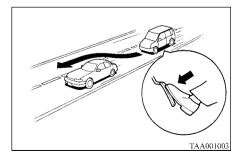
◆ 通常走行

セレクターレバーを🅓で走行します。
発進するとスピードに応じて自動的に変速されます。
屈曲路，下り坂でも，全運転域での最適制御と学習制御により走行状況を判断し，適切なエンジンブレーキを自動的にかけます。

AAA000850

フロアシフト車はセレクターレバーを助手席側に動かすとスポーツモードが選択され，マニュアルトランスミッションのような走行が楽しめます。
→「スポーツモード」P. 7-18

◆ 急加速したいとき

アクセルペダルを深く踏み込みます。
自動的に変速比が切り換わって急加速ができます。これをキックダウンといいます。

TAA001003

停 車

1. セレクターレバーは🅓のままブレーキペダルをしっかりと踏みます。

⚠注意

- エアコン作動時などは，自動的にエンジン回転数が高くなり，クリープ現象が強くなります。ブレーキペダルをしっかり踏んでください。

2. 必要に応じて駐車ブレーキをかけます。

⚠注意

- 急な上り坂ではクリープ現象が働いても，車が後退することがあります。停止時はブレーキペダルを踏み，しっかりと駐車ブレーキをかけてください。
- 上り坂でブレーキペダルを踏まずに，アクセルペダルを踏みながら停止状態を保つことはしないでください。トランスミッションの故障の原因になります。

3. 渋滞などで停車時間が長くなりそうなときはセレクターレバーを🅝に入れます。

⚠注意

- 停車中はむやみに空ぶかしをしないでください。万一，セレクターレバーが🅟，🅝以外に入っていると思わぬ急発進の原因になります。

4. 再発進するときは，セレクターレバーが🅓位置にあることを確認してから発進してください。

駐車

1. 車を完全に止めます。
2. ブレーキペダルを踏んだまま駐車ブレーキを確実にかけます。
3. セレクターレバーをⓅに入れます。

⚠注意

- Ⓟでは車輪が固定されるため，車が動き出す心配がなく安全です。駐車時には必ずセレクターレバーがⓅに入っていることを確認してください。
- 車が完全に止まらないうちにⓅに入れると，急停止してけがをするおそれがあります。また，トランスミッションの故障の原因になります。

アドバイス

- 坂道では，まず駐車ブレーキをかけてからつぎにセレクターレバーをⓅに入れてください。駐車ブレーキをかけずにⓅに入れると発進時にセレクターレバーの操作力が重くなる場合があります。

4. エンジンを止めます。

⚠注意

- 車から離れるときは必ずエンジンを止め，キーを抜いてください。
  エンジンをかけたままにしておくと，万一，セレクターレバーがⓅ以外に入っていた場合，クリープ現象で車がひとりでに動き出したり，乗り込むときに誤ってアクセルペダルを踏み，急発進するおそれがあります。

フルタイム4WD

J00706700015

フルタイム4WD車といってもどこでも走れるわけではありません。無理な運転はしないでください。
2WD車と同様，ハンドル・ブレーキ操作を慎重に行い安全運転を心がけてください。

⚠注意

- オンロード専用車です。無理な運転はしないでください。
  - 砂地やぬかるみ等タイヤが空転しやすいところでの走行は避けてください。タイヤの空転を続けると駆動系部品に無理がかかり，重大な故障の原因となるおそれがあります。
  - 渡河などの水中走行はしないでください。
  - ブレーキ性能は 2WD 車とあまり差はありません。極端な急ハンドル，急ブレーキは避けて十分な車間距離をとって走行してください。

4WD車取り扱い上の注意

J00706600636

タイヤ，ホイールについて

4WD 車は 4 輪に駆動力がかかるため，タイヤの状態が車の性能に大きく影響します。タイヤには細心の注意をしてください。

- 4 輪とも指定のタイヤ，ホイールを装着してください。
  →「タイヤ，ホイールのサイズ」P. 14-7
- タイヤ，ホイールを交換するときは 4 輪とも交換してください。
- タイヤのローテーションは5,000kmごとに行ってください。
  →「タイヤローテーション」P. 11-3
- タイヤの空気圧は定期的に点検してください。
  →「タイヤの空気圧」P. 14-8

⚠注意

- 同一指定サイズ，同一種類，同一銘柄および摩耗差のないタイヤを使用してください。サイズ，種類，銘柄や摩耗度合いの異なるタイヤを使用すると，駆動系部品に無理がかかり，オイル漏れや焼き付きなどの重大な故障となり思わぬ事故につながるおそれがあります。

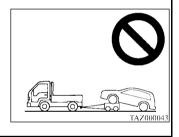
けん引について

けん引はできるだけ専門業者に依頼してください。
4WD 車は，必ず 4 輪を持ち上げてレッカー車で搬送するか，4輪接地の状態でけん引してください。
ただし，つぎの場合は三菱自動車販売会社にご連絡ください。

- エンジンが回っているのに車が動かない。または異音がする。
- 下まわりを点検し，オイルなどが漏れている。

⚠注意

- 前輪または後輪だけを持ち上げたけん引を行うと，駆動系部品が損傷したり，車がレッカー（台車）から飛び出すおそれがあります。
  →「けん引」P. 13-33

アドバイス

- レッカー車による搬送は，別冊の「メンテナンスノート」を見て三菱自動車販売会社へ依頼してください。

ジャッキアップするときは

⚠警告

- ジャッキアップ中はエンジンをかけたり，ジャッキアップした車輪を回転させないでください。
  接地しているタイヤが回ってジャッキから車体が外れ，重大な事故につながるおそれがあります。

アンチロックブレーキシステム(ABS)

J00703000626

アンチロックブレーキシステム (ABS) とは，急ブレーキや滑りやすい道路でブレーキを踏んだときに車輪のロックを防止し，制動力を維持し，かつ安定した車体姿勢とハンドル操舵性を保つ装置です。

⚠注意

- ABS は制動時の車体安定性を確保するためのもので必ずしも制動距離が短くなるとはかぎりません。ABS を過信せず，十分な車間距離をとって安全運転を心がけてください。
- 雪道を走行した後は足回りに付いた雪や泥を取り除いてください。足回りを清掃するときはホイール付近に付いている車速感知装置や配線などを傷付けないよう十分注意してください。
- 4輪とも同一サイズ，同一種類の指定タイヤを装着してください。
  サイズや，種類の異なるタイヤを混用すると，ABS が正常に作動しなくなるおそれがあります。（車載の応急用スペアタイヤは使用できます。）
- 市販のリミテッドスリップディファレンシャル (LSD) を装着しないでください。ABS が正常に作動しなくなるおそれがあります。

7

アドバイス

- つぎのような場合は，ABS の付いていない車に比べて制動距離が長くなることがありますので，速度はひかえめにし，車間距離を十分とって運転してください。
  - 砂利道や深い新雪路を走行するとき
  - タイヤチェーンを装着しているとき
  - 道路の継ぎ目や段差を乗り越えるとき
  - 凸凹道などの悪路を走行するとき
- マンホール，工事用の鉄板，白線の上，段差を乗り越えるときなど，車輪が滑りやすい状況では，車輪のロックを防止するため急制動以外でもABSが作動することがあります。
- ABSが作動すると車体，ハンドル，ブレーキペダルに振動を感じたり，作動音が聞こえます。
  また，ブレーキペダルを踏み込んだときに固く感じることがあります。
  これは装置が正常に作動していることを示すもので異常ではありません。そのままブレーキペダルを強く踏み続けてください。
- 走行開始後，エンジンルーム内よりモーター音がしたり，ブレーキペダルにショックを感じることがありますが，これはABS装置の作動をチェックしているためで異常ではありません。
- ABSは，発進後車速が約10km/hになるまで作動しません。また，車速が約 5km/hまで下がると作動を停止します。

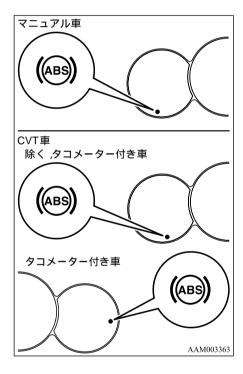
ABS警告灯

J00704500732

正常なときは，エンジンスイッチをONにすると点灯し，数秒後に消灯します。

⚠注意

- 点灯したままのときまたは点灯しないときは装置の故障が考えられますので三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

7

走行中に警告灯が点灯したときは

J00704600430

◆ ABS 警告灯のみ点灯したときは

● 急ブレーキや高速走行を避け安全な場所に車を止めます。
エンジンを停止し，再度エンジンをかけ，その後しばらく走行して点灯しなければ異常ありません。
しばらく走行しても点灯したままのときは三菱自動車販売会社で点検を受けてください。この場合，ABSは作動せず，普通のブレーキとして作動します。
● バッテリーが電圧不足のときにエンジンをかけると，警告灯が点灯することがありますが ABS の故障ではありません。
このようなときは，しばらくアイドリング回転でバッテリーを充電してください。
充電しても点灯したままのときや，たびたび点灯するときは三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

◆ ABS 警告灯とブレーキ警告灯が同時に点灯したときは

ブレーキ力の配分機能が作動しないことがあるため，急ブレーキをかけたときに車体姿勢が不安定になるおそれがあります。
急ブレーキや高速走行を避け，車を安全な場所に止めて三菱自動車販売会社へ連絡してください。

電動パワーステアリング

J00703100063

エンジン回転中に作動し，ハンドルの操作力を軽くする装置です。

⚠注意

● 走行中はエンジンを止めないでください。エンジンを止めると，ハンドルが非常に重くなり，思わぬ事故につながるおそれがあります。

アドバイス

● 駐車するときなどに，ハンドルをいっぱいに切る操作を繰り返すと，システムの加熱を防止するため保護機能が働きハンドル操作が徐々に重くなります。この場合，しばらくハンドル操作を控えてください。
システムの温度が下がるとハンドルの操作力は元に戻ります。
● ヘッドライトを点灯したままで停車しているとき，ハンドル操作をするとヘッドライトが暗くなることがありますが異常ではありません。しばらくすれば元の明るさに戻ります。

7

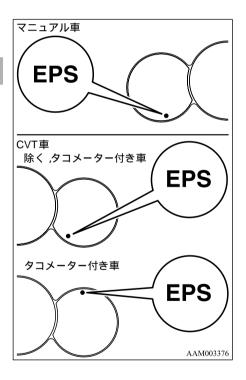
電動パワーステアリング警告灯

J00704700213

電動パワーステアリングの制御装置に異常があると点灯します。
正常なときはエンジンスイッチを ON にすると点灯し，エンジンをかけると数秒後に消灯します。

⚠注意

- 走行中に点灯したときは，ハンドルが重くなることがあります。

走行中に警告灯が点灯したときは

J00704800083

1. 車を安全な場所に停車し，エンジンを止めます。
2. 再度エンジンスイッチを ON にすると点灯し，エンジンをかけて数秒後に消灯すれば異常ありません。
   エンジンをかけた後も消灯しないときや，走行中再び点灯するときは三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

アクティブスタビリティコントロール（ASC）

タイプ別装備　J00710300096

アクティブスタビリティコントロール（ASC）はトラクションコントロール機能とスタビリティコントロール機能を持ち，アンチロックブレーキシステムと統合的に制御を行うことで，車両姿勢を安定させると共に駆動力を確保する装置です。つぎの項も合わせてお読みください。

→「アンチロックブレーキシステム（ABS）」P. 7-25
→「トラクションコントロール機能」P. 7-30
→「スタビリティコントロール機能」P. 7-30

⚠注意

- ASC が作動した状態でも車両の安定確保には限界があり，無理な運転は思わぬ事故につながるおそれがあります。ASC を過信せず，常に道路状況に合った安全運転を心がけてください。
- 4輪とも同一サイズ，同一種類の指定タイヤを装着してください。
  サイズや種類の異なるタイヤを混用すると，ASC が正常に作動しなくなるおそれがあります。
- 市販のリミテッドスリップディファレンシャル（LSD）を装着しないでください。ASC が正常に作動しなくなるおそれがあります。

アドバイス

- つぎのような場合は，エンジンルーム内より作動音がすることがありますが，これはASC装置の作動をチェックしているためで異常ではありません。
  - エンジンスイッチをONにしたとき
  - エンジンをかけてしばらく走行したとき
- ASC が作動すると，車体に振動を感じたり，エンジンルーム内より作動音が聞こえたりします。
  これは装置が正常に作動していることを示すもので異常ではありません。
- ABS 警告灯が点灯しているときは，ASC は作動しません。

7

トラクションコントロール機能

J00710400055

トラクションコントロール機能は，滑りやすい路面での駆動輪の空転を防止して発進しやすくすると共に，旋回加速時の適切な駆動力・操舵能力を向上させる機能です。

⚠注意

- 雪道や凍結路を走行するときは，冬用タイヤを装着して速度は控えめにし，車間距離を十分とって運転してください。

スタビリティコントロール機能

J00710500056

スタビリティコントロール機能は，急激なハンドル操作や滑りやすい路面のカーブに進入したときなどに生じる車両の横滑りを，各車輪のブレーキとエンジン出力を制御することにより抑制し，車両の安定性を向上させる機能です。

アドバイス

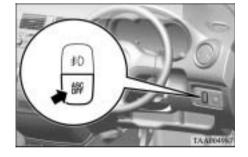
- スタビリティコントロール機能は，車速が約10km/h以上で作動します。

ASCのON/OFF作動切り換え

J00710800059

アドバイス

- ぬかるみ，砂地または新雪などからの脱出時に，アクセルペダルを踏み込んでもASCの働きによりエンジン回転が上がらないことがあります。このようなときは，ASC OFFスイッチでASCをOFFにすると抜け出しやすくなります。

エンジンスイッチをONにすると自動的にASCはONになります。ASCをOFFにしたいときはASC OFFスイッチを3秒以上押し続けます。
スイッチを押し続けると3秒後に，メーター内のASC OFF表示が点灯します。もう一度押すとONになります。

⚠注意

- 安全のため，ASC OFFスイッチの操作は停車しているときに行ってください。
- 通常走行時は必ずASCをONにしてください。

7

アドバイス

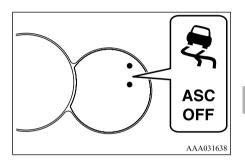
- ASC OFF スイッチではスタビリティコントロール機能とトラクションコントロール機能の両方がOFFになります。
- ASC を OFF にしたあとも ASC OFF スイッチを押し続けると，誤操作防止機能が働いてASCはONに戻ります。
  誤操作防止機能が働いたあとは，ASC をOFFにできなくなります。
  再度 OFF にしたいときは，エンジンスイッチをACCまたはLOCKに戻してエンジンをかけ直し，ASC OFFスイッチを押してください。

表示灯

J00710600099

正常なときはエンジンスイッチを ON にすると点灯し，数秒後に消灯します。

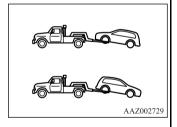
⚠注意

- 点灯したままのときまたは点灯しないときは装置の故障が考えられますので三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

- ASC作動表示灯
  ASCが作動すると点滅します。

ASC OFF - ASC OFF表示灯
ASC OFFスイッチでASCをOFFにしているとき点灯します。

⚠注意

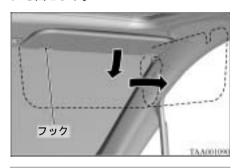
- 表示灯が点滅したときは路面が滑りやすい状態か，加速しすぎています。アクセルペダルをゆるめて控えめな運転をしてください。
- 表示灯と表示灯が同時に点灯したときは装置の故障が考えられます。安全な場所に車を止め，エンジンを停止します。再度エンジンをかけ，表示灯と表示灯が消灯すれば異常ありません。消灯しないときや，たびたび点灯するときは，通常走行には支障はありませんが，できるだけ早く三菱自動車販売会社で点検を受けてください。
- エンジンスイッチを ON にして前輪または後輪だけを持ち上げたけん引を行うと，ASC が作動し思わぬ事故につながるおそれがあります。前輪を持ち上げてけん引するときはエンジンスイッチをLOCK またはACC に，後輪を持ち上げてけん引するときはエンジンスイッチをACCにしてください。
→「けん引」P. 13-33

AAZ002729

アドバイス

- スペアタイヤ装着時は，タイヤのグリップ力が低下するため表示が点滅しやすくなります。

サンバイザー

J00900100530

前面だけでなく，フックから外せば側面にも回せます。

カードホルダー

バニティーミラーのリッドの表側に通行券などをはさむことができます。

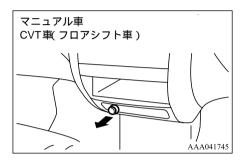
バニティーミラー

J00900200326

運転席サンバイザーの裏側にあります。

DCソケット

J00900500404

エンジンスイッチがONまたはACCのときに使用できます。
ノブを引き抜き，プラグタイプの電気製品の電源としてご使用ください。
必ず,12Vで電気容量が120W以下の電気製品を使用してください。

アドバイス

- エンジンがかかっていないときに長い間使用するとバッテリーが上がることがあります。
- 市販の電気製品を使用しないでください。バッテリー上がりやDCソケットが損傷する原因となります。
- ノブをソケットから外したまま放置しないでください。
  ソケットにゴミや金属片などの異物が入ると火災やショートの原因となるおそれがあります。

時計

J00900700187

エンジンスイッチがONまたはACCのときに時刻を表示します。

時刻の合わせ方

◆ 時間，分合わせ

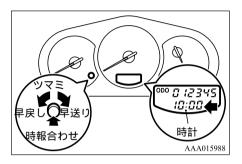
ツマミを左右に回して時間を調整します。

- ツマミ右回し—1分刻みで早送り
  （約3秒以上回すと10分刻みで早送り）
- ツマミ左回し—1分刻みで早戻し
  （約3秒以上回すと10分刻みで早戻し）

8

◆ 時報合わせ

ツマミを押すと同時につぎのように修正されます。

- 0~29分は切り下げ
- 30~59分は切り上げ

アドバイス

- エンジンスイッチを切った後でも次のいずれか操作をした場合，約30秒間時刻を表示します。
  - 運転席のドアを開けたとき
  - オドメーター・トリップメーターのリセットボタンを押したとき
    →「オドメーター（積算距離計）／トリップメーター（区間距離計）」P. 6-4
  - 時刻合わせのツマミを押したとき
    （回したときは表示されません。）
- バッテリー端子を外し，再接続したときは時刻を合わせてください

室内灯

J00900800016

アドバイス

- エンジンがかかっていないときに長い間ランプを点灯させておくとバッテリーが上がることがあります。
  車から離れるときは必ずランプが消えていることを確認してください。

マップ＆ルームランプ

J00900901001

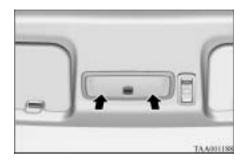
◆ ルームランプ

1. ドアまたはテールゲートの開閉に関係なく消灯します。
2. (DOOR)
   いずれかのドアまたはテールゲートを開けると点灯，閉じると減光しながら約15秒後に消灯します。ただし，つぎのようなときはすぐに消灯します。
   - ドアおよびテールゲートを閉じてエンジンスイッチをONにしたとき
   - ドアおよびテールゲートを閉じてセンタードアロックの機能を使って施錠したとき
   - キーレスエントリー付き車は，キーレスエントリーのリモコンスイッチを使って施錠したとき

アドバイス

- ドアおよびテールゲートが閉まっているときに，キーを抜くと点灯し，徐々に減光しながら約15秒後に消灯します。
- 消灯までの時間を調整することができます。
  詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。

◆ マップランプ

ルームランプのスイッチの位置に関係なくレンズを押すと押した側のランプが点灯し，もう一度押すと消灯します。

小物入れ

J00906700222

⚠注意

- 車内にライター・炭酸飲料缶・メガネなどを放置しないでください。
  強い直射日光にさらされると車内が高温になるため，ライターなどの可燃物は自然発火したり，炭酸飲料やビールなどの缶は破裂するおそれがあります。また，プラスチックレンズまたはプラスチック素材のメガネは変形，ひび割れをおこすおそれがあります。
- 走行中は小物入れのフタを必ず閉めておいてください。万一の場合，フタや内部の小物でけがをするおそれがあります。

アドバイス

- 車を離れるときは小物入れに貴重品を入れたままにしないでください。

グローブボックス

J00907200396

レバーを引くと開きます。

TAA006913

センターパネルボックス

タイプ別装備

J00907600055

1. フタを押します。
2. フタを引き上げます。

TAA001535

8

カップホルダー

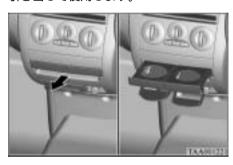
J00903800440

⚠注意

- 走行中の振動や揺れなどで飲み物がこぼれることがあります。熱い飲み物の場合，やけどをするおそれがありますので注意してください。

フロントシート用

◆ スマートシフト車

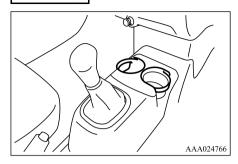
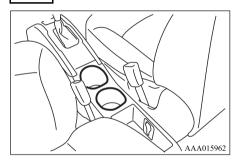
引き出して使用します。

アドバイス

- ホルダーを使用しないときは押して格納しておいてください。

◆ フロアシフト車

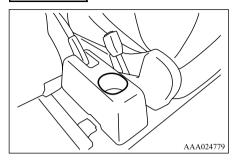
マニュアル車

CVT車

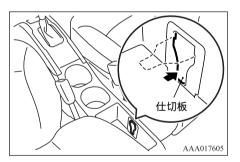
8

リヤシート用（フロアシフト車）

J00908700109

マニュアル車

AAA024779

CVT車

仕切板を押すと，カップホルダーとして使用できます。

AAA017605

アドバイス

- 仕切板を元の位置に戻すと小物入れとして使用できます。

ボトルホルダー

J00905900012

⚠注意

- 走行中の振動や揺れなどで飲み物がこぼれることがあります。熱い飲み物の場合，やけどをするおそれがありますので注意してください。

フロントシート用

ペットボトルなどを入れることができます。

コンビニフック

J00905000143

助手席 タイプ別装備

軽い荷物をかけることができます。

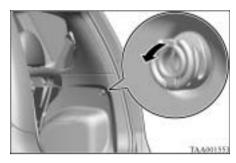
アドバイス

- フックには約 4kg 以上の荷物をかけないでください。
  フックが破損することがあります。
- 使用しないときはフックを格納しておいてください。

AAA042221

ラゲッジフック

J00905100203

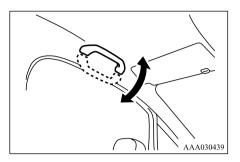
荷室の側面(2箇所)にフックがあります。荷物の固定用としてご使用ください。

アドバイス

- フックには約 3kg 以上の荷物をかけないでください。フックが破損したり，車両を傷つけるおそれがあります。

8

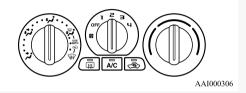
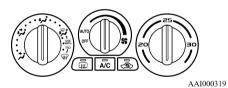
アシストグリップ

J00912900115

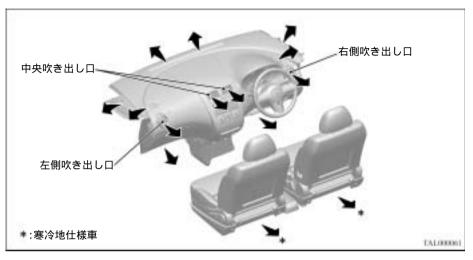
座ったときに手で身体を支えるためのグリップがあります。

⚠注意

- アシストグリップに手をかけて乗り降りしないでください。
  アシストグリップが外れて思わぬ事故につながるおそれがあります。

エアコン

マニュアルエアコンP. 9-4

オートエアコンP. 9-16

吹き出し口 9- 2
エアコンの上手な使い方. 9- 26
クリーンエアフィルター. 9- 27

吹き出し口

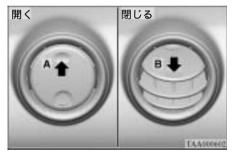
J01000100059

風向き調整

J01000300439

◆ 中央吹き出し口

ノブを動かして調整します。

◆ 左右吹き出し口

1. くぼみ（A 部）を押すと吹き出し口が開きます。
   閉じるときは，反対側のくぼみ（B 部）を押します。
2. 吹き出し口を回して調整します。

アドバイス

- 冷房時まれに吹き出し口から霧が吹き出したように見えることがありますが，これは湿った空気が急に冷やされたときに発生するもので異常ではありません。
- 冷房，除湿効果が悪いときは三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

吹き出し口の切り換え

J01000400498

吹き出し口切り換えダイヤルを操作し，使用目的に合わせて吹き出し口を切り換えます。

→「吹き出し口切り換えダイヤル」
P. 9-5，9-17

→:風量弱

➜:風量中

➡:風量強

＊:寒冷地仕様車

上半身に送風したいとき

TAA000615

上半身と足元に送風したいとき

TAA000628

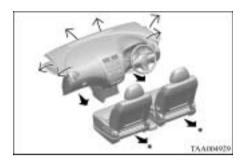
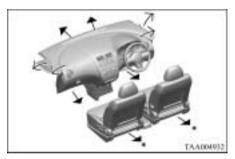
アドバイス

● 吹き出し口切り換えダイヤルを と の間にすると上半身へ多く， と の間にすると足元へ多く送風されます。

足元に送風したいとき

TAA004929

足元とウインドウガラスに送風したいとき

TAA004932

アドバイス

● 吹き出し口切り換えダイヤルを と の間にすると足元へ多く， と の間にするとウインドウガラスへ多く送風されます。

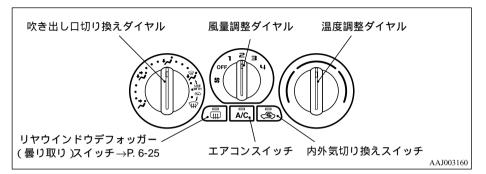
ウインドウガラスに送風したいとき

TAA004945

マニュアルエアコン

タイプ別装備

J01000500398

エンジンスイッチがONのときに使用できます。

● スイッチの使い方 P. 9-5

● 目的に合った使い方

- 暖房したいときはP. 9-7
- 冷房したいときはP. 9-8
- 頭寒足熱にしたいときはP. 9-10
- ウインドウガラスの曇り，霜を取りたいときはP. 9-11
- 曇り止めと暖房を同時にしたいときは P. 9-13
- 換気したいときはP. 9-14
- 排気ガス，ほこりなどを車室内に入れたくないときはP. 9-15

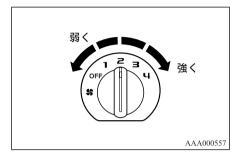
スイッチの使い方

J01000600012

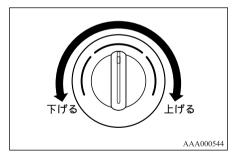
◆ 風量調整ダイヤル

J01000700143

風量を強くするときは右へ，弱くするときは左へ回します。

AAA000557

◆ 温度調整ダイヤル

J01000900187

送風温度を調整します。
温度を上げるときは右へ，下げるときは左へ回します。

AAA000544

アドバイス

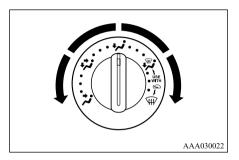
- エンジン冷却水温が低いときに温度調整ダイヤルを動かしても送風温度は変わりません。

◆ 吹き出し口切り換えダイヤル

J01001100173

使用目的に合わせて吹き出し口を切り換えます。
→「吹き出し口の切り換え」P. 9-3

AAA030022

⚠ 注意

- と の間で使用するときは，窓の曇りを防止するため内外気切り換えスイッチを押して外気導入にしてください。
→「内外気切り換えスイッチ」P. 9-6

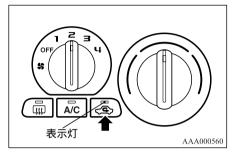
アドバイス

- 各シンボルの間にそれぞれ 3 箇所のダイヤル停止位置があり風量をお好みに調整できます。
  例：から に近づけるほどウインドウガラスへの風量が多くなり，足元への風量が少なくなります。

AAZ003250

◆ 内外気切り換えスイッチ

J01001300016

スイッチを押すと外気導入（外気を車内に入れる）と内気循環（外気をしゃ断する）の切り換えができます。内気循環に切り換わるとスイッチ内の表示灯が点灯します。

⚠注意

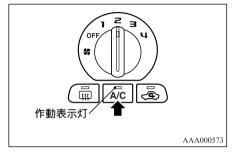
- 窓の曇りを防止するため通常は外気導入で使用してください。
- 早く冷房したいときは内気循環にします。ただし，長時間内気循環にしておくとウインドウガラスが曇りやすくなるため，ときどき外気導入に切り換えて換気してください。

アドバイス

- 外気導入で使用中，エアコンが作動するとしばらくの間，内気循環か外気導入かの自動判定を行います。外気温が高い場合には，エアコンの効きをよくするために，自動的に内気循環に切り換わりスイッチ内の表示灯が点灯します。外気導入に戻すときは，内外気切り換えスイッチを押してください。

◆ エアコンスイッチ

J01001500177

スイッチを押すとエアコン（冷房・除湿機能）が作動し，スイッチ内の作動表示灯が点灯します。もう一度押すとエアコンは停止します。

⚠注意

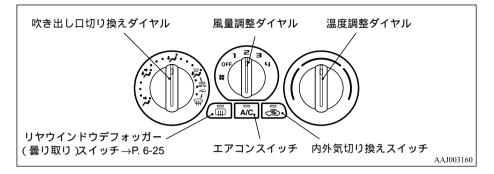
- CVT 車は，エアコン作動中はエンジン回転数が高くなりクリープ現象が強くなりますので，停車中はしっかりとブレーキペダルを踏んでください。
→「クリープ現象」P. 2-16

アドバイス

- エアコン作動表示灯が点滅したときは，エアコン装置に何らかの異常が考えられます。一度エアコンスイッチを押してエアコンを切り，再度スイッチを押してエアコンを ON にしてください。しばらくたってもエアコン作動表示灯が点滅しなければ異常ありません。
再び点滅する場合は三菱自動車販売会社で点検を受けてください。
- 高圧洗車機などを使用して，大量の水がコンデンサに付着した場合は，洗車後エアコン作動表示灯が一時的に点滅することがありますが，異常ではありません。しばらくたってから，一度エアコンスイッチを押してエアコンを切り，再度スイッチを押してエアコンを ON にしてください。水分が蒸発していれば点滅は止まります。

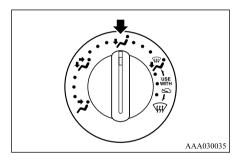
目的に合った使い方

J01001700140

AAJ003160

◆ 暖房したいときは

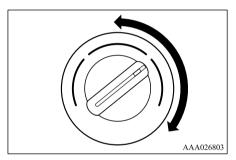
J01001800226

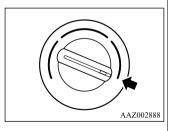
1. 吹き出し口切り換えダイヤルを にします。

AAA030035

アドバイス

● 吹き出し口切り換えダイヤルが のとき，ウインドウガラスにも少し送風されますが，これはウインドウガラスの曇りを防止するためのものです。

2. 温度調整ダイヤルで温度をお好みに設定します。

AAA026803

アドバイス

● 急速暖房したいときは，温度を最高に設定します。

AAZ002888

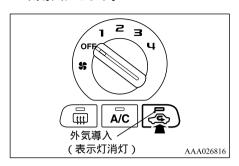
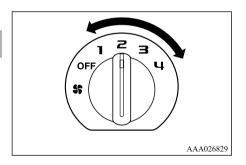
3. 内外気切り換えスイッチを押して外気導入にします。

AAA026816

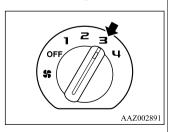
⚠注意

- 窓の曇りを防止するため外気導入（表示灯消灯）で使用してください。

4. 風量調整ダイヤルで風量をお好みに設定します。

AAA026829

アドバイス

- 急速暖房したいときは，風量調整ダイヤルを “3” の位置にします。

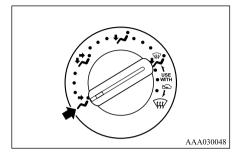
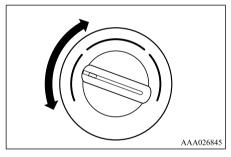
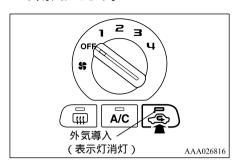
AAZ002891

◆ 冷房したいときは

J01001900201

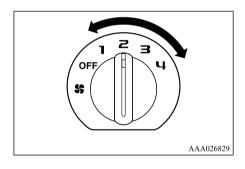
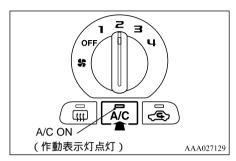
1. 吹き出し口切り換えダイヤルを 〔吹き出し口マーク〕 にします。

AAA030048

2. 温度調整ダイヤルで温度をお好みに設定します。

AAA026845

3. 内外気切り換えスイッチを押して外気導入にします。

⚠ 注意

● 内気循環にすると早く冷房されますが，換気のためときどき外気導入に切り換えてください。

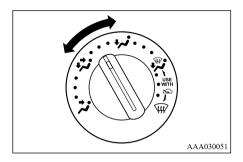
4. 風量調整ダイヤルで風量をお好みに設定します。

5. エアコンスイッチを押してエアコンを作動させます。エアコンが作動するとスイッチ内の作動表示灯が点灯します。

アドバイス

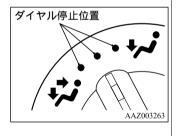
● 外気導入で使用中，エアコンが作動するとしばらくの間，内気循環か外気導入かの自動判定を行います。外気温が高い場合には，エアコンの効きをよくするために，自動的に内気循環に切り換わりスイッチ内の表示灯が点灯します。外気導入に戻すときは，内外気切り換えスイッチを押してください。

◆ 頭寒足熱にしたいときは

J01002000212

1. 吹き出し口切り換えダイヤルを と の間にします。

AAA030051

アドバイス

● と の間に 3 箇所のダイヤル停止位置があり風量をお好みに調整できます。
から に近づけるほど上半身への風量が少なくなり，足元への風量が多くなります。

AAZ003263

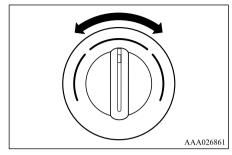
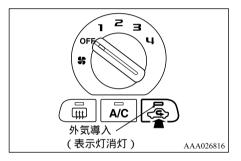
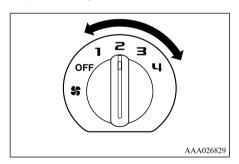
2. 温度調整ダイヤルで温度をお好みに設定します。

AAA026861

3. 内外気切り換えスイッチを押して外気導入にします。

AAA026816

4. 風量調整ダイヤルで風量をお好みに設定します。

AAA026829

◆ ウインドウガラスの曇り，霜を取りたいときは

J01002100255

⚠注意

● 安全のため，ウインドウガラスの曇りや霜は早めに取り除いて視界確保に努めてください。

1. 吹き出し口切り換えダイヤルを（曇り取り）にします。

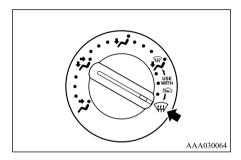
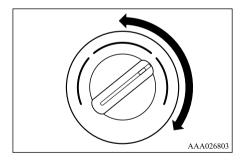
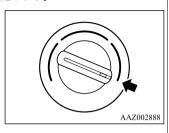
AAA030064

2. 温度調整ダイヤルで温度をお好みに設定します。

AAA026803

アドバイス

● 早く曇り，霜を取りたいときは温度を最高に設定します。

AAZ002888

● 吹き出し口切り換えダイヤルを（曇り取り）にしてエアコンを使用するときは設定温度を最低温度付近にしないでください。
ウインドウガラスの外側に露が付くことがあります。

3. 内外気切り換えスイッチを押して外気導入にします。

AAA026816

⚠注意

● 窓の曇りを防止するため外気導入（表示灯消灯）で使用してください。

4. 風量調整ダイヤルで風量をお好みに設定します。

AAA026829

アドバイス

● 早く曇り，霜を取りたいときは風量を最大に設定します。

AAZ002918

5. エアコンスイッチを押してエアコンを作動させます。エアコンが作動するとスイッチ内の作動表示灯が点灯します。

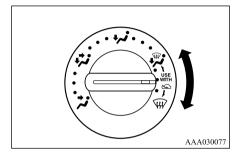
AAA027129

アドバイス

● 外気導入で使用中，エアコンが作動するとしばらくの間，内気循環か外気導入かの自動判定を行います。外気温が高い場合には，エアコンの効きをよくするために，自動的に内気循環に切り換わりスイッチ内の表示灯が点灯します。外気導入に戻すときは，内外気切り換えスイッチを押してください。

◆ 曇り止めと暖房を同時にしたいときは

J01002200230

1. 吹き出し口切り換えダイヤルをつぎの位置にします。

曇り止めを優先するとき

吹き出し口切り換えダイヤルをと の間にします。

AAA030077

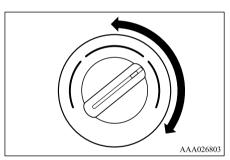
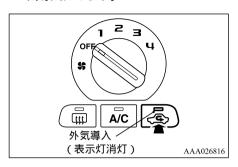
暖房を優先するとき

吹き出し口切り換えダイヤルをと の間にします。

AAA030080

アドバイス

- と の間および と の間にそれぞれ 3 箇所のダイヤル停止位置があり風量をお好みに調整できます。

  例：から に近づけるほどウインドウガラスへの風量が多くなり，足元への風量が少なくります。

AAZ003250

2. 温度調整ダイヤルで温度をお好みに設定します。

AAA026803

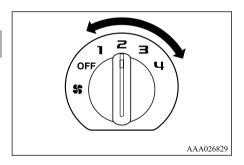
3. 内外気切り換えスイッチを押して外気導入にします。

AAA026816

⚠注意

- 窓の曇りを防止するため外気導入（表示灯消灯）で使用してください。

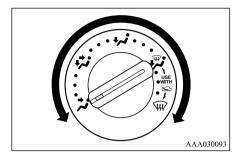
4. 風量調整ダイヤルで風量をお好みに設定します。

AAA026829

アドバイス

- エアコンを使用すると除湿効果があります。

◆ 換気したいときは

J01002300228

1. 吹き出し口切り換えダイヤルをお好みの位置に設定します。

AAA030093

2. 温度調整ダイヤルで温度をお好みに設定します。

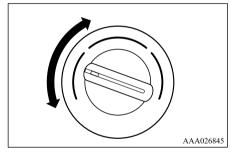
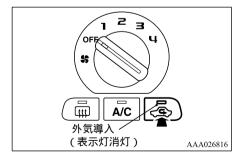
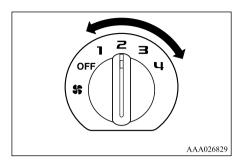
AAA026845

3. 内外気切り換えスイッチを押して外気導入にします。

AAA026816

9

4. 風量調整ダイヤルで風量をお好みに設定します。

AAA026829

◆ 排気ガス，ほこりなどを車室内に入れたくないときは

J01009600015

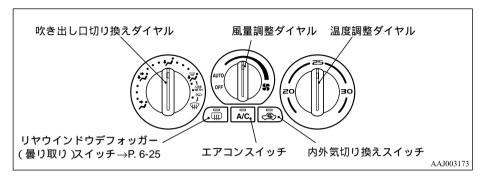
トンネルや渋滞など外気が汚れているときは内外気切り換えスイッチを押して内気循環にします。

→「内外気切り換えスイッチ」P. 9-6

オートエアコン

タイプ別装備

J01002400548

エンジンスイッチがONのときに使用できます。

● スイッチの使い方P. 9-17
● 通常の使い方（自動で使うとき）P. 9-19
● 手動で使うとき
- 急速暖房したいときはP. 9-21
- ウインドウガラスの曇り，霜を取りたいときはP. 9-22
- 曇り止めと暖房を同時にしたいときはP. 9-24
- 排気ガス，ほこりなどを車室内に入れたくないときはP. 9-25
- すべての作動を停止したいときはP. 9-25

9

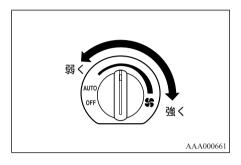
スイッチの使い方

J01002500015

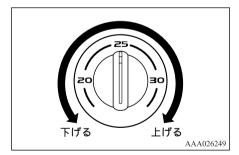
◆ 風量調整ダイヤル

J01002800278

風量を強くするときは右へ，弱くするときは左へ回します。

AAA000661

◆ 温度調整ダイヤル

J01003000394

送風温度を調整します。
温度を上げるときは右へ，下げるときは左へ回します。

AAA026249

アドバイス

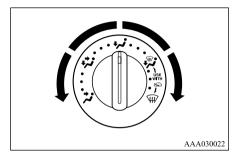
- エンジン冷却水温が低いときに温度調整ダイヤルを動かしても送風温度は変わりません。

◆ 吹き出し口切り換えダイヤル

J01003200224

使用目的に合わせて吹き出し口を切り換えます。
→「吹き出し口の切り換え」P. 9-3

AAA030022

⚠ 注意

- と の間で使用するときは，窓の曇りを防止するため内外気切り換えスイッチを押して外気導入にしてください。
  →「内外気切り換えスイッチ」P. 9-18

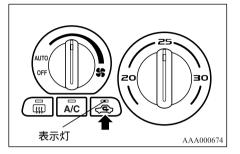
アドバイス

- 各シンボルの間にそれぞれ 3 箇所のダイヤル停止位置があり風量をお好みに調整できます。
  例：から に近づけるほどウインドウガラスへの風量が多くなり，足元への風量が少なくなります。

AAZ003250

◆ 内外気切り換えスイッチ

J01003400079

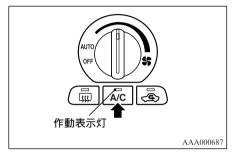
スイッチを押すと外気導入（外気を車内に入れる）と内気循環（外気をしゃ断する）の切り換えができます。内気循環に切り換わるとスイッチ内の表示灯が点灯します。

⚠ 注意

- 窓の曇りを防止するため通常は外気導入で使用してください。
- 早く冷房したいときは内気循環にします。ただし，長時間内気循環にしておくとウインドウガラスが曇りやすくなるため，ときどき外気導入に切り換えて換気してください。

アドバイス

- 外気導入で使用中，エアコンが作動するとしばらくの間，内気循環か外気導入かの自動判定を行います。外気温が高い場合には，エアコンの効きをよくするために，自動的に内気循環に切り換わりスイッチ内の表示灯が点灯します。外気導入に戻すときは，内外気切り換えスイッチを押してください。
- 手動操作後，再度風量調整ダイヤルをAUTO にすると，内外気切り換えスイッチも自動制御されます。

◆ エアコンスイッチ

J01003500285

スイッチを押すとエアコン（冷房・除湿機能）が作動し，スイッチ内の作動表示灯が点灯します。もう一度押すとエアコンは停止します。

⚠ 注意

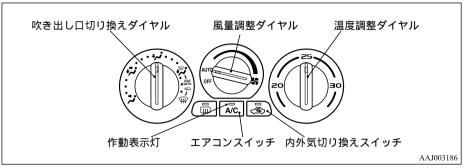
- CVT 車は，エアコン作動中はエンジン回転数が高くなりクリープ現象が強くなりますので，停車中はしっかりとブレーキペダルを踏んでください。
→「クリープ現象」P. 2-16

アドバイス

- エアコン作動表示灯が点滅したときは，エアコン装置に何らかの異常が考えられます。一度エアコンスイッチを押してエアコンを切り，再度スイッチを押してエアコンを ON にしてください。しばらくたってもエアコン作動表示灯が点滅しなければ異常ありません。
再び点滅する場合は三菱自動車販売会社で点検を受けてください。
- 高圧洗車機などを使用して，大量の水がコンデンサに付着した場合は，洗車後エアコン作動表示灯が一時的に点滅することがありますが，異常ではありません。しばらくたってから，一度エアコンスイッチを押してエアコンを切り，再度スイッチを押してエアコンを ON にしてください。水分が蒸発していれば点滅は止まります。

通常の使い方（自動で使うとき）

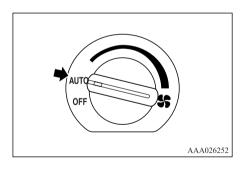
J01004000577

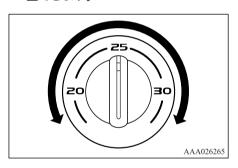
AAJ003186

風量，エアコンの ON/OFF および，内外気の切り換えを自動的に調整します。

アドバイス

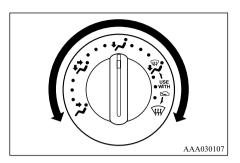
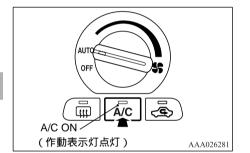
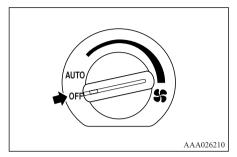
- AUTO 作動中にエアコンスイッチまたは内外気切り換えスイッチを操作すると操作した機能が優先します。操作した機能以外は自動制御されます。

1. 風量調整ダイヤルを AUTO にします。

AAA026252

2. 温度調整ダイヤルで希望温度を設定します。設定温度を 18 ～ 32 の間で調整できます。

AAA026265

アドバイス

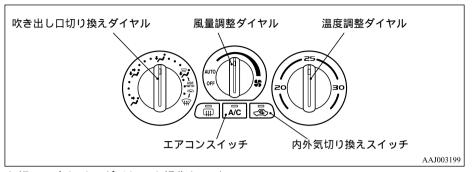
- 25 を基準に，お好みの温度に調整してください。
- エンジン冷却水温が低いときに温度調整ダイヤルを動かしても送風温度は変わりません。
- AUTO 作動中に温度を最高または最低に設定すると，内外気およびエアコンがつぎのとおり自動的に切り換わります。
  自動的に切り換わったあとに手動操作した場合は，操作した機能が優先されます。
  - 急速暖房（最高温度に設定）
    外気導入，エアコン停止
  - 急速冷房（最低温度に設定）
    内気循環，エアコン作動

3. 吹き出し口切り換えダイヤルを使用目的に合わせて切り換えます。

4. エアコンスイッチを押してエアコンを作動させます。エアコンが作動するとスイッチ内の作動表示灯が点灯します。

5. 作動を止めたいときは風量調整ダイヤルをOFFにします。

アドバイス

- センサーの上に物を置いたり，覆ったりしないでください。

手動で使うとき

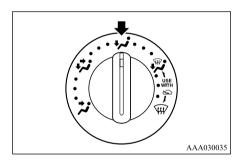
J01004100389

AAJ003199

お好みに合わせてダイヤルを操作してください。AUTO（自動）作動中でも，操作した機能が優先されます。操作した機能以外は自動制御されます。
停止するときは風量調整ダイヤルを OFF にします。

◆ 急速暖房したいときは

J01011000074

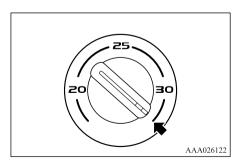
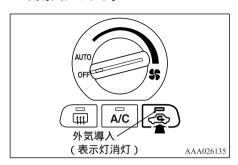
1. 吹き出し口切り換えダイヤルを にします。

AAA030035

2. 温度調整ダイヤルで温度を最高に設定します。

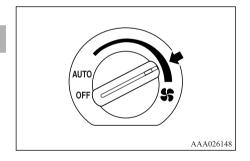
AAA026122

3. 内外気切り換えスイッチを押して外気導入にします。

AAA026135

⚠注意

- 窓の曇りを防止するため外気導入（表示灯消灯）で使用してください。

4. 風量調整ダイヤルを図の位置にします。

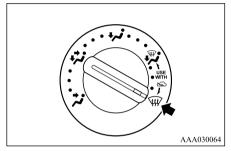
AAA026148

◆ ウインドウガラスの曇り，霜を取りたいときは

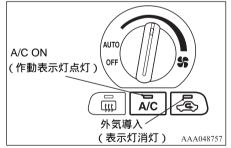
J01004200377

⚠注意

- 安全のため，ウインドウガラスの曇りや霜は早めに取り除いて視界確保に努めてください。

1. 吹き出し口切り換えダイヤルを （曇り取り）にします。

AAA030064

エアコンが自動的に作動し，外気導入（表示灯消灯）に切り換わります。

AAA048757

⚠注意

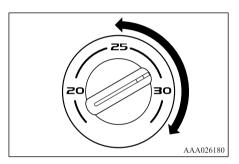
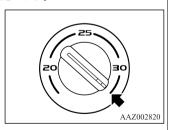
● 吹き出し口切り換えダイヤルをとの間にしてもウインドウガラスの曇り，霜を取ることができますが，自動的にエアコンは作動しません。
また，外気導入にも切り換わりません。
エアコンの作動および外気導入への切り換えは，エアコンスイッチおよび内外気切り換えスイッチを操作して行ってください。

2. 温度調整ダイヤルで温度をお好みに設定します。

AAA026180

アドバイス

● 早く曇り，霜を取りたいときは温度を最高に設定します。

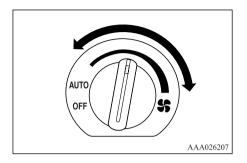
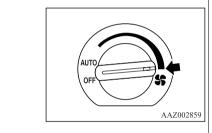
AAZ002820

● 吹き出し口切り換えダイヤルを（曇り取り）にしたときは設定温度を最低温度付近にしないでください。
ウインドウガラスの外側に露が付くことがあります。

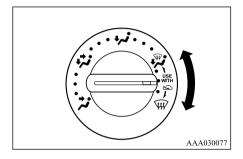
3. 風量調整ダイヤルで風量をお好みに設定します。

AAA026207

アドバイス

● 早く曇り，霜を取りたいときは風量を最大に設定します。

AAZ002859

◆ 曇り止めと暖房を同時にしたいときは

J01011100088

1. 吹き出し口切り換えダイヤルをつぎの位置にします。

曇り止めを優先するとき

吹き出し口切り換えダイヤルを と の間にします。

AAA030077

暖房を優先するとき

吹き出し口切り換えダイヤルを と の間にします。

AAA030080

アドバイス

- と の間および と の間にそれぞれ 3 箇所のダイヤル停止位置があり風量をお好みに調整できます。
  例： から に近づけるほどウインドウガラスへの風量が多くなり，足元への風量が少なくなります。

AAZ003250

2. 温度調整ダイヤルで温度をお好みに設定します。

AAA026180

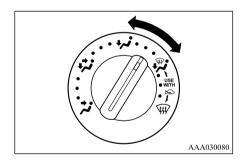
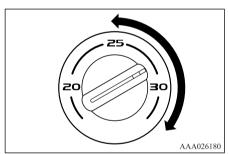
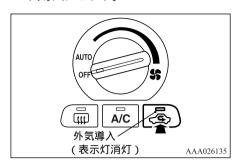
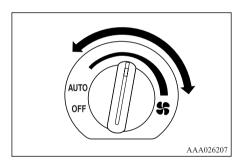
3. 内外気切り換えスイッチを押して外気導入にします。

AAA026135

⚠ 注意

● 窓の曇りを防止するため外気導入（表示灯消灯）で使用してください。

4. 風量調整ダイヤルで風量をお好みに設定します。

AAA026207

アドバイス

● エアコンを使用すると除湿効果があります。

◆ 排気ガス，ほこりなどを車室内に入れたくないときは

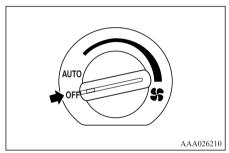
J01004300017

トンネルや渋滞など外気が汚れているときは内外気切り換えスイッチを押して内気循環にします。
→「内外気切り換えスイッチ」P. 9-18

◆ すべての作動を停止したいときは

J01004400034

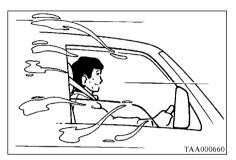
風量調整ダイヤルをOFFにします。

AAA026210

エアコンの上手な使い方

J01009400404

長時間炎天下に駐車したときは

車室内の温度は大変高くなります。
このようなときはドアガラスを開けて熱風を車外に追い出してください。

TAA000660

冷やしすぎに注意

長時間冷風を直接身体に当てないでください。冷やしすぎは身体によくありませんので，少し涼しいと感じる温度に調整してください。

TAA000673

定期点検を忘れずに

暑い季節になる前に冷媒ガス量の点検を行ってください。冷媒ガスが不足すると冷房効果が悪くなります。

⚠注意

- エアコンの冷媒ガスを充填する場合は，エンジンルーム内に貼付のエアコン冷媒ラベルに記載されている冷媒量をお守りください。規定量を超えて充填した場合，エアコンコンプレッサが故障し，エンジン停止や始動不能になるおそれがあります。

アドバイス

- エアコンの効きが悪い場合は冷媒ガスが不足またはないことが考えられます。三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

9

クリーンエアフィルター

J01009500551

オートエアコン付き車

花粉やほこり，粉じんなどを取り除くためのフィルターを内蔵しています。フィルターに花粉のほこりなどが付着すると効果が低下しますので，フィルターは定期的に交換することをおすすめします。

アドバイス

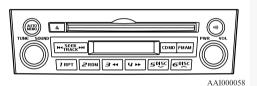
- 使用地域やエアコンの使用頻度によってはフィルターの寿命が短くなります。吹出風量が極端に減少したりガラスが曇りやすくなったときは交換時期ですので三菱自動車販売会社にご相談ください。
（交換時期の目安：1年または12,000kmのいずれか早いとき）

オーディオ

AM/FM電子同調ラジオ＆CDプレーヤー
（時計付き）P. 10-2

AAI000393

AM/FM電子同調ラジオ＆CDプレーヤー
（CDチェンジャー,MDプレーヤー，
カセットプレーヤー対応）P. 10-11

AAI000058

エラーコード. 10- 25
オーディオの上手な使い方 10- 27
アンテナ 10- 29

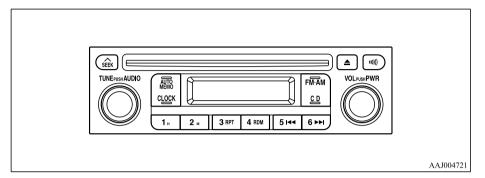
- 三菱マルチエンターテイメントシステム付き車のオーディオ操作については，別冊の取扱説明書をご覧ください。
- 外部オーディオ機器を接続する場合は，三菱自動車販売会社にご相談ください。

AM/FM電子同調ラジオ＆CDプレーヤー（時計付き）

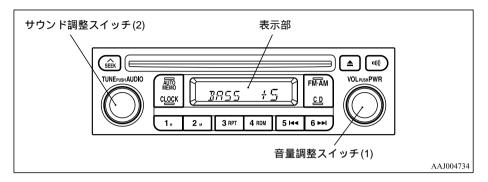
タイプ別装備

J01100100119

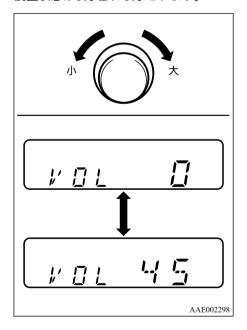
エンジンスイッチがONまたはACCのときに使用できます。

AAJ004721

- 音量・音質調整のしかた
  - 音量調整 P. 10-3
  - 音質・音量バランス調整 P. 10-4
- ラジオを聞くときは P. 10-5
  - 放送局を選局するときは P. 10-5
  - 放送局を記憶させるときは P. 10-6
  - 交通情報を聞くときは P. 10-7
- CDを聞くときは P. 10-8
  - 早送り，早戻しをするときは P. 10-8
  - 頭出しをするときは P. 10-8
  - 同じ曲を繰り返し聞くときは P. 10-9
  - ランダムな曲順で聞くときは P. 10-9
  - CDを取り出すときは P. 10-9
- 時計を合わせるときはP. 10-10
  - 時刻の合わせ方P. 10-10
- 表示を切り換えるときはP. 10-10

音量・音質調整のしかた

J01100300052

◆ 音量調整

J01102300102

音量調整スイッチ(1)で調整します。
調整状態は表示部に表示されます。

⚠注意

- 運転中は車外の音が聞こえる程度の音量でお使いください。車外の音が聞こえない状態で運転すると思わぬ事故につながるおそれがあります。

アドバイス

- 調整終了後,約2秒後に元の表示に戻ります。
  音量調整スイッチを回して 2 秒以上放置したり他のボタンを操作すると，調整モードが解除され，元の表示に戻ります。

10

◆ 音質・音量バランス調整

J01102700210

音質，音量バランスを調整することができます。

1. サウンド調整スイッチ(2)を押して，調整したいモードを選択します。調整モードはスイッチを押すごとに切り換わり，表示部に表示されます。

   BASS（低音）→TRE（高音）→FADE（前後音量）→BAL（左右音量）→ 調整モード解除

2. サウンド調整スイッチ (2) を左右に回してお好みに合わせて調整します。調整状態は表示部に表示されます。

モード表示	調整レベル範囲	サウンド調整スイッチ操作	
		反時計回りに回す	時計回りに回す
BASS	-6~+6	弱くなる	強くなる
TRE			
FADE	F6~R6	F（前側）大	R（後側）大
BAL	L6~R6	L（左側）大	R（右側）大

アドバイス

- 調整レベルが“ 0 ”（センター位置）のときに，音が“ ピッ ”と鳴ります。
- 調整終了後，約7秒後に元の表示に戻ります。
  サウンド調整スイッチ(2)を操作して7秒以上放置したり他のボタンを操作すると，調整モードが解除され，元の表示に戻ります。

10

ラジオを聞くときは

J01100500054

1. 電源スイッチ (1) を押して電源を入れます。電源を切りたいときはもう一度スイッチを押します。
2. AM/FM 切り換えボタン (2) を押します。
   ラジオ以外の状態のときはラジオに切り換わり，ラジオの状態のときはAM/FMが切り換わります。
3. 手動選局スイッチ (3) を回すか，自動選局アップボタン (4) を押して聞きたい放送局を選びます。

◆ 放送局を選局するときは

J01103500084

手動で選局するときは

手動選局スイッチ(3)を左右に回します。

- 周波数の高いほうへ選局するときは時計周りに回す
- 周波数の低いほうへ選局するときは反時計周りに回す

自動で選局するときは

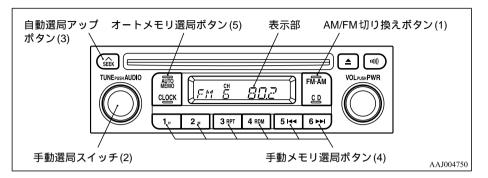
自動選局ボタン(4)を押します。
周波数の高いほうへ選局します。

アドバイス

- 受信電波が弱く自動選局できないときは手動で選局してください。

10

◆ 放送局を記憶させるときは

J01103600186

手動で放送局を記憶させるときは

自動で記憶させた放送局とは別に AM，FM放送局を各6局まで記憶させることができます。

1. AM/FM 切り換えボタン (1) を押して，AMまたはFM放送を選びます。
2. 手動選局スイッチ (2) を回すか，自動選局アップボタン (3) を押して記憶させたい放送局を受信します。
3. 手動メモリ選局ボタン(4) [1~6]のいずれか1つを押し続け，ピッという音がしたらメモリー完了です。表示部には記憶されたボタン番号と周波数が表示されます。
4. 次回からは手動メモリ選局ボタン (4) を軽く押すと，そのボタンにメモリーされている放送局を受信します。

アドバイス

- 選局ボタン1つにつきAM1局,FM1局の2局を記憶することができます。
- バッテリー端子を長い間外したときは記憶が取り消されます。

自動で放送局を記憶させるときは

手動で記憶させた放送局とは別に受信可能な AM，FM 放送の各 8 局を受信状態の良好な順に自動で記憶することができます。

周波数や放送局がわからない地域で記憶するときに有効です。

1. AM/FM 切り換えボタン (1) を押して，AMまたはFM放送を選びます。
2. オートメモリ選局ボタン (5) をピッという音がするまで押し続けます。

アドバイス

- 受信可能な放送局をさがしている間は表示部に“ A ”文字が表示されます。受信可能な放送局がないときは“ — — — ”と表示されます。

3. 次回からはオートメモリ選局ボタン (5) を軽く押すごとに記憶されている放送局を低い周波数から順に受信します。

アドバイス

- 受信可能な放送局が 8 局より少ない場合はその受信可能局数だけ記憶します。
- バッテリー端子を長い間外したときは記憶が取り消されます。

◆ 交通情報を聞くときは

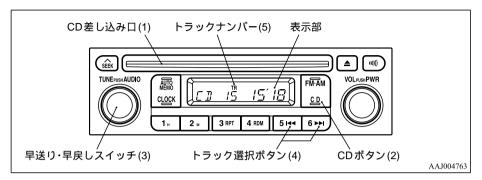
J01103800090

交通情報を行っている地域で交通情報をワンタッチで受信します。
交通情報ボタンを押すと交通情報局(1620kHz)を受信します。
もう一度押すと解除されます。

アドバイス

- 1620kHz の交通情報を受信できないときは自動的に 1629kHz の交通情報局を受信します。
  どちらも受信できないときは約 5 秒後に交通情報ボタンを押す前の状態に戻ります。
- CD を聞いているときでも交通情報ボタンを押すと交通情報を受信することができます。

CDを聞くときは

J01100700072

ディスクのラベル面を上にして CD 差し込み口(1)に入れ，軽く押し込むと再生が始まり，表示部に“ CD ”を表示します。
他のモードから CD に切り換えたいときは，CDボタン(2)を押してください。

アドバイス

- CD シングル（8cm ディスク）はアダプターなしでそのまま使用できます。
  差し込み口のほぼ中央から差し込んでください。

◆ 早送り，早戻しをするときは

J01104700041

再生中，早送りするときは早送り・早戻しスイッチ(3)を時計回りに回します。
再生中，早戻しするときは早送り・早戻しスイッチを反時計回りに回します。

スイッチを回している間，早送り，早戻しとなります。

◆ 頭出しをするときは

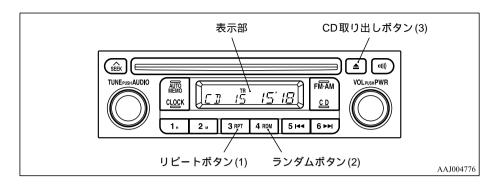
J01104900027

トラック選択ボタン(4)を押して聞きたい曲のトラックナンバー (5) を選択します。

▶▶I トラックナンバーが増加
I◀◀ トラックナンバーが減少

聞いている曲の途中でボタンのI◀◀側を 1 回押すと，その曲の頭に戻り再生します。

アドバイス

- トラック選択ボタン(4)を押すごとに表示部のトラックナンバー (5) が変わります。

◆ 同じ曲を繰り返し聞くときは

J01105100114

再生中，リピートボタン(1)を押して表示部に “ RPT ” を表示させます。
解除するときはもう 1 回ボタンを押します。

◆ ランダムな曲順で聞くときは

J01105200115

ランダムボタン(2)を押します。表示部に “ RDM ” と表示されます。再生中のディスクからプレーヤーがランダムに選曲し，再生します。
解除するときはもう 1 回ボタンを押します。

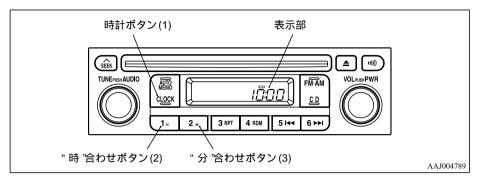
◆ CDを取り出すときは

J01105700035

CD取り出しボタン(3)を押します。
CD モードのときボタンを押すと自動的に CD が出てラジオモードに切り換わります。

10

時計を合わせるときは

J01113500162

表示部は通常時計表示となっています。ラジオモード（およびCDモード）時に時計ボタン (1) を軽く押すと，周波数表示（およびCD走行表示）に切り換わります。もう一度押すと時計表示になります。

◆ 時刻の合わせ方

J01113700018

1. 時計ボタン (1) を押し続け時計表示を点滅させます。
2. 「時・分合わせ」
“ 時 ”合わせボタン(2),“ 分 ”合わせボタン(3)を押して時刻を合わせます。
押し続けると早送りになります。
時刻を合わせたら，時計ボタン (1) を押し，時計表示の点滅を解除します。

アドバイス

● バッテリー端子を外し，再接続したときは時刻を合わせてください。

表示を切り換えるときは

J01101500080

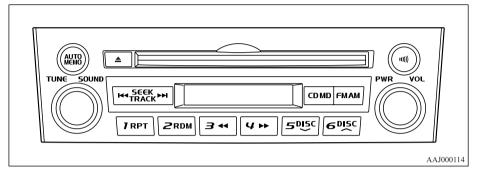
通常は，時計表示となっています。
ただし，電源を入れたときや何らかのオーディオ操作（オーディオ調整操作，ラジオ操作およびCD操作）をしたときは，一時的に各モード表示に切り換わります。

ラジオモード（およびCDモード）時に常に周波数表示（およびCD走行表示）にしておきたいときは，時計ボタン(1)を軽く押してください。
もう一度押すと時計表示に戻ります。

AM/FM電子同調ラジオ＆CDプレーヤー（CDチェンジャー，MDプレーヤー，カセットプレーヤー対応）

タイプ別装備

J01100100252

エンジンスイッチがONまたはACCのときに使用できます。

● 音量・音質調整のしかた
- 音量調整 P. 10-13
- 音質・音量バランス調整 P. 10-14

● ラジオを聞くときは P. 10-15
- 放送局を選局するときは P. 10-15
- 放送局を記憶させるときは P. 10-16
- 交通情報を聞くときは P. 10-17

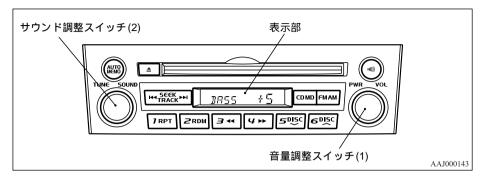
● CDプレーヤーでCDを聞くときは P. 10-18
- 早送り，早戻しをするときは P. 10-18
- 頭出しをするときは P. 10-18
- 同じ曲を繰り返し聞くときは P. 10-19
- ランダムな曲順で聞くときは P. 10-19
- CDチェンジャー，MDプレーヤー，カセットプレーヤーに切り換えるときは P. 10-19
- CDを取り出すときは P. 10-19

● 外部機器を接続してCD，MDを聞くときは P. 10-20
- ディスクを選択するときは P. 10-20
- 早送り，早戻しをするときは P. 10-20
- 頭出しをするときは P. 10-21
- 同じ曲を繰り返し聞くときは P. 10-21
- ランダムな曲順で聞くときは P. 10-21
- CDチェンジャーにCDをセットするときは P. 10-21

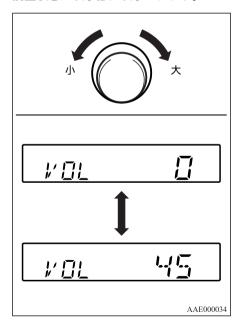
● 外部機器を接続してテープを聞くときはP. 10-22

- ドルビー NRボタンP. 10-22
- 早送り，巻き戻しをするときはP. 10-22
- テープの再生方向を変えるときはP. 10-23
- 頭出しをするときはP. 10-23
- 同じ曲を繰り返し聞くときはP. 10-24
- カセットプレーヤーにテープをセットするときはP. 10-24

音量・音質調整のしかた

J01100300238

◆ 音量調整

J01102300043

音量調整スイッチ(1)で調整します。
調整状態は表示部に表示されます。

⚠注意

- 運転中は車外の音が聞こえる程度の音量でお使いください。車外の音が聞こえない状態で運転すると思わぬ事故につながるおそれがあります。

アドバイス

- 調整終了後,約2秒後に元の表示に戻ります。
  音量調整スイッチを回して 2 秒以上放置したり他のボタンを操作すると，調整モードが解除され，元の表示に戻ります。

◆ 音質・音量バランス調整

J01102700353

音質，音量バランスを調整することができます。

1. サウンド調整スイッチ(2)を押して，調整したいモードを選択します。調整モードはスイッチを押すごとに切り換わり，表示部に表示されます。

   BASS（低音）→TRE（高音）→FADE（前後音量）→BAL（左右音量）→ 調整モード解除

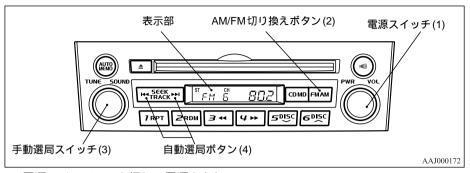
2. サウンド調整スイッチ (2) を左右に回してお好みに合わせて調整します。調整状態は表示部に表示されます。

モード表示	調整レベル範囲	サウンド調整スイッチ操作	
		反時計回りに回す	時計回りに回す
BASS	-6~+6	弱くなる	強くなる
TRE	-6~+6	弱くなる	強くなる
FADE	F6~R6	F（前側）大	R（後側）大
BAL	L6~R6	L（左側）大	R（右側）大

アドバイス

- 調整レベルが“ 0 ”（センター位置）のときに，音が“ ピッ ”と鳴ります。
- 調整終了後，約7秒後に元の表示に戻ります。
  サウンド調整スイッチ(2)を操作して7秒以上放置したり他のボタンを操作すると，調整モードが解除され，元の表示に戻ります。

ラジオを聞くときは

J01100500256

1. 電源スイッチ (1) を押して電源を入れます。電源を切りたいときはもう一度スイッチを押します。
2. AM/FM 切り換えボタン (2) を押します。
   ラジオ以外の状態のときはラジオに切り換わり，ラジオの状態のときはAM/FMが切り換わります。
3. 手動選局スイッチ (3) を回すか，自動選局ボタン (4) を押して聞きたい放送局を選びます。

◆ 放送局を選局するときは

J01103500231

手動で選局するときは

手動選局スイッチ(3)を左右に回します。

- 周波数の高いほうへ選局するときは時計周りに回す
- 周波数の低いほうへ選局するときは反時計周りに回す

自動で選局するときは

自動選局ボタン(4)を押します。

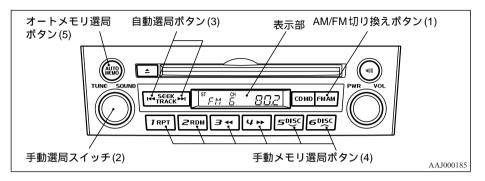
- 周波数の高いほうへ選局するときは▶▶I側
- 周波数の低いほうへ選局するときはI◀◀側

アドバイス

- 受信電波が弱く自動選局できないときは手動で選局してください。
- FMステレオ放送を受信したときは，表示部に“ ST ”と表示されます。
  また，すべてのAM放送をモノラルで受信します。

10

◆ 放送局を記憶させるときは

J01103600056

手動で放送局を記憶させるときは

AM，FM 放送局を各 6 局まで記憶させることができます。

1. AM/FM 切り換えボタン (1) を押して，AMまたはFM放送を選びます。
2. 手動選局スイッチ (2) を回すか，自動選局ボタン (3) を押して記憶させたい放送局を受信します。
3. 手動メモリ選局ボタン(4) [1~6]のいずれか1つを押し続け，ピッという音がしたらメモリー完了です。表示部には記憶されたボタン番号と周波数が表示されます。
4. 次回からは手動メモリ選局ボタン (4) を軽く押すと，そのボタンにメモリーされている放送局を受信します。

アドバイス

- 選局ボタン1つにつきAM1局,FM1局の2局を記憶することができます。
- バッテリー端子を長い間外したときは記憶が取り消されます。

自動で放送局を記憶させるときは

手動で記憶させた放送局とは別に受信可能な AM，FM 放送の各 8 局を受信状態の良好な順に自動で記憶することができます。
周波数や放送局がわからない地域で記憶するときに有効です。

1. AM/FM 切り換えボタン (1) を押して，AMまたはFM放送を選びます。
2. オートメモリ選局ボタン (5) をピッという音がするまで押し続けます。

アドバイス

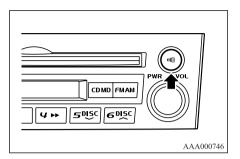
- 受信可能な放送局をさがしている間は表示部に“ A ”文字が表示されます。受信可能な放送局がないときは“ — — — ”と表示されます。

3. 次回からはオートメモリ選局ボタン (5) を軽く押すごとに記憶されている放送局を低い周波数から順に受信します。

アドバイス

- 受信可能な放送局が 8 局より少ない場合はその受信可能局数だけ記憶します。
- バッテリー端子を長い間外したときは記憶が取り消されます。

◆ 交通情報を聞くときは

J01103800032

AAA000746

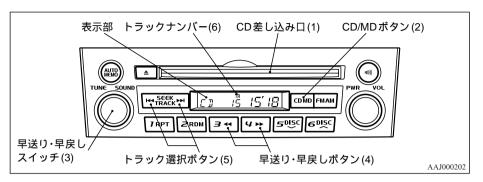
交通情報を行っている地域で交通情報をワンタッチで受信します。
交通情報ボタンを押すと交通情報局(1620kHz)を受信します。
もう一度押すと解除されます。

アドバイス

- 1620kHz の交通情報を受信できないときは自動的に1629kHzの交通情報局を受信します。
  どちらも受信できないときは約 5 秒後に交通情報ボタンを押す前の状態に戻ります。
- CD を聞いているときでも交通情報ボタンを押すと交通情報を受信することができます。

10

CDプレーヤーでCDを聞くときは

J01100700085

ディスクのラベル面を上にして CD 差し込み口(1)に入れ，軽く押し込むと再生が始まり，表示部に“ CD ”を表示します。
他のモードから CD に切り換えたいときは，CD/MDボタン(2)を押してください。

> **アドバイス**
> ● CD シングル（8cm ディスク）はアダプターなしでそのまま使用できます。差し込み口のほぼ中央から差し込んでください。

◆ 早送り，早戻しをするときは

J01104700012

再生中，早送りするときは早送り・早戻しスイッチ(3)を時計回りに回すか，または早送り・早戻しボタン (4) の▶▶側を押します。
再生中，早戻しするときは早送り・早戻しスイッチ(3)を反時計回りに回すか，または早送り・早戻しボタン(4)の◀◀側を押します。

スイッチを回している間，またはボタンを押している間，早送り，早戻しとなります。

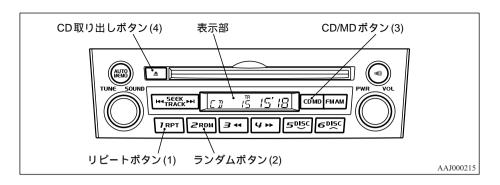
◆ 頭出しをするときは

J01104900131

トラック選択ボタン(5)を押して聞きたい曲のトラックナンバー (6) を選択します。

▶▶I トラックナンバーが増加
I◀◀ トラックナンバーが減少

聞いている曲の途中でボタンのI◀◀側を 1 回押すと，その曲の頭に戻り再生します。

> **アドバイス**
> ● トラック選択ボタン(5)を押すごとに表示部のトラックナンバー (6) が変わります。

◆ 同じ曲を繰り返し聞くときは

J01105100026

再生中，リピートボタン(1)を押して表示部に " RPT " を表示させます。
解除するときはもう 1 回ボタンを押します。

◆ ランダムな曲順で聞くときは

J01105200027

ランダムボタン(2)を押します。表示部に " RDM " と表示されます。再生中のディスクからプレーヤーがランダムに選曲し，再生します。
解除するときはもう 1 回ボタンを押します。

◆ CD チェンジャー，MD プレーヤー，カセットプレーヤーに切り換えるときは

J01112600010

CD/MDボタン(3)を押します。
「外部機器を接続してCD,MDを聞くときは」→P. 10-20
「外部機器を接続してテープを聞くときは」→P. 10-22

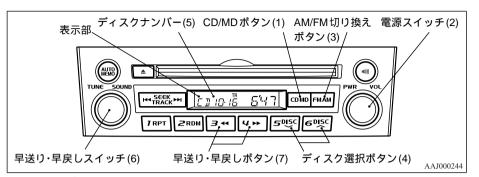
◆ CDを取り出すときは

J01105700019

CD取り出しボタン(4)を押します。
CD モードのときボタンを押すと自動的に CD が出てラジオモードに切り換わります。

外部機器を接続してCD，MDを聞くときは

タイプ別装備

J01101300163

1. CD/MDボタン(1)を押すと，CD，MDモードに切り換わり，再生が始まります。いくつかのシステムを合わせて接続している場合は，CD/MD ボタンを押すごとに，CDプレーヤー →カセットプレーヤー → CD チェンジャー →MD プレーヤーとモードが切り換わり，再生が始まります。
2. CD，MDを止めるときは電源スイッチ(2) を押して電源を切るか，AM/FM 切り換えボタン (3) を押して他のモードにします。

◆ ディスクを選択するときは（CD チェンジャー装着時のみ）

J01110800148

ディスク選択ボタン(4)を押して聞きたいディスクナンバー (5) を選択します。

∧ ディスクナンバーが増加

∨ ディスクナンバーが減少

アドバイス

● ディスク選択ボタン(4)を押すごとに表示部のディスクナンバー(5)が変わります。

◆ 早送り，早戻しをするときは

J01110900077

CDチェンジャー

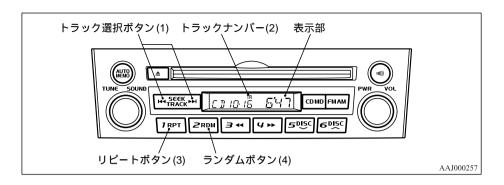
再生中，早送りするときは早送り・早戻しスイッチ(6)を時計回りに回すか，または早送り・早戻しボタン (7) の▶▶側を押します。
再生中，早戻しするときは早送り・早戻しスイッチ(6)を反時計回りに回すか，または早送り・早戻しボタン(7)の◀◀側を押します。

スイッチを回している間，またはボタンを押している間，早送り，早戻しとなります。

MDプレーヤー

再生中，早送りするときは早送り・早戻しボタン (7) の▶▶側を，早戻しするときは◀◀側を押します。
ボタンを押している間，早送り，早戻しとなります。

◆ 頭出しをするときは

J01111000134

トラック選択ボタン(1)を押して聞きたい曲のトラックナンバー (2)を選択します。

▶▶I トラックナンバーが増加
I◀◀ トラックナンバーが減少

聞いている曲の途中でボタンのI◀◀側を1回押すと，その曲の頭に戻り再生します。

アドバイス
● トラック選択ボタン(1)を押すごとに表示部のトラックナンバー (2)が変わります。

◆ 同じ曲を繰り返し聞くときは

J01111100135

再生中，リピートボタン(3)を押して表示部に“ RPT ”を表示させます。
解除するときはもう 1 回ボタンを押します。

◆ ランダムな曲順で聞くときは

J01111300140

ランダムボタン(4)を押します。表示部に“ RDM ”と表示されます。

MDプレーヤー

再生中のディスクからプレーヤーがランダムに選曲し，再生します。
解除するときはもう 1 回ボタンを押します。

CDチェンジャー

セットしたすべてのディスクからチェンジャーがランダムに選曲し，再生します。
解除するときはもう 1 回ボタンを押します。

◆ CDチェンジャーにCDをセットするときは

J01111400024

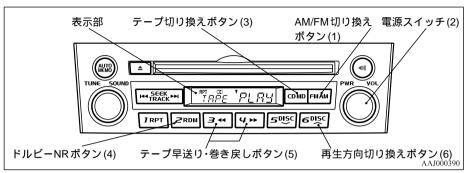
CD のセットのしかたについては「CD チェンジャー取扱説明書」に従ってセットしてください。

10

外部機器を接続してテープを聞くときは

タイプ別装備

J01112700024

AAJ000390

1. テープ切り換え(“CD/MD”)ボタン(3)を押すと，テープモードに切り換わり，再生が始まります。テープの片面が終了したときは自動的にもう一面の演奏を開始します。
いくつかのシステムを合わせて接続している場合は，テープ切り換え(“CD/MD”) ボタンを押すごとに CD プレーヤー →カセットプレーヤー →CD チェンジャー →MD プレーヤーとモードが切り換わり，再生が始まります。
2. テープを止めるときは電源スイッチ (2) を押して電源を切るか，AM/FM 切り換えボタン (1) を押して他のモードにします。

アドバイス

- メタルテープ，クロムテープ，ノーマルテープのテープ種類には自動的に対応します。

◆ ドルビー[*1]NRボタン

J01112800070

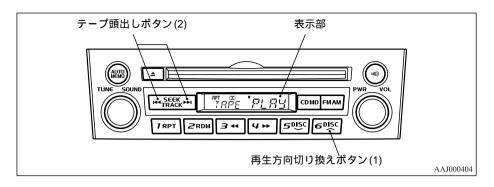
ドルビー NR で録音したテープを使用するときはドルビーNR(“RDM”)ボタン(4)を押します。ボタンを押すと表示部にDD表示灯が点灯します。

もう一度押すと解除されます。

[*1] ドルビーノイズリダクションはドルビーラボラトリーズライセンシングコーポレーションからの実施権に基づき製造されています。ドルビー，DOLBY，およびダブルD記号DDはドルビーラボラトリーズライセンシングコーポレーションの登録商標です。

◆ 早送り，巻き戻しをするときは

J01112900071

早送りをするときはテープ早送り・巻き戻しボタン (5) の▶▶側を，巻き戻しをするときは◀◀側を押します。
早送り・巻き戻しボタンをもう一度押すか再生方向切り換え(“DISC ∧”)ボタン(6)を押すと早送り（巻き戻し）が止まり再生が始まります。

◆ テープの再生方向を変えるときは

J01113000011

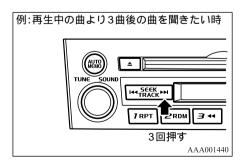
再生方向切り換え(“DISC ∧ ”)ボタン(1)を押します。

◆ 頭出しをするときは

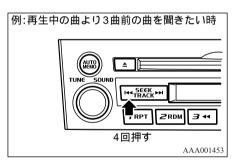
J01113100070

いま聞いている曲の前後 7 曲の中で聞きたい曲の頭出しをすることができます。

再生中の曲よりも後の曲の頭出し

1. テープ頭出しボタン(2)の▶▶I側を飛び越したい曲数だけ押します。表示部には指定された曲数が表示されます。
2. 曲の初めまでテープが早送りされ，再生が始まります。

再生中の曲よりも前の曲の頭出し

1. テープ頭出しボタン(2)のI◀◀側を飛び越したい曲数だけ押します。この場合，いま聞いている曲も曲数に含まれます。表示部には指定された曲数が表示されます。
2. 曲の初めまでテープが巻き戻され，再生が始まります。

アドバイス

- 曲と曲との間の無音部分が 4 秒以内のときや，曲の間に大きな雑音が録音されていると，曲の頭で止まらないことがあります。
- 声が途切れた状態が長く続いたり，ピアニシモのように非常に低いレベルの音が長く続くとそこで止まることがあります。

◆ 同じ曲を繰り返し聞くときは

J01113200068

リピートボタン(1)を押します。表示部に“ RPT ”と表示されます。
もう一度押すと解除されます。

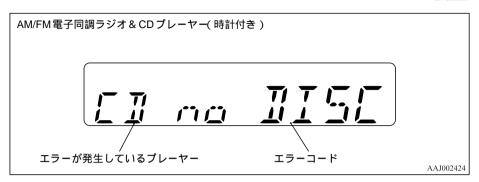
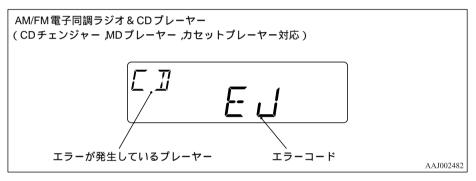
◆ カセットプレーヤーにテープをセットするときは

J01113300014

テープのセットのしかたについては「カセットプレーヤー取扱説明書」に従ってセットしてください。

エラーコード

J01102000024

10

表示部にエラーコードが表示されたときは，下表に従ってください。

エラーコード	原因	処置
EJ	チェンジャーにマガジンが入っていない。	チェンジャーにマガジンを入れてください。
NO DISC no DISC	ディスクが入っていない。	ディスクを入れてください。
E HOT	プレーヤー，またはチェンジャー内部が高温になっている。（再生が一時中断となる。）	しばらく放置してください。 温度が適温に戻るとエラーコードが消え，自動的に再生されます。

エラーコード	原因	処置
E 01 E 02	主にディスクの異常	ディスクを数枚交換してください。 ●特定のディスクのみのエラー表示 →ディスクの傷,汚れなどが原因 (異常ディスクの使用を止めてください。) ●全ディスクでエラー表示 →機器内部の結露,汚れなどが原因 (数時間後も全ディスクでエラー表示する場合は,三菱自動車販売会社で点検を受けてください。)
E 03 E	主に機器側の異常	三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

10

オーディオの上手な使い方

J01102100214

- エンジンを止めて聞くときは，必ずエンジンスイッチを ACC にしてください。
- 走行中は安全のため車外の音が聞こえる程度にしてください。
- 走行中は電波状態が変動するため，受信状態が不安定になることがあります。
- 車内で携帯電話を使用すると，オーディオから雑音が出ることがありますが，オーディオの故障ではありません。
  このときは，携帯電話をオーディオからできるだけ離して使用してください。
- 万一の場合（異物が入った，水がかかった，煙が出る，変な匂いがするなど）は，ただちに使用を中止し，三菱自動車販売会社で点検を受けてください。自分で修理しようとしたり，そのままご使用にならないでください。

テープの取り扱い

- 90 分を越えるテープは使用しないでください。テープが非常に薄いため，カセットデッキに巻き込まれるおそれがあります。
- テープはケースに入れ，直射日光や磁気のあるものの近くを避けて保存してください。
- テープはたるみをとり除いて挿入してください。
- ラベルがはがれかけたテープは使用しないでください。使用中にラベルがはがれ，オーディオが故障するおそれがあります。
- カセットデッキ内部のヘッド部は汚れやすいので,1ヵ月に1度程度市販のクリーニングテープで掃除してください。
- カセットデッキに油をさしたり，テープ差し込み口にカセットテープ以外のものを入れないでください。故障の原因となります。
  また，手や指も入れないでください。内部が高温になっている場合があります。

コンパクトディスク (CD)，ミニディスク(MD) の取り扱い

- 寒いときのヒーターを入れた直後など，急に温度が上がると，ディスクやオーディオ内部に露（水滴）が付いて正常に作動しないことがあります。このような場合には，しばらく待ってからご使用ください。
- 悪路走行などで激しく振動した場合，音とびすることがあります。
- 必ずケースに入れて保管してください。また直射日光の当たる場所や高温，多湿の場所などに置かないでください。

CDについて

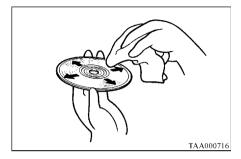
- 下のマークのついたCD以外は使用できません。
  下のマークのついたCDでも，CD-R/RWディスクはCDディスクに比べてディスクの反射率が若干低いため，使用できない場合があります。

TAA000703

  ハート型，八角形などJIS規格に合致しない特殊形状のディスクを使用するとプレーヤーの故障原因になります。
- ラベルが貼っていない面に直接触れるとディスクが汚れ，音が悪くなる場合がありますので，必ずディスクの中心の穴と端をはさんでお持ちください。

TAA000729

- 汚れを取るときは，やわらかい布でディスクの内側中心から外側へ直角方向にふきとってください。ベンジン，シンナー，レコードスプレー，帯電防止剤，化学ぞうきんなどは使用しないでください。

TAA000716

- ヒビがはいったり，大きくそったディスクは使用しないでください。プレーヤーの故障原因になります。
- ラベル面や演奏面にボールペンやサインペンなどで文字を書いたり紙やシールなどを貼りつけないでください。

MDについて

- 下のマークのついたMD以外は使用できません。

- シャッターを無理にあけないでください。
- ラベルのはがれかかったMD，またケースが変形しているMDは使用しないでください。プレーヤーの故障の原因になります。
- カートリッジ表面の汚れを取るときは，乾いた布でふきとってください。

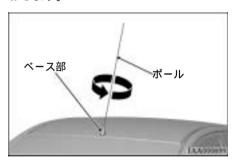
アンテナ

J01102200013

ルーフアンテナ

ラジオを聞くときは，アンテナを約60度の位置まで起こしてからお聞きください。

◆ 取り外し方，取り付け方

取り外すときはポールを反時計回りにまわします。

取り付けるときは時計回りにまわしてポールをベース部にねじ込み，しっかりと取り付けてください。

アドバイス

- つぎのようなときは，アンテナを損傷するおそれがあるため必ずアンテナを取り外してください。
  - 自動洗車機を使用するとき
  - ボデーカバーをかけるとき
- 立体駐車場など天井の低い所へ入るときは，アンテナが当たらないように倒してください。

簡単な整備・車のお手入れ

簡単な整備

エンジンオイルの補給 11- 2
燃料噴射装置の洗浄 11- 2
ウォッシャー液の点検・補給 11- 3
タイヤメンテナンス 11- 3

車のお手入れ

内装品のお手入れ 11- 5
外装品のお手入れ 11- 6

エンジンオイルの補給

J01200100439

エンジンオイルはエンジンの性能や寿命，始動性に大きく影響しますので，必ず指定のオイルおよび粘度のものを使用してください。
エンジンオイル量を点検しオイルが不足している場合は，三菱純正エンジンオイルまたはオイル缶にILSAC認証マークの入ったエンジンオイルを補給してください。

→「エンジンオイル注入キャップ，エンジンオイルレベルゲージ」P. 1-15
→「エンジンオイルの銘柄」P. 14-3

ILSAC認証マーク

TAA000022

アドバイス

- エンジンオイルは通常走行でも，走行状況に応じて消耗します。
  オイル量を点検しオイルが不足している場合は，補給してください。
- エンジンオイルの点検，補給方法，交換時期については別冊の「メンテナンスノート」をお読みください。

燃料噴射装置の洗浄

J01200800218

燃料噴射装置の洗浄を行うことにより，本来のエンジン性能を引き出すことができます。
洗浄剤には三菱自動車純正品のインジェクタークリーナーを使用してください。

⚠注意

- 三菱自動車純正品以外の洗浄剤を使用しないでください。燃料噴射装置が損傷するおそれがあります。
- 他の添加剤と同時に使用しないでください。エンジンに悪影響をおよぼすおそれがあります。

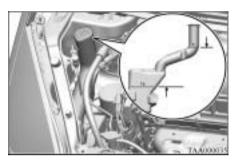
アドバイス

- 新車時の性能を長く維持していただくため，15,000kmまたは1年ごとの使用をおすすめします。

ウォッシャー液の点検・補給

J01200200010

タンク内の液面の位置で液量を点検します。

フロント・リヤ共用

ウォッシャー液が不足している場合は，三菱純正ウォッシャー液を気温に適した濃度で補給してください。

使用地域・季節	希釈割合	凍結温度
通常	原液1に水2	-10°C程度
寒冷地の冬期	原液1に水1	-20°C程度
極寒冷地の冬期	原液のまま	-50°C程度

⚠注意

- 冬期は，ウォッシャー液を薄めすぎると液がウインドウガラスに凍りついてしまうことがあります。

アドバイス

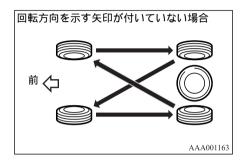
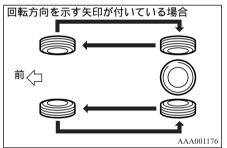
- ウォッシャー液の代わりに石けん水などを使用すると，ノズルのつまり，塗装のしみなどの原因となることがありますので使用しないでください。

タイヤメンテナンス

J01202100143

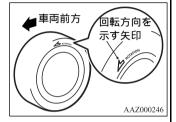
タイヤローテーション

J01202400029

タイヤの摩耗を均一にして寿命を延ばすため，タイヤローテーションを 5,000km 走行ごとに行ってください。

⚠注意

- 応急用スペアタイヤはローテーション作業を行うとき，外したタイヤのかわりに一時的に使用することができますが，ローテーションには加えないでください。

⚠注意

- タイヤに回転方向を示す矢印が付いているときは，4輪で前後ローテーションを行ってください。
  タイヤを取り付けるときは車両前進時の回転方向と矢印の向きが同じになるように取り付けてください。矢印の向きが異なるとタイヤの性能が十分に活かされません。

- 種類の異なったタイヤを混ぜて使用することは，安全走行に悪影響をおよぼしますので避けてください。

タイヤの摩耗

J01202500020

ウェアインジケーター（溝の深さ 1.6mm 以下）が現れたら，スリップしやすくなり危険ですのでタイヤを交換してください。

アドバイス

- ウェアインジケーターのマークや位置は，タイヤメーカーによって異なります。

タイヤ空気圧の点検・調整

J01202600018

タイヤの空気圧は定期的に点検し，必ず規定の空気圧に調整してください。
→「タイヤの空気圧」P. 14-8

⚠警告

- タイヤの空気圧が不足したまま走行すると，タイヤが偏摩耗したり，車の安定性や操縦性を確保できなくなるおそれがあります。また，バースト（破裂）するなど重大な事故につながるおそれがあります。

アドバイス

- 点検方法は別冊の「メンテナンスノート」をご覧ください。
- 規定の空気圧は運転席ドアを開けたボデー側のラベルにも表示しています。

内装品のお手入れ

J01200600636

1. 電気掃除機などでほこりを取り除きます。
2. ガーゼなどの柔らかい布に，中性洗剤の 3% 水溶液を含ませて，軽くふき取ります。
3. 真水にひたした布を固くしぼって，洗剤をきれいにふき取ります。
4. 水分をよくふき取り，風通しのよい日陰で乾燥させます。

⚠ 注意

- シリコンやワックスを含むクリーナーや保護剤を使用しないでください。
  使用すると使用箇所がウインドウガラスに映り込み，視界の妨げになるおそれがあります。
- シートの下など，見えにくい場所や狭い場所のお手入れをするときは，手袋などを使用して，手にけがをしないよう注意してください。

アドバイス

- ベンジン，ガソリンなどの有機溶剤や酸またはアルカリ性の溶剤は使用しないでください。変色やしみ，割れの原因になります。
  また，各種クリーナー類にはこれらの成分が含まれているおそれがありますのでよく確認のうえ使用してください。
- 液体芳香剤は，こぼれないよう容器を確実に固定してください。
  また，インストルメントパネルの上やランプ類，メーターの近くには置かないでください。
  含まれる成分によって樹脂部品や布材の変色，ひび割れをおこすおそれがあります。

本革

タイプ別装備

J01202700019

1. ガーゼなどの柔らかい布に，ウール用中性洗剤の 5% 水溶液を含ませて，汚れをふき取ります。
2. 真水にひたした布を固くしぼって，洗剤をふき取ります。
3. 乾いた柔らかい布で水分をふき取り，風通しのよい日陰で乾燥させます。

アドバイス

- 水をこぼしたり，雨などでぬれたときは，乾いた柔らかい布で早めに水分をふき取ってください。
- ナイロンブラシ，合成繊維類で強くこすると表面を傷つけるおそれがあります。
- 本革の汚れはカビなどの原因となります。油汚れなどは，早めに落としてください。
- 直射日光に長時間さらすと表面が日焼けしたり，硬くなって縮むことがあります。できるだけ日陰に駐車してください。

外装品のお手入れ

J01200700884

お車を美しく保つために，走行後は塗装面に付着したほこりを毛ばたきなどではらい落としてください。
つぎのような汚れは，そのままにしておきますと，腐食，変色，しみになるおそれがありますので，できるだけ早く洗車してください。

- 海水や道路凍結防止剤など
- 工場のばい煙，油煙，粉じん，鉄粉，化学物質（酸，アルカリ，コールタールなど）など
- 鳥のふん，虫の死がい，樹液，花粉など

⚠注意

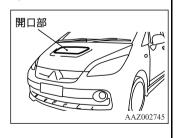
- 下回りやホイールを洗うときは，厚手のゴム手袋などを使用して，手にけがをしないよう注意してください。

洗車のしかた

J01202800010

1. 水をかけながら，車体の下回りを洗います。
2. 車体上部から水をかけながら，スポンジなどで汚れを洗い落とします。
3. 水洗いで落ちにくい汚れには，中性洗剤を使用してください。
   洗車後は，中性洗剤を水で完全に洗い落とします。
4. 鳥のふんや虫の死がいなどの汚れは，水で洗い落とし，必要に応じてワックスで汚れを落とします。
5. セーム皮か柔らかい布で，塗装面にはん点が残らないよう水分をふき取ります。

⚠注意

- 洗車後は，低速で走行しながら数回ブレーキペダルを軽く踏み，ブレーキを乾かしてください。
  ぬれたままにしておくとブレーキの効きが悪くなったり，凍結やさびによってブレーキが固着し，走行できなくなることがあります。
- エンジンフードに開口部のある車は，走行直後などエンジンルームの温度が高くなっているとき，開口部に触れないでください。やけどをするおそれがあります。

アドバイス

- エンジンルーム内には水をかけないでください。車体の下回りを洗車するときも，エンジンルーム内に水が入らないようにしてください。
  エンジン始動不良などの原因になります。
- 自動洗車機を使用すると塗装面にブラシの傷がつき，塗装の光沢が失われたり，劣化を早めるおそれがありますので，使用はできるだけひかえてください。
  とくに濃彩色車やメタリック車はスリ傷がめだちやすくなります。
- 洗浄機（コイン洗車機など）は機種によって高温，高圧のものがあります。
  車体樹脂部品の熱変形，破損，接着式マーク類のはがれ，室内への水侵入などのおそれがありますので，つぎのことをお守りください。
  - 洗車ノズルと車体との距離を十分離す。（約50cm以上）
  - ドアガラス回りを洗うときは，洗車ノズルをガラス面に垂直に向け，洗車ノズルとガラスとの距離を十分離す。（約50cm以上）
- 自動洗車機を使用するときは，部品が破損したり，車両を傷つけるおそれがありますので，ドアミラーを格納し，アンテナを取り外してください。
  リヤスポイラー付き車は，使用する前に必ず係員にご相談ください。係員のいないコイン洗車機などは，操作要領に従って洗車してください。

ワックスのかけ方

J01202900011

月に 1~2 回または，水をはじかなくなったときにかけます。
ワックスかけは，洗車後の塗装面が体温以下のときに直射日光を避けて行ってください。
塗装面が熱いときにワックスをかけると，しみの原因になります。

アドバイス

- 三菱純正ワックスの使用をおすすめします。
- コンパウンド（研磨剤）入りのワックスは使用しないでください。
  コンパウンド入りのワックスを使用すると，汚れ落ちはよくなりますが，塗装面を削り取るため塗装面の光沢が失われる原因になります。
  また，使用した布に色が付着し色落ちするおそれがあります。
  とくに濃彩色は変色部分がめだちやすくなります。
- サンルーフ開口部周囲のワックスがけを行うときは，ウェザーストリップ（黒いゴム）にワックスを付着させないでください。
  ワックスが付着するとサンルーフとの密着が悪くなります。
  ワックスが付着したときは，柔らかい布できれいにふき取ってください。
- 黒色のつや消し塗装部にワックスをかけると，色ムラなどが起こるおそれがありますので，ワックスをかけないでください。
  ワックスが付着したときは，温水を用い柔らかい布できれいにふき取ってください。

アドバイス

- 洗車やワックスがけを行うときは，車体の一点に強い力がかからないよう注意してください。
  力のかけぐあいや場所によっては，万一の場合，車体がへこむおそれがあります。

ウインドウガラスのお手入れ

J01203000019

ワイパーのふきが悪くなったときは，ウインドウガラス洗浄剤（ガラスクリーナー等）で清掃してください。

アドバイス

- 三菱純正ウインドウガラス洗浄剤の使用をおすすめします。
- ガラスの内側を清掃するときは，電熱線を傷つけないよう電熱線に沿って柔らかい布でふいてください。

フロントドア撥水ガラスのお手入れ

タイプ別装備

J01203100010

フロントドアガラスには雨水などをはじくよう，ガラス表面にコーティングがしてあります。
水滴をはじく撥水効果の持続期間には限りがあります。効果を長持ちさせるためにつぎのことをお守りください。

1. 水をかけて汚れを洗い流します。
2. 汚れがひどいときは，水をかけながらスポンジなどで汚れを洗い落とします。
3. 水洗いで落ちにくい汚れには，中性洗剤を使用してください。洗車後は，中性洗剤を水で完全に洗い落とします。

アドバイス

- 泥などの汚れがひどいときは，フロントドアガラスの開閉をひんぱんに行わないでください。ガラスに傷がつき，撥水効果が低下するおそれがあります。
- コンパウンド（研磨剤）入りのガラスクリーナー，アルカリ性洗剤は撥水性の効果が失われるおそれがあるため使用しないでください。
- ワックスが付着したときは，撥水性が低下するので中性洗剤で洗浄した後，多量の水で洗い流してください。
- ガラスクリーナーの使用で白曇りしたときは，湿った柔らかい布でふき取ってください。
- 自動洗車機を使用するときはフロントドアガラス表面の泥などの汚れを洗い落としてから洗車してください。
- 金属製の物で霜取りなどをしないでください。
- 水滴のはじきが悪くなったときは，三菱自動車販売会社にご相談ください。

親水鏡面ドアミラーのお手入れ

タイプ別装備

J01201000015

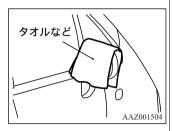
ドアミラーの視認性を確保するため，ミラーについた雨水などが膜状に広がるよう，鏡面にコーティングがしてあります。ただし，霧雨や小雨など少量の水滴に対しては，親水効果を十分に発揮しないことがあります。
通常のお手入れは水洗いをするだけで十分ですが，親水効果を長持ちさせるためにつぎのことをお守りください。

1. 水をかけて汚れを洗い流します。
2. 汚れがひどいときは，水をかけながらスポンジなどで汚れを洗い落とします。
3. 水洗いで落ちにくい汚れには，三菱純正の油膜・被膜除去剤（ガラスクリーナー等）または中性洗剤を使用してください。
   洗車後は，洗浄剤を水で完全に洗い落としてください。

アドバイス

- ドアミラーが凍結したときは，金属製やプラスチックの板などで霜取りをせずぬるま湯や解氷スプレーなどで取り除いてください。
- コンパウンド（研磨剤）入りのガラスクリーナーは親水性の効果が失われるおそれがあるため使用しないでください。
  付着したときは多量の水で洗い流してください。

アドバイス

- 撥水ウインドウ用スプレー，タイヤワックススプレーなどを使用するときはミラー表面をタオルなどで覆ってから使用してください。液が飛散して鏡面に付着すると親水効果が低下するおそれがあります。

- つぎの場合は，一時的に親水効果が失われますが徐々に回復します。親水効果をすぐに回復させたいときは，三菱純正の油膜・被膜除去剤（ガラスクリーナー等）または中性洗剤で洗浄した後，多量の水で洗い流してください。その後，屋外に車両を 5~9 時間駐車し，ミラー鏡面に太陽の光を当ててください。
  - ミラーの汚れをふき取ったとき
  - ミラーが曇ったとき
  - 自動洗車機でワックス洗車したとき
  - ミラーにワックスや撥水剤が付着したとき
  - 地下駐車場など日の当たらない場所に長期間駐車していたとき
- 三菱純正の油膜・被膜除去剤の使用をおすすめします。

ワイパーのお手入れ

J01201100016

ワイパーゴムに異物が付着していたり，摩耗しているとふきが悪くなりますので，つぎのように処置してください。

- 異物が付着しているときは，水を含ませた柔らかい布でワイパーゴムを清掃してください。
- ワイパーゴムが摩耗しているときは，早めにワイパーゴムを交換してください。

アドバイス

- ワイパーゴムの交換については，別冊の「メンテナンスノート」をお読みください。

サンルーフのお手入れ

タイプ別装備

J01201300018

ガラスの内側を清掃するときは，柔らかい布で清掃してください。
汚れのひどいときは，つぎの要領で行います。

- スポンジやガーゼなどの柔らかい布に，中性洗剤の5%水溶液を含ませて，汚れをふき取ります。
- 真水にひたした柔らかい布を固くしぼって，洗剤をきれいにふき取ります。

アドバイス

- ガラスの内側には，表面処理がしてありますので，固い布や有機溶剤（ベンジン，シンナーなど）を使用すると表面処理がはげるおそれがあります。

樹脂部品のお手入れ

J01201500010

スポンジまたはセーム皮で清掃します。
黒色や灰色系統で表面がざらざらしている部分（バンパーやモールディングなど）およびランプ類にワックスが付着すると白くなることがあります。
ワックスが付着したときは，温水を用い柔らかい布またはセーム皮などできれいにふき取ってください。

アドバイス

- たわしなどの硬いものは，表面を傷つけるおそれがありますので使用しないでください。
- コンパウンド（研磨剤）入りワックスは，樹脂の表面を傷つけるおそれがありますので使用しないでください。
- ガソリン，軽油，ブレーキ液，エンジンオイル，グリース，塗装用シンナー，硫酸（バッテリー液）を付着させると，変色，シミ，ひび割れの原因になりますので，絶対に避けてください。
  万一，付着したときは，すみやかに中性洗剤の水溶液を用い柔らかい布またはセーム皮などでふき取ったあと，多量の水で洗い流してください。

アルミホイールのお手入れ

タイプ別装備

J01201600011

1. 水をかけながら，スポンジなどで汚れを洗い落とします。
2. 水洗いで落ちにくい汚れには，中性洗剤を使用してください。
   洗車後は，中性洗剤を水で洗い落とします。
3. セーム皮か柔らかい布で水分をふき取ります。

アドバイス

- ブラシなどの硬いものは，ホイール表面を傷つけるおそれがありますので使用しないでください。
- コンパウンド（研磨剤）入りのクリーナーや，酸性およびアルカリ性のクリーナーは使用しないでください。
  ホイール塗装表面のはがれ，変色，シミの原因になります。
- スチームクリーナーなどで直接熱湯をかけないでください。
- 海水や道路凍結防止剤などが付着したときは，腐食するおそれがありますので早めに洗い落としてください。

塗装の補修

J01201700012

飛び石や引っかき傷などは，腐食の原因になります。
見つけたら早めにタッチアップペイントで補修してください。

アドバイス

- 三菱純正タッチアップペイントの使用をおすすめします。

11

寒冷時の取り扱い

冬期前の点検と準備 12- 2
走行前の点検. 12- 3
雪道,凍結路の走行 12- 4
寒冷地での駐車. 12- 5
タイヤチェーン. 12- 6

冬期前の点検と準備

J01300100746

エンジンオイル

エンジンオイルは外気温に応じた粘度のものに交換します。
→「メンテナンスデータ：オイル類の量と種類」P. 14-3

冷却水

冷却水が凍結するとエンジンを損傷します。不凍液（三菱自動車純正品）の濃度を50%にします。

ウォッシャー液

ウォッシャー液（三菱自動車純正品）の濃度を50%以上にします。
→「ウォッシャー液の点検・補給」P. 11-3

バッテリー

気温が下がるとバッテリーに負担がかかりエンジン始動に支障をきたすことがありますので液量，比重の確認をし，必要に応じて液の補給や補充電をしてください。

アドバイス

- バッテリー液の補給は「メンテナンスノート」をお読みください。

タイヤチェーン，または冬用タイヤの準備

冬用タイヤに取り換えるときは，4輪とも交換します。
→「タイヤ交換のしかた」P. 13-17
地域によってはタイヤチェーン，冬用タイヤの装着が条例で義務づけられています。地域の条例にしたがってください。

燃料タンクの水抜き

タンク内の水分を除去するときは三菱自動車販売会社にご相談ください。

⚠注意

- 市販の水分除去剤を使用しないでください。燃料噴射装置が損傷するおそれがあります。
また，寒冷時には水分が凍結するおそれがありますので，寒くなる前にご使用ください。

ワイパー

寒冷地用ワイパーは，雪が付着するのを防ぐために金属部分をゴムでおおってあります。
寒冷地用ワイパーに交換するときは，必ず三菱自動車純正品をご使用ください。

走行前の点検

J01300200011

日常点検時につぎの点検を追加してください。

ウインドウガラスの雪や霜を落とす

ウインドウガラスの雪や霜を落として視界を確保してください。また，ワイパーブレードがウインドウガラスに凍りついていないかも確認してください。

アドバイス

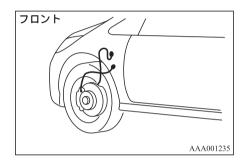
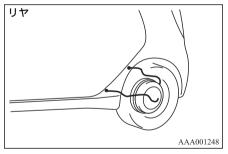
- 冬期はワイパーブレードが凍結しフロントガラスに張り付くことがあります。その場合はヒーターでフロントガラスを暖めてください。
  →「ウインドウガラスの曇り，霜を取りたいときは」P. 9-11，9-22
  フロントガラスに張り付いたまま動かすとワイパーブレードを傷めたり，ワイパーモーター故障の原因となります。

足回りの確認

足回りに付着した氷塊を取り除いてください。走行中に氷塊が部品を損傷するおそれがあります。

⚠注意

- 足回りにはブレーキ関連部品が集まっています。部品や配線などを損傷させないように注意して取り除いてください。

12

ドアの凍結

ドアが凍結したときに無理に開けようとするとドア回りのゴムがはがれたり，き裂が入るおそれがあります。お湯をかけて氷を溶かしてください。その後すみやかに水分を十分ふき取ってください。

アドバイス

- キー穴部にはお湯をかけないでください。凍結すると，キーが差し込めなくなります。

車に乗る前に

ペダルのすべりや，ウインドウガラスの曇りを防止するため，靴についた雪はよく落としてから乗車してください。

ペダル，ハンドルの確認

ペダルやハンドルの動きは円滑かどうか確認してください。

雪道，凍結路の走行

J01300300272

暖機運転について

長すぎる暖機運転は，燃料の無駄使いにつながります。
環境保護のためにも暖機運転は 1 分程度を目安として最小限にとどめてください。

雪道や凍結した道路はスリップに注意

- 速度はひかえめにし，タイヤチェーンを前輪に装着，または4輪とも冬用タイヤに交換してください。
- 橋の上，日陰，水たまり，トンネルの出入口付近などは路面が凍結していることがあります。慎重な運転を心がけ，急ブレーキ，急ハンドル，急なアクセル操作は避けてください。

車間距離は十分に

雪道，凍結路は滑りやすいため，ブレーキの効きが悪くなります。走行中は車間距離を十分にとってください。

フェンダー内の雪は早めに取り除く

走行中にはね上げた雪がフェンダー内に着氷しハンドルの切れが悪くなることがあります。氷塊を取り除いてください。

ブレーキの効き具合を確認

雪道走行時にブレーキ装置に着氷し，ブレーキの効きが悪くなることがあります。走行中は前後の車や道路状況に注意し，ときどき軽くブレーキペダルを踏んで効き具合を確認してください。

12

洗車は早めに

寒冷地では道路に凍結防止剤がまかれていることがあります。さびの原因になりますので早めに洗車してください。特に下回りを念入りに洗車してください。

寒冷地での駐車

J01300400433

駐車ブレーキが凍結するおそれがあります。駐車ブレーキはかけず，マニュアル車はシフトレバーを❶またはⓇに，CVT車はセレクターレバーを🅟に入れさらに輪止めをしてください。
また軒下や樹木の下には駐車しないでください。落雪や積雪の重みで車の屋根などがへこむことがあります。

アドバイス

- 車の前方を風下に向けて駐車しておくと，エンジンの冷えすぎを防ぐことができます。
- ワイパーアームを立てておけば，ワイパーブレードがウインドウガラスに凍りつくのを防ぐことができます。
- 輪止めは標準装備されておりません。三菱自動車販売会社でお買い求めください。
- 輪止めがないときは，タイヤを固定できる大きさの石などで代用できます。

タイヤチェーン

J01300700814

前輪駆動車ですので，タイヤチェーンは前輪に取り付けてください。
4WD車も前輪駆動を主とした四輪駆動なので，タイヤチェーンは前輪に装着してください。

⚠注意

- タイヤチェーンは後輪に取り付けないでください。

タイヤチェーンは必ず三菱自動車純正部品をご使用ください。またタイヤに合ったサイズのものを使用してください。
三菱自動車純正部品以外のタイヤチェーンを装着すると，ボデーやホイールなどにあたり傷をつけるおそれがあります。詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。
取り付け要領は，タイヤチェーンに添付の取扱説明書をご参照ください。

⚠注意

- 応急用タイヤにはタイヤチェーンは装着できません。前輪がパンクしたときは後輪を前輪に取り付けてからチェーンを装着してください。
- パンクタイヤ応急修理キット付き車の前輪がパンクしたときは，パンクタイヤ応急修理キットで応急修理をしてからタイヤチェーンを装着してください。
→「パンクタイヤ応急修理キット」P. 13-23
- 路上でタイヤチェーンをかけるときは，交通のじゃまにならず，安全に作業できる平らで硬い場所を選びます。
また，非常点滅灯や停止表示板で後続車に注意を促し同乗者は安全な場所に待機させてください。

アドバイス

- ホイールカバー付き車はチェーンによりホイールカバーに傷がつくおそれがありますので取り外してください。
→「ホイールカバー」P. 13-21
- アルミホイールにタイヤチェーンを取り付けるとホイールが傷つくおそれがあります。チェーンや金具がホイールにあたらないように装着してください。
- タイヤチェーンを装着したときは30km/h以下で走行してください。
- 雪道，凍結路以外でのタイヤチェーンの装着はチェーンの寿命を短くしますので，避けてください。

12

もしものときの処置

警告灯が点灯または点滅したときは！ 13- 2
こんな音が聞こえたときは! 13- 4
こんなことでお困りのときは! 13- 6
故障したときは！ 13- 9
発炎筒を使うときは！ 13- 10
工具とジャッキ 13- 10
ジャッキアップのしかた 13- 13
スペアタイヤ 13- 15
タイヤ交換のしかた 13- 17
パンクタイヤ応急修理キット 13- 23
バッテリー上がりのときは！ 13- 29
オーバーヒートしたときは！ 13- 32
けん引 13- 33
ブレーキから金属摩擦音が聞こえたときは！ 13- 38
ヒューズが切れたときは！ 13- 38
バルブ（電球）が切れたときは！ 13- 43

警告灯が点灯または点滅したときは！

J01400100734

ただちに安全な場所に停車し，最寄りの三菱自動車販売会社へ連絡してください。

	充電警告灯	P. 6-14

安全な場所に停車し，まず車を点検してください。点検後も消灯しないときは，最寄りの三菱自動車販売会社へ連絡してください。

	ブレーキ警告灯	P. 6-13	P R N D Ds L / P R N D Ds / Ⓟ Ⓡ Ⓝ Ⓓ Ⓓs Ⓛ	“ N ”表示灯（1秒間に約2回点滅）	P. 7-14
	油圧警告灯	P. 6-14			

安全な場所に停車し，エンジンを停止してください。
再度エンジンをかけ，その後しばらく走行しても点灯または点滅しなければ異常ありません。
消灯しないときやたびたび点灯または点滅するときは，できるだけ早く三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

ABS	ABS警告灯	P. 7-26	EPS	電動パワーステアリング警告灯	P. 7-28

すぐに停車する必要はありませんが，できるだけ早く三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

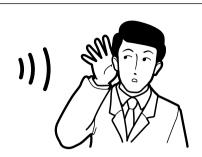
SRS	SRSエアバッグ／プリテンショナー機構警告灯	P. 5-39		エンジン警告灯（点灯または点滅）	P. 6-14
P R N D Ds L / P R N D Ds / Ⓟ Ⓡ Ⓝ Ⓓ Ⓓs Ⓛ	“ N ”表示灯（1秒間に約1回点滅）	P. 7-14		アクティブスタビリティコントロール(ASC)作動表示灯（点灯）	P. 7-31

参照ページをお読みになり処置してください。

	シートベルト警告灯	P. 5-21		燃料残量警告灯	P. 6-6
	半ドア警告灯	P. 6-15		ヘッドライトオートレベリング警告灯	P. 6-20

13

こんな音が聞こえたときは!

J01400200663

AAJ000055

現象	処置
運転席ドアを開けたら断続的に音(ピピッ,ピピッ)がする。	「キー抜き忘れ防止機構」→ P. 4-4 キーを抜き忘れています。 エンジンスイッチからキーを抜くとブザーは止まります。
ブザーが約 10 秒間鳴った後,ホーンが約 30 秒間鳴る。	「セキュリティーアラーム」→ P. 4-9 セキュリティーアラームが作動しています。警報作動を止めるには,キーレスエントリーの LOCK または UNLOCKスイッチを押すか,エンジンスイッチをONまたはACCにしてください。
エンジンスイッチを ON にしたとき,ブザー音(ピーピーピーピー)が4回鳴る。	「セキュリティーアラーム」→ P. 4-9 駐車中にセキュリティーアラームが作動したことを知らせています。盗難にあっていないか,お車の中を確認してください。
●エンジンスイッチを ON にしたとき,音(ピピピッ,ピピピッ)がする。 ●走行中に,音(ピピピッ,ピピピッ)がする。	「シートベルト警告」→ P. 5-21 運転者にシートベルトの着用を促しています。 シートベルトを着用するとブザーは止まります。

13

現象	処置
走行中,半ドア警告灯が点滅すると同時に音(ピー,ピー)が16回鳴る。	「半ドア警告灯」→P. 6-15 いずれかのドアまたはテールゲートが完全に閉められていません。 安全な場所に停車し,ドアおよびテールゲートを完全に閉めてください。
運転席ドアを開けたら音(ピーッ)がする。	「ヘッドライトオートカット機能(自動消灯)」→ P. 6-17 ライト類を消し忘れています。 しばらくするとライト類が自動的に消灯し,ブザーは止まります。 (ただし,ライトスイッチをいったん o (OFF)位置から 位置にするとライトは自動消灯せず,ドアを閉じるまでブザーは鳴り続けます。)
方向指示表示灯/非常点滅表示灯が点滅しているとき,ブザー音(ピッ)が鳴る。	「方向指示レバー」→ P. 6-20 「非常点滅灯スイッチ」→ P. 6-21 方向指示表示灯/非常点滅表示灯が点滅しています。 方向指示レバーを戻すか,非常点滅灯スイッチを OFF にすればブザーは止まります。
車を後退しようとしたら,断続的に音(ピーピー)がする。 (CVT車)	「セレクターレバーの位置・働き」→ P. 7-16 セレクターレバーがⓇに入っています。 後退後,セレクターレバーの位置を変えればブザーは止まります。
走行中,ブレーキを踏むとタイヤのブレーキ付近から金属摩擦音(キーキー)がする。	「ブレーキから金属摩擦音が聞こえたときは!」→ P. 13-38 ブレーキパッドが使用限度近くまで摩耗しています。 三菱自動車販売会社でブレーキパッドを点検してください。

13

こんなことでお困りのときは!

J01400301212

現象	処置
水たまりに入った後にブレーキの効きが悪い。	前後の車や道路状況に十分注意して低速で走行しながらブレーキの効きが回復するまで数回ブレーキペダルを軽く踏み,ブレーキを乾かしてください。 「雨天時や水たまりを走行するときは」→ P. 2-12
走行中にエンストした。	通常よりブレーキペダルを強く踏み,ハンドルを強く操作してください。 「走行中にエンストしたときは」→ P. 2-15
キーが回らない。	**LOCKからACCに回らない** ハンドルを軽く左右に動かしながらキーを回してください。 **ACCからLOCKに回らない** マニュアル車は ACC の位置でキーを押しながら,LOCKまで回してください。 CVT 車はセレクターレバーがⓅに入っているか確認してください。 「キーを抜くときは」→ P. 7-9
セレクターレバーがⓅから動かない。 (CVT車)	ブレーキペダルを踏んでからセレクターレバーを操作してください。 エンジンスイッチがONになっているか確認してください。 「セレクターレバーの動かし方」→ P. 7-13
雨の日,湿気の多い日などに窓が曇る。	外気導入になっているか確認してください。 エアコンを入れると効果的です。 「ウインドウガラスの曇り,霜を取りたいときは」 　マニュアルエアコン付き車→ P. 9-11 　オートエアコン付き車 → P. 9-22

現象	処置
パンクした。	1. あわてずに,ハンドルをしっかり持ち,安全な場所に車を停止します。 2. 応急用スペアタイヤ付き車は,スペアタイヤに交換します。 「タイヤ交換のしかた」→ P. 13-17 パンクタイヤ応急修理キット付き車は,応急修理をします。 「パンクタイヤ応急修理キット」→ P. 13-23
エンジンがかからない。 ライトが点灯しない,暗い。 ホーンが鳴らない,音が小さい。	バッテリー上がりが考えられます。 「バッテリー上がりのときは!」→ P. 13-29
水温計の針が「H」表示部に近づいていたり,エンジンの出力が急に低下する。 エンジンルームから蒸気が出ている。 H C AAZ002165	オーバーヒートが考えられます。 「オーバーヒートしたときは!」→ P. 13-32

現象	処置
タイヤがスリップして発進できない。 （ぬかるみ,雪道,凍結路などの発進時）	スリップしているタイヤの前後にある土や雪などを取り除きます。 ● 1. 毛布か布などがあるときは,それをスリップしているタイヤの前に差し入れて滑り止めにします。 2. ゆっくりとアクセルペダルを踏んで発進します。 ● 何も滑り止めにするものがないときは,前後進をくり返して車の反動を利用して脱出します。

⚠注意
● 車の反動を利用して脱出するときは,車の周囲に人がいないことを確認してから行ってください。 ● ぬかるみなどにはまったときは，むやみにタイヤを空転させないでください。タイヤがもぐり込み，かえって脱出しにくくなります。また，エンジンの高回転を続けるとオーバーヒートやトランスミッションの故障につながるおそれがあります。数回試して脱出できないときは，専門業者に依頼してください。

現象	処置
CVTが変速しない。 発進時の出足が鈍い。 （CVT車）	CVTに異常が発生し,安全装置が働いていると考えられます。 そのままお近くの三菱自動車販売会社まで運転し,点検を受けてください。

故障したときは！

J01400400450

故障して動けなくなったときは，同乗者または付近の人に応援を求め，安全な場所まで車を押して移動します。
このとき，シフトレバー（マニュアル車）またはセレクターレバー（CVT車）をⓃに入れてください。

踏切内で動けなくなったときは

踏切内で脱輪やエンストなどで，すぐに車を動かせないときは，すみやかに同乗者を避難させ，踏切の非常ボタンを押します。

⚠注意

- 電車が近づいているときや，緊急を要するときは，発炎筒で合図してください。

アドバイス

- マニュアル車，CVT 車とも，エンジンスイッチをSTARTの位置で保持しても，緊急避難的に車を動かすことはできません。

一般道路での故障表示

追突などの事故を防ぐため，車を路肩に寄せ，非常点滅灯を点滅させるか，停止表示板などで故障表示します。

高速道路，自動車専用道路での故障表示

高速道路や自動車専用道路では，車両後方に停止表示板を置くことが義務づけられています。
人は車内に残らず，路肩を歩いて安全な場所に避難してください。

アドバイス

- 停止表示板は標準装備されておりません。三菱自動車販売会社でお買い求めください。

修理の連絡先

別冊の「メンテナンスノート」をご覧ください。

13

発炎筒を使うときは！

J01400500220

発炎筒は，高速道路や踏切などで故障したときに使用します。
使用したときや期限切れのときは，三菱自動車販売会社でお買い求めください。
発炎筒は，グローブボックスの左下部に備えつけてあります。

⚠警告

- お子さまには，発炎筒をいじらせないでください。
- 人の顔や体に向けて絶対に使用しないでください。やけどをするおそれがあります。
- ガソリンなど燃えやすいものの近くでは使用しないでください。
  火災をまねくおそれがあります。
- トンネル内では使用しないでください。煙により視界が悪くなり，重大な事故につながるおそれがあります。非常点滅灯など他の方法を用いてください。

アドバイス

- 使い方は発炎筒に記載されています。あらかじめよく読んでおいてください。
- 発炎時間は約5分です。非常点滅灯など他の方法を併用してください。
  →「非常点滅灯スイッチ」P. 6-21
- 発炎筒には有効期限（発炎筒に記載）があります。

工具とジャッキ

J01400600449

⚠注意

- ジャッキは，タイヤ交換とタイヤチェーンの取り付け以外の目的には使用しないでください。
- 車両に搭載されているジャッキは，お客様のお車専用です。他の車両に使用したり，他の車両のジャッキをお客様のお車に使用しないでください。車両を損傷したり，思わぬ事故につながるおそれがあります。

アドバイス

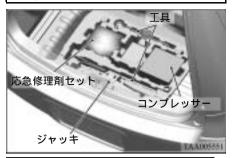
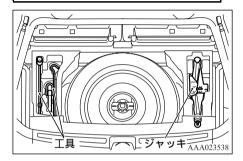
- 工具の種類，ジャッキの使い方は，万一のとき困らないようあらかじめ確認しておきましょう。

格納場所

J01405800130

ラゲッジルーム内のラゲッジフロアボード下に格納されています。

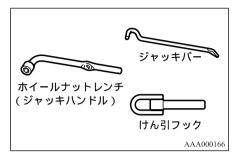
2WD車

4WD車（パンクタイヤ応急修理キット付き車）

4WD車（応急用スペアタイヤ付き車）

⚠注意

- 工具やジャッキを使用した後は，元の位置に確実に格納してください。
  室内などに放置すると，思わぬ事故につながるおそれがあります。

工具の種類

J01404300385

◆ 工具

◆ パンクタイヤ応急修理キット

タイプ別装備

*：シール剤の抜き取りに使用するホースで，お客様がパンク応急修理時に使用するものではありません。

ジャッキの脱着

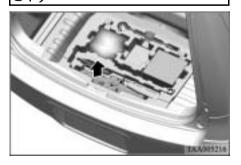
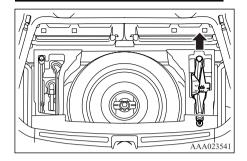
J01404200531

◆ 取り出すときは

1. ラゲッジフロアボードを持ち上げます。

2. ジャッキを指定の位置から取り出します。

2WD車

4WD車（パンクタイヤ応急修理キット付き車）

4WD車（応急用スペアタイヤ付き車）

◆ 格納するときは

1. ジャッキを縮めてから元の位置に戻します。
2. 2WD車は,ジャッキを伸ばして確実に固定します。
3. ラゲッジフロアボードを元の位置に戻します。

ジャッキアップのしかた

J01400701229

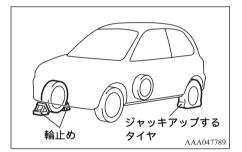
⚠警告

- ジャッキアップしたら車の下には絶対にもぐらないでください。万一ジャッキが外れたとき，重大な傷害を受けるおそれがあります。

⚠注意

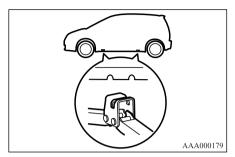
- ジャッキアップするときは安全のため，つぎのことを必ず守ってください。万一の場合，ジャッキが外れ思わぬ事故につながるおそれがあります。
  - エンジンをかけたままにしない。
  - 人や荷物を乗せたままにしない。
  - 地面が平坦で固い場所以外では使用しない。
  - 凍結した路面では使用しない。
  - ジャッキの上や下に物をはさまない。
  - ジャッキアップ中に車をゆすらない。
  - ジャッキアップしたタイヤを回転させない。
  - ジャッキアップしたまま放置しない。

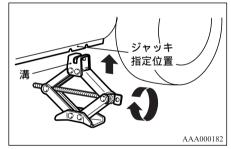
1. 交通のじゃまにならず，安全に作業できる平らで硬い場所に車を止めます。
2. 駐車ブレーキを確実にかけます。
3. マニュアル車はエンジンを止めて，シフトレバーをⓇに入れます。
   CVT 車はセレクターレバーをⓅに入れて，エンジンを止めます。
4. 必要に応じて非常点滅灯を点滅させ，人や荷物を車から降ろし，停止表示板を車両後方に置きます。
5. ジャッキアップするタイヤと対角の位置にあるタイヤの前後に輪止めをします。

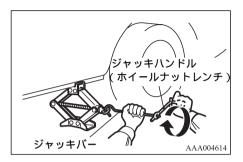
⚠注意

- ジャッキアップするときは，必ず輪止めを使用してください。
  万一，ジャッキアップ中に車両が動いたとき，ジャッキが外れ，思わぬ事故につながるおそれがあります。

アドバイス

- 輪止めは標準装備されておりません。三菱自動車販売会社でお買い求めください。
- 輪止めがないときは，タイヤを固定できる大きさの石などで代用できます。

6. 工具とジャッキを取り出します。
   →「工具とジャッキ」P. 13-10
7. ジャッキアップするタイヤに近い指定位置にジャッキをセットします。

8. ジャッキ頭部の溝がジャッキ指定位置にはまるまで，ジャッキを手で右に回して上げます。

⚠警告

- ジャッキ頭部の溝は，指定された位置以外にかけないでください。指定された位置以外にかけると，車体がへこんだり，ジャッキが倒れて，重大な傷害を受けるおそれがあります。

9. ジャッキハンドル（ホイールナットレンチ）の穴にジャッキバーを差し込み，タイヤが地面から少し浮くまで静かにジャッキハンドル（ホイールナットレンチ）を右に回します。

⚠注意

● 地面からタイヤが少し離れた高さ以上にジャッキアップしないでください。必要以上にジャッキアップすると，思わぬ事故につながるおそれがあります。

スペアタイヤ

タイプ別装備

J01400800861

応急用スペアタイヤ

タイヤがパンクしたとき，パンク修理するまでの応急用として，一時的に使用するタイヤです。できるだけ早く標準タイヤに交換してください。
応急用スペアタイヤは，図のように標準タイヤに比べて，直径がいくぶん小さくなっています。

⚠注意

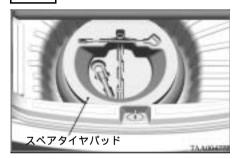
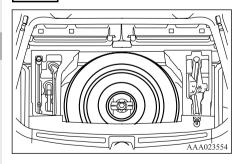
● 応急用スペアタイヤを装着したときは，100km/h 以下のスピードで走行してください。
● 応急用スペアタイヤは，標準タイヤに比べて直径が小さくなります。標準タイヤ装着時と同じ感覚で運転しないよう注意してください。特に車高が少し低くなりますので，突起物などを乗り越えるときは十分注意してください。
● 応急用スペアタイヤにはタイヤチェーンは装着できません。チェーン装着時に前輪がパンクしたときは，応急用スペアタイヤを後輪に装着し，外した後輪タイヤを前輪に取り付け，これにタイヤチェーンを装着してください。
● この応急用スペアタイヤとホイールはお客様のお車専用です。他のタイヤやホイールと組みあわせたり，お客様のお車以外に使用しないでください。

⚠注意

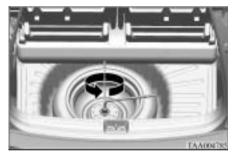
- 空気圧は，定期的に点検してください。空気圧が不足している状態で走行すると，思わぬ事故につながるおそれがあります。空気圧が不足しているときは，最寄りの三菱自動車販売会社またはガソリンスタンドまで控えめな速度で走行し，指定の空気圧に調整してください。
→「タイヤの空気圧」P. 14-8

格納場所

スペアタイヤは，ラゲッジルームに格納されています。

2WD車

4WD車

取り出すときは

1. ラゲッジフロアボードを持ち上げます。

2. 2WD 車は，スペアタイヤパッドを取り外します。
3. ホイールナットレンチを使用して，固定用ボルトを左に回して外し，タイヤを取り出します。

格納するときは

格納するときは，取り出すときと逆の手順で取り付けます。

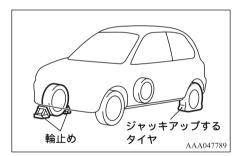
タイヤ交換のしかた

J01400901306

タイヤを取り外すときは

1. 交通のじゃまにならず，安全に作業できる平らで硬い場所に車を止めます。
2. 駐車ブレーキを確実にかけます。
3. マニュアル車はエンジンを止めて，シフトレバーをⓇに入れます。

   CVT 車はセレクターレバーをⓅに入れて，エンジンを止めます。
4. 必要に応じて非常点滅灯を点滅させ，人や荷物を車から降ろし，停止表示板を車両後方に置きます。
5. ジャッキアップするタイヤと対角の位置にあるタイヤの前後に輪止めをします。

⚠注意

- ジャッキアップするときは，必ず輪止めを使用してください。
  万一，ジャッキアップ中に車両が動いたとき，ジャッキが外れ，思わぬ事故につながるおそれがあります。

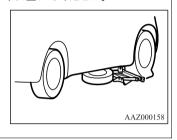
アドバイス

- 輪止めは標準装備されておりません。三菱自動車販売会社でお買い求めください。
- 輪止めがないときは，タイヤを固定できる大きさの石などで代用できます。

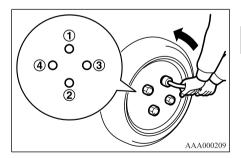
6. スペアタイヤ，工具およびジャッキを取り出します。

   →「工具とジャッキ」P. 13-10
   →「スペアタイヤ」P. 13-15

アドバイス

- 取り出したスペアタイヤは，万一ジャッキが外れたときのため，ジャッキ近くの車体の下に置いてください。

7. ホイールカバー付き車は，ホイールカバーを取り外します。

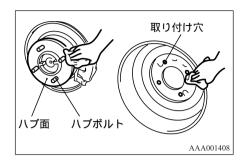
   →「ホイールカバー」P. 13-21
8. 交換するタイヤに近い指定箇所にジャッキをセットします。

   →「ジャッキアップのしかた」P. 13-13
9. ホイールナットレンチを使用して，ホイールナットを番号順に，手で回るくらいまで左に回してゆるめます。

10. タイヤが地面から少し浮くまで静かにジャッキアップします。
11. ホイールナットを外し，タイヤを取り外します。

アドバイス

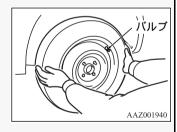
- タイヤを地面に置くときは，ホイール表面を上にして置いてください。
  下にして置くと，ホイールに傷がつくおそれがあります。

タイヤを取り付けるときは

1. ハブ面，ハブボルトおよびホイール取り付け穴の汚れをきれいに取り除きます。

2. タイヤを取り付けます。

警告

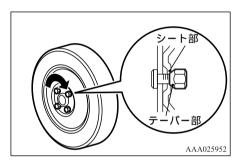
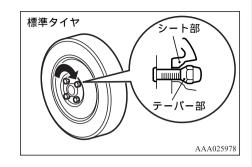
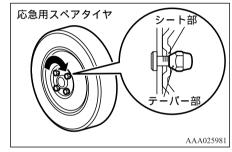
- タイヤを取り付けるときは，タイヤの裏表に注意し，バルブが車体外側を向くように取り付けてください。取り付けた際，バルブが見えなければ，タイヤが裏向きに取り付けられています。
  タイヤの裏表を間違えて取り付けると，車両に悪影響をおよぼし，思わぬ事故につながるおそれがあります。

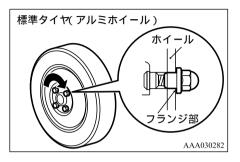
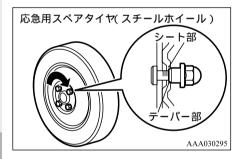
13

3. 手でホイールナットを右へ回して仮締めします。

14, 15インチホイール付き車

ホイールナットのテーパー部がホイール穴のシート部に軽く当たり，タイヤががたつかない程度までホイールナットを仮締めします。
応急用スペアタイヤを取り付けるときも同様に仮締めします。

● **スチールホイール付き車**

標準タイヤおよび応急用スペアタイヤ

● **アルミホイール付き車**

16インチホイール付き車

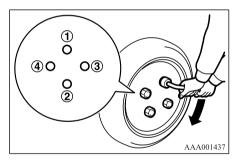
標準タイヤは，ホイールナットのフランジ部がホイールに当たり，タイヤががたつかない程度までホイールナットを仮締めします。

応急用スペアタイヤは，ホイールナットのテーパー部がホイール穴のシート部に軽く当たり，タイヤががたつかない程度までホイールナットを仮締めします。

⚠警告

- ハブボルト，ホイールナットには油やグリースを塗らないでください。
  必要以上に締め付けられてボルトが破損したり，ホイールが損傷するおそれがあります。また，ナットがゆるんで走行中にタイヤが外れるなど，思わぬ事故につながるおそれがあります。

アドバイス

- 16インチアルミホイールにはフランジナットが装着されていますが，フランジナットは応急用スペアタイヤにも使用できます。
- 16インチアルミホイールを4輪ともスチールホイールに変更するときは，テーパーナットを三菱自動車販売会社でお買い求めの上，ご使用ください。

4. タイヤが地面に接するまでジャッキを降ろし，ホイールナットレンチを使用して，ホイールナットを番号順に2~3回に分けて，徐々に締め付けます。最後の締め付けは，確実に行ってください。

締め付けトルク: 88~108N•m {9~11kgf•m}
（車載のホイールナットレンチの先端で350~420N {35~42kgf}の力）

⚠注意

- ホイールナットを締め付けるときは，ホイールナットレンチを足で踏んだり，パイプなどを使用して必要以上に締め付けないでください。

5. ホイールカバー付き車は，ホイールカバーを取り付けます。
   →「ホイールカバー」P. 13-21
6. タイヤの空気圧を点検します。
   →「タイヤの空気圧」P. 14-8

7. 工具とジャッキを元の位置に戻します。
   →「格納場所」P. 13-10
8. 交換したタイヤは，ラゲッジルームに格納します。

⚠注意

- タイヤ交換後，走行中にハンドルや車体に振動がでたときは，三菱自動車販売会社でタイヤバランスの点検を受けてください。
- 指定サイズ以外のタイヤを使用したり，種類の異なったタイヤを混ぜて使用することは安全走行に悪影響をおよぼしますので，避けてください。

アドバイス

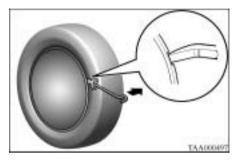
- タイヤ交換したときは，約 1,000km 走行後，再度ホイールナットを締め付けて，ゆるみがないことを点検してください。

ホイールカバー

タイプ別装備

J01402800445

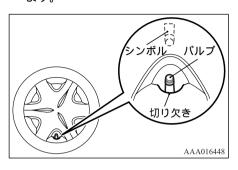
◆ 取り外すときは

1. ジャッキバーの先に布をかぶせて，ホイールカバーの切り欠き部へ深く差し込み，タイヤ側にこじてカバーを少し浮かせます。

2. カバーが浮いたら，ホイールカバーの周囲に沿ってジャッキバーの差し込み位置を変えながら，少しずつこじてカバーを取り外します。

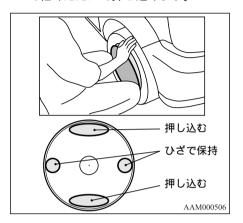
⚠注意

- ホイールカバーが外れるまでジャッキバーを使ってください。手でこじるとホイールカバーの端などでけがをするおそれがあります。

◆ 取り付けるときは

1. タイヤのバルブ（空気注入口）とホイールカバーの切り欠き部を合わせます。

アドバイス

- カバー裏側に切り欠き部の位置を表示するシンボルがあります。

2. ホイールカバーの下部をホイールに押し込みます。
3. ホイールカバーの両端を軽く押し込み，両ひざで保持します。
4. ホイールカバーの上部を外周に沿って軽くたたいて押し込みます。

アドバイス

- ホイールカバーを取り付ける前に，裏面のツメがリングに正しく組み付いていることを確認してください。正しく組み付いていないとホイールカバーが外れる原因となります。また，ツメが折れているときはホイールカバーを取り付けないでください。

パンクタイヤ応急修理キット

タイプ別装備　J01403800240

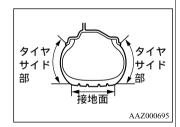
本キットはタイヤ接地部に刺さった釘やネジなどによる軽度のパンクを応急修理するものです。
キットの構成内容については，「工具とジャッキ：工具の種類」をお読みください。→P. 13-11

⚠注意

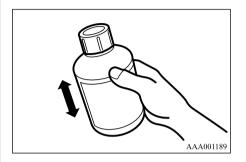
- 応急修理剤を飲用すると健康に害があります。もし誤って飲用した場合は，できるだけたくさんの水を飲み，ただちに医師の診察を受けてください。
- 応急修理剤がもし目に入ったり，皮膚に付いたりした場合は，水でよく洗い流してください。それでも異常を感じたときは，医師の診察を受けてください。
- 応急修理剤にお子さまが誤って手を触れないようご注意ください。
- 応急修理キットで応急修理を行うときは，車を地面が平らで安全な場所に止めてください。

アドバイス

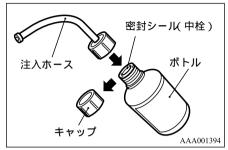
- つぎのような場合は，応急修理剤を使って修理することができません。
  三菱自動車販売会社または JAF などに連絡してください。
  - 応急修理剤の有効期限が切れているとき（有効期限はボトルのラベルに記載されています。）

  - タイヤが2本以上パンクしているとき
  - およそ 4mm 以上の切り傷や刺し傷によるパンクのとき
  - タイヤサイド部（接地面以外の部分）が損傷を受け，パンクしたとき

  - 空気がほとんど抜けた状態で走行したとき
  - タイヤがホイールの外側へ完全に外れているとき
  - ホイールが破損しているとき
- タイヤに刺さった釘やネジなどは，抜かずにそのまま応急処置をしてください。
- 応急修理剤が衣服などに付着すると，おちないおそれがあります。

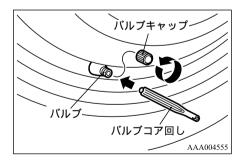
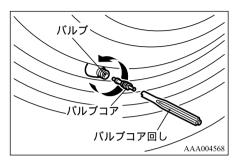
13

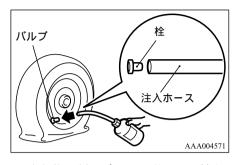
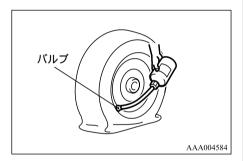
1. 交通のじゃまにならず，安全に作業できる場所に車を止め，パンクタイヤ応急修理キットを取り出します。
2. 応急修理剤ボトルとコンプレッサーを取り出し，応急修理剤のボトルをよく振ります。

アドバイス

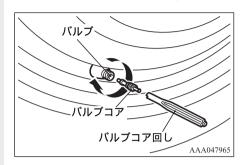
- 寒冷時（0°C以下）では，応急修理剤の粘度が高くなり注入しづらくなることがありますので，ボトルを振る前に車内などで温めてください。

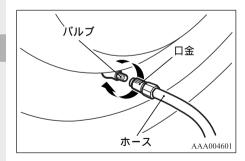
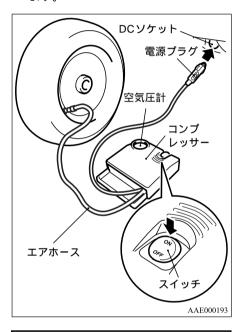
3. キャップを外して応急修理剤の密封シール（中栓）を外さずに注入ホースをボトルにねじ込みます。注入ホースをねじ込むと，密封シール（中栓）が破れ，シール液が注入できる状態になります。

⚠ 注意

- 注入ホースをねじ込んだ後，応急修理剤のボトルを振ると，修理剤が注入ホースから飛び出すおそれがあります。

4. タイヤバルブからバルブキャップを外し，ビニール袋に入っているバルブコア回しを図のように押しあてて，タイヤの空気を完全に抜きます。

5. バルブコア回しでバルブコアを反時計回りに回して取り外します。
取り外したバルブコアは，汚れないようにきれいな場所に保管します。

> **⚠ 注意**
> ● バルブコアを外すとき，タイヤに空気が残っているとバルブコアが飛び出し，傷害を受けるおそれがありますので，完全に空気が抜けていることを確認してから外してください。

6. 注入ホースの先端の栓を取り外し，注入ホースをバルブに差し込みます。

7. 応急修理剤のボトルを逆さまに持ち，手でボトルを何回も圧迫し，ボトル内のすべてのシール液をタイヤ内に注入します。

8. 注入後，注入ホースをバルブから引き抜き，バルブコアをバルブに取り付け，バルブコア回しでしっかりと時計方向にねじ込んでください。

アドバイス

- シール液は，タイヤバルブがタイヤと地面の接地部分近く（最低部付近）以外の位置で注入してください。バルブが接地部分近くにあると，シール液が入りにくい場合があります。
- バルブコア回しでバルブコアを外すときおよびねじ込むときは，手で回してください。工具などを使って回すと，バルブコア回しが破損するおそれがあります。

9. コンプレッサー側面のフタを開けてホースを取り出し，タイヤバルブに確実に取り付けます。

10. 空気圧計を上にして，コンプレッサーを置きます。
    コンプレッサーの電源コードを取り出し，プラグを DC ソケットに差し込み，エンジンスイッチを ON または ACC にします。
    コンプレッサーのスイッチを ON にしてタイヤを指定の空気圧まで昇圧します。

注意

- 備え付けのコンプレッサーは，お客様のお車専用です。他の車には使用しないでください。
- 備え付けのコンプレッサーは，自動車用タイヤの空気充填用です。自動車用タイヤの空気充填や空気圧チェック以外での使用はしないでください。
- コンプレッサーの電源は，自動車用12V専用です。他の電源には接続しないでください。
- コンプレッサーには防水加工をしておりません。降雨時などは，水がかからないようにしてご使用ください。

⚠注意

- コンプレッサーは，砂埃などを吸い込むと，故障の原因になります。砂地など砂埃の多い場所に直接置いて使用しないでください。
- コンプレッサーの分解，改造などは絶対にしないでください。また，空気圧計などに衝撃を与えないでください。故障の原因となります。

11. コンプレッサーの空気圧計を使用して，空気圧を点検，調整します。
空気を入れ過ぎたときは，エアホースの口金をゆるめて空気を抜きます。
→「タイヤの空気圧」P. 14-8
タイヤがホイール内側に外れている場合は，空気が漏れないように手でタイヤ外周をホイールに向けて押すなどしてホイールとタイヤの隙間をなくすようにしてコンプレッサーを作動させてください。（隙間がなくなれば空気圧が上がります。）

⚠注意

- タイヤがふくらむとき，タイヤとホイールの間に指などはさまないようにしてください。
- 使用中，コンプレッサーの表面が熱くなります。コンプレッサーは10分以上連続して作動させないでください。故障につながるおそれがあります。
- コンプレッサーの運転中に動作が鈍くなったり，本体が熱くなった場合は，オーバーヒート状態になっています。このような場合はただちにスイッチをOFFにし，30分以上放置してください。

アドバイス

- 10分以内に指定の空気圧に昇圧しないときは，タイヤがひどい損傷を受けているおそれがあり，応急修理剤を使って応急修理することができません。三菱自動車販売会社またはJAFなどに連絡してください。JAFの営業所は別冊の「メンテナンスノート」をご覧ください。

12. コンプレッサーのスイッチを OFF にしてから電源コードのプラグを DC ソケットから抜きます。

アドバイス

- 本応急修理キットでタイヤに修理剤および空気を注入するだけではパンク穴はふさがりません。応急修理が完了するまで（手順 15. まで）は，パンク穴より空気が漏れます。

13. 指定の空気圧まで昇圧できたら，応急修理キットを車に搭載してただちに走行してください。
走行は法定速度を守り，急ブレーキ，急ハンドル，急なアクセル操作を避けて慎重に運転してください。

⚠注意

- 高速道路を走行する際は，必ず 80km/h 以下の速度で走行してください。
80km/h を超えて走行すると，車体が振動することがあります。
- 走行中異常を感じたときは，運転を中止して三菱自動車販売会社または JAF などに連絡してください。
応急修理完了までに空気圧が低下して安全性を損なうおそれがあります。

14. 10 分間または約 5km 走行後，コンプレッサーの空気圧計でタイヤの空気圧を点検します。
タイヤの空気圧が不足している場合は，もう一度指定の空気圧まで昇圧し，走行します。

⚠注意

- 空気圧が最少空気圧 (130 kPa {1.3kgf/cm ^{2}}) より低下しているときは，応急修理剤での応急修理はできません。
運転を中止して三菱自動車販売会社またはJAFなどに連絡してください。

15. 10 分間もしくは約 5km 走行した後に再びタイヤの空気圧を点検します。
→「タイヤの空気圧」P. 14-8
空気圧の低下がなければ，応急修理完了です。

アドバイス

- タイヤの空気圧が指定空気圧より低下していたら運転を中止して三菱自動車販売会社または JAF などに連絡してください。
- 寒冷時（0°C以下）では修理完了までの時間，走行距離が長くなる場合があるため，2度目の空気圧の昇圧，走行後でもタイヤ空気圧が指定空気圧より低下することがあります。
そのような場合は，もう一度指定空気圧まで昇圧しさらに10分または約5km走行した後でもう一度空気圧を点検してください。それでも指定空気圧より低下する場合はこれ以上の運転を中止し三菱自動車販売会社または JAF などに連絡してください。

16. 速度制限シールをハンドルのスリーダイヤマーク上方に貼り，すみやかに三菱自動車販売会社まで慎重に運転し，タイヤの修理，交換を行ってください。

⚠注意

- ハンドルのパッドの指定位置以外にシールを貼らないでください。SRS エアバッグが正常に作動しなくなるおそれがあります。
- 必ず空気圧のチェックを行い，応急修理の完了を確認してください。

アドバイス

- 応急修理剤の空ボトルは，三菱自動車販売会社で新しい応急修理剤をお買い求めの際にお渡しください。
- パンク修理剤を使用したタイヤは，新しいタイヤに交換することをおすすめします。修理・再使用する場合は三菱自動車販売会社にご相談ください。なお，応急修理後の恒久修理のとき，パンク穴を発見できず恒久修理できないことがあります。
- ホイールは，付着したシール液を拭き取り，バルブを新しいものに取り替えれば再使用できます。

バッテリー上がりのときは！

J01401001030

つぎのような状態をバッテリー上がりといいます。
- スターターが回らない。または，回っても回転が弱くてエンジンがかからない。
- ライトが点灯しない。または，点灯してもいつもより暗い。
- ホーンが鳴らない。または，鳴ってもいつもより音が小さい。

ブースターケーブル（別売）を使用し，他車のバッテリーを電源として，エンジンをかけることができます。

⚠警告

- 救援車を依頼し，ブースターケーブルを使用してエンジンをかけるときは，取扱説明書にしたがって正しい手順で作業してください。取り扱いを誤ると，引火爆発や車両損傷のおそれがあります。

1. ブースターケーブルが接続でき，かつ自車と接触しない位置に救援車を止めます。

⚠注意

- 救援車は必ず12Vで，自車と同容量以上のバッテリーを装着している車を使用してください。

2. ライトやエアコンなど電装品のスイッチを切ります。
3. 救援車と自車の駐車ブレーキを確実にかけ，マニュアル車はシフトレバーをⓃ，CVT車，オートマチック車はセレクターレバーをⓅに入れ，エンジンスイッチをLOCKまで回してエンジンを止めます。

⚠警告

- ブースターケーブルの接続時は，救援車のエンジンも止めてください。ケーブルや衣服などがファンやドライブベルトに巻き込まれて，けがをするおそれがあります。
- 冷却ファンはエンジン始動後，冷却水の温度により回転，停止をくり返します。エンジン運転中は，ファンに手を近づけないでください。

4. バッテリー液量を確認します。

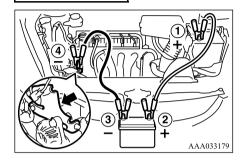
⚠警告

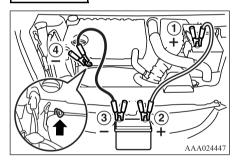
- バッテリー液量が下限（LOWER LEVEL）以下のままで使用しないでください。バッテリーの劣化を早めたり，発熱や爆発するおそれがあります。

アドバイス

- バッテリー液の補給は別冊の「メンテナンスノート」をお読みください。

5. ブースターケーブルを図の番号順に確実に接続します。
   ①自車のバッテリーの＋端子
   ②救援車のバッテリーの＋端子
   ③救援車のバッテリーの－端子
   ④図で指示の箇所（アースをとる）

除く，ターボ付き車

ターボ付き車

⚠警告

- 接続する順番は必ず①→②→③→④の順番で行ってください。
- ④の接続は必ずイラスト矢印の位置にしてください。バッテリーの－端子に直接つなぐと，バッテリーから発生する可燃性ガスに引火爆発するおそれがあります。
- ブースターケーブルを接続するときは，＋と－端子を接触させないでください。火花が発生し，バッテリーが爆発するおそれがあります。

⚠注意

● ブースターケーブルのクリップは，確実に接続してください。エンジン始動時の振動で外れると，ケーブルがファンやドライブベルトに巻き込まれ，思わぬ事故につながるおそれがあります。

アドバイス

● バッテリーの＋端子は，カバーを外してからブースターケーブルを接続してください。
● ブースターケーブルは，バッテリーの容量に適したものを使用してください。ケーブル焼損の原因になることがあります。
● ブースターケーブルに破損および腐食などの異常がないことを点検してから使用してください。

6. 接続した後，救援車のエンジンをかけ，エンジン回転数を少し上げます。
7. 自車のエンジンをかけます。
8. エンジンがかかったら，ブースターケーブルを接続したときと逆の手順で取り外します。
9. 最寄りのガソリンスタンドや三菱自動車販売会社でバッテリーの点検を受けてください。

⚠警告

● バッテリーを車両に搭載したままでの充電は，引火爆発や車両損傷の原因になることがあります。やむを得ず車両に搭載したままで充電するときは，バッテリーに接続されている車両側の－端子を取り外してください。
● 充電中はバッテリーに火気を近づけないでください。バッテリーからは可燃性ガスが発生しており，爆発するおそれがあります。
● 周囲の囲まれた狭い場所でバッテリーを充電するときは，換気を十分に行ってください。
● 充電するときは，すべてのキャップを外してください。

⚠警告

● バッテリー液は希硫酸です。皮膚についたり，目に入るとやけどや失明の原因になります。すぐに多量の水で洗い，速やかに専門医の治療を受けてください。

アドバイス

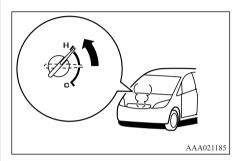
● CVT 車はマニュアル車と構造が異なるため，押しがけやけん引によりエンジンをかけることはできません。
● 充電が不十分のまま車を発進させると，エンジンの回転むらが生じ，ABS 警告灯が点灯することがあります。
→「走行中に警告灯が点灯したときは」P. 7-27

オーバーヒートしたときは！

J01401101099

つぎのような状態をオーバーヒートといいます。

● 水温計の指針が「H」表示部に近づいたり，エンジンの出力が急に低下する。
● エンジンルームから蒸気が出ている。

AAA021185

1. 車を安全な場所に止めます。
2. エンジンルームから蒸気が出ていないかどうかを確認します。

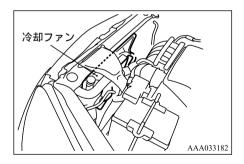
   [蒸気が出ていないとき]
   エンジンをかけたままでエンジンフード（ボンネット）を開け，風通しをよくします。

   [蒸気が出ているとき]
   エンジンを止め，蒸気が出なくなったら，風通しをよくするためにエンジンフード（ボンネット）を開け，エンジンをかけます。

⚠警告

● エンジンルームから蒸気が出ているときは，エンジンフード（ボンネット）を開けないでください。蒸気や熱湯が噴き出し，やけどをするおそれがあります。蒸気が出ていないときでも，熱湯が噴き出していたり，高温になっている部分がありますので，エンジンフード（ボンネット）を開けるときは注意してください。

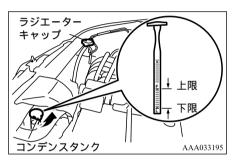
3. 冷却ファンが作動していることを確認してください。

AAA033182

⚠警告

● 冷却ファンに，手や衣服などを巻き込まれないように注意してください。

アドバイス

- 冷却ファンが作動していないときは，エンジンを止めて自然冷却します。その後，すみやかに三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

4. 水温計の指針が下がってきたら，エンジンを止めます。
5. エンジンが十分冷えてから，コンデンスタンクのキャップを開け，レベルゲージで冷却水の有無を点検します。

⚠警告

- 通常はラジエーターキャップを外さないでください。
  冷却水には圧力がかかっているため，冷却水の温度が高いときにキャップを外すと，蒸気や熱湯が噴き出し，やけどをするおそれがあります。

アドバイス

- 冷却水の補給は別冊の「メンテナンスノート」をお読みください。

けん引

J01401200703

けん引はできるだけ専門業者に依頼してください。

つぎの場合は，三菱自動車販売会社にご連絡ください。

- エンジンが回っているのに車が動かない。または異音がする。
- 下まわりを点検し，オイルなどが漏れている。

また，車輪が溝などに落ちたときは無理にけん引せず，三菱自動車販売会社または専門業者に依頼してください。

レッカー車に搬送してもらうとき

⚠注意

- 駆動系部品が故障したと思われるとき（車輪が動かない，異音がするなど）は，必ず駆動輪（前輪）を持ち上げてけん引してください。
- 2WDのCVT車は必ず前輪または4輪を持ち上げて搬送してください。
  前輪を接地したままでけん引を行うと，車両が傾斜することによってオイル切れを起こし，トランスミッションが故障するおそれがあります。
- 4WD 車は必ず 4 輪を持ち上げてレッカー車で搬送してください。前輪または後輪だけを持ち上げたけん引を行うと，駆動系部品が損傷したり，車がレッカー（台車）から飛び出すおそれがあります。
- アクティブスタビリティコントロール(ASC) 付き車は，エンジンスイッチを ON にして前輪または後輪だけを持ち上げたけん引を行うと，ASC が作動し思わぬ事故につながるおそれがあります。前輪を持ち上げてけん引するときはエンジンスイッチを LOCK またはACC に，後輪を持ち上げてけん引するときはエンジンスイッチをACCにしてください。

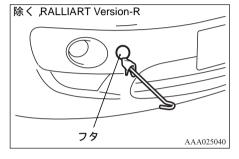
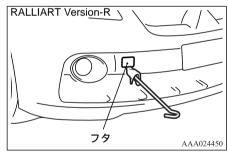
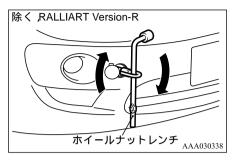
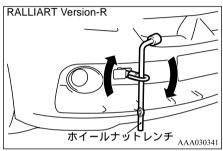
アドバイス

- レッカー車による搬送は，別冊の「メンテナンスノート」を見て三菱自動車販売会社へ依頼してください。

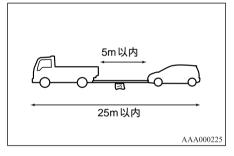
やむを得ず他車にロープでけん引してもらうときは，つぎの要領で行ってください。

他車にけん引してもらうとき

J01403901147

1. けん引フック，ホイールナットレンチ，ジャッキバーを取り出します。
   →「工具とジャッキ」P. 13-10
2. ジャッキバーの先に布をかぶせて，フロントバンパーの運転席側にあるフタを取り外します。

3. けん引フックをホイールナットレンチを使用して確実に取り付けます。

アドバイス

- けん引ロープは，三菱自動車販売会社でお買い求めください。
- けん引フックにロープをかけるときは，車体の破損・変形を防ぐためにつぎのことに気をつけてください。
  - けん引フックは確実に取り付けてください。
  - けん引フック以外のところにロープをかけないでください。
  - けん引時にけん引フックに大きな衝撃が加わるような運転をしないでください。

4. けん引ロープをけん引フックにかけます。
5. けん引ロープには，30cm 平方（タテ30cm×ヨコ30cm）以上の白い布を必ずつけてください。

6. エンジンはできるだけかけておいてください。
   エンジンがかからないときは，エンジンスイッチを ACC または ON にします。

注意

- エンジンが止まっているとブレーキの効きが非常に悪くなります。またハンドル操作が非常に重くなります。
- エンジンスイッチが LOCK 位置にあると，ハンドルがロックされハンドル操作ができなくなり，事故につながるおそれがあります。

7. シフトレバー（マニュアル車）またはセレクターレバー（CVT車）をⓃに入れます。
8. 後続車に注意をうながすため，けん引される車は非常点滅灯を点滅させます。
→「非常点滅灯スイッチ」P. 6-21

⚠警告

- けん引される車のエアコンは，内気循環に切り換えてください。排気ガスが車内に侵入して，ガス中毒になるおそれがあります。
- 急ブレーキ，急発進，急旋回など，けん引フックやけん引ロープに大きな衝撃が加わるような運転は避けてください。けん引フックやけん引ロープが破損するおそれがあります。万一の場合，その破片が周囲の人などにあたり重大な傷害をおよぼすおそれがあります。
- 長い下り坂ではブレーキが過熱して，効きが悪くなるおそれがあります。レッカー車に搬送してもらってください。

⚠注意

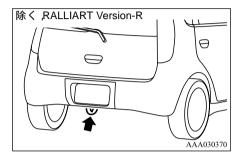
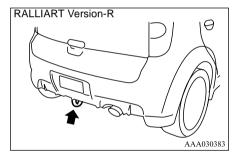
- けん引される車は，けん引車のブレーキランプに注意して，常にけん引ロープをたるませないようにしてください。
- CVT 車をけん引するときの速度は 30 km/h 以下，けん引する距離は 30km 以内にしてください。この速度，距離を超えるとトランスミッションの故障の原因になります。

9. けん引が終わったら，ホイールナットレンチでけん引フックを外し，指定位置に格納します。
→「工具とジャッキ」P. 13-10
10. ツメを車体側の切り欠きに合わせてバンパーのフタを確実に取り付けます。

他車のけん引

J01404100325

2WD車

けん引ロープは必ずけん引フックにかけてください。その他は「他車にけん引してもらうとき」と同じ要領で行ってください。

アドバイス

- けん引フック以外にけん引ロープをかけると，車体が破損することがあります。
- 自車より重い車をけん引しないでください。
  車両重量については車載の「自動車検査証」をご参照ください。

4WD車

アドバイス

- この車で他車をけん引することはできません。

13

ブレーキから金属摩擦音が聞こえたときは！

J01401300182

ディスクブレーキには，ブレーキパッドの摩耗量が使用限度近くになると走行中に金属摩擦音（キーキー）を発生して警告する装置が設けてあります。

アドバイス

- 金属摩擦音が聞こえたときは，三菱自動車販売会社でブレーキパッドを点検してください。

ヒューズが切れたときは！

J01401500995

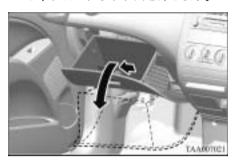
各種のランプが点灯しないときや，電気系統の装備が作動しないときは，ヒューズが切れているときがありますのでヒューズを点検し，切れているときは交換してください。

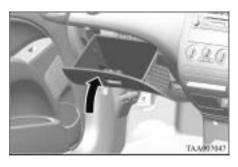
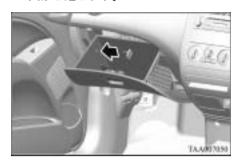
ヒューズボックスの位置

J01407500072

1. グローブボックスを開けます。

2. グローブボックスを少し持ち上げます。
3. ボックス左の外側よりクリップを車体後方向に押して外します。

4. グローブボックス全体を左側に動かし，グローブボックスを外します。

5. グローブボックスの奥にヒューズボックスがあります。
ヒューズ外しは，グローブボックスの裏側にあります。

6. グローブボックスを戻すときは，グローブボックスをイラストの位置まで持ち上げます。

7. クリップをグローブボックス内側の穴から通します。

8. グローブボックス内側よりクリップを車体前方向にスライドさせ，クリップを固定します。

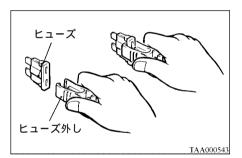
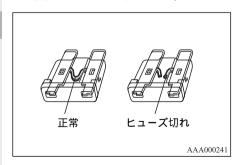
ヒューズの交換

J01407600086

1. エンジンスイッチをLOCKにします。
2. 該当する装備を受け持つヒューズおよび容量を確認します。
   →「各ヒューズの受け持つ装備および容量」P. 13-41

アドバイス

- 各ヒューズの受け持つ装備および容量は，グローブボックスの裏側に記載してあります。

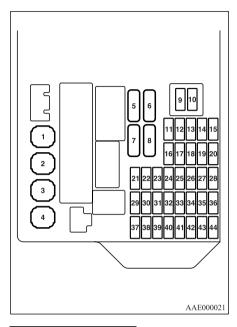
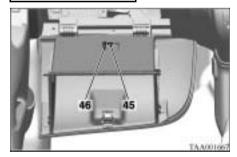
3. ヒューズ外しを使用してヒューズを引き抜きます。ヒューズ外しは，グローブボックスの裏側にあります。

4. ヒューズを点検し，切れているときは予備ヒューズと交換します。

⚠警告

- 取り付けてあるヒューズと同じ容量のヒューズを使用してください。針金，銀紙などを使用すると，電線の過熱により火災のおそれがあります。

アドバイス

- ヒューズを交換しても再び切れるときは，三菱自動車販売会社で点検を受けてください。
- ヒューズが正常で該当する装備が作動しないときは，他の原因が考えられます。すみやかに三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

各ヒューズの受け持つ装備および容量

J01403700702

グローブボックス裏側

NO.	表示	装備	容量
1		イグニッションスイッチ	40A
2		パワーウインドウ	40A
3		ラジエーターファン	40A

NO.	表示	装備	容量
4	—	—	—
5		デフォッガー	30A
6		テールゲート	30A
7	—	—	—
8		ヒーター	30A
9		ラジオ	10A
10		室内灯（ルームランプ）	10A
11		ヒーテッドドアミラー	7.5A
12		ECU	7.5A
13		フロントワイパー	20A
14		尾灯（テールランプ）（右）	7.5A
15		尾灯（テールランプ）（左）	7.5A
16		エンジン	20A
17		フューエルポンプ	15A
18		ホーン	10A
19		ヘッドライト（上向き）（左）	10A
20		ヘッドライト（上向き）（右）	10A
21	—	—	—
22	—	—	—
23		ドアミラー	7.5A
24		エアコン	10A
25		DCソケット	15A
26		リヤワイパー	15A
27		サンルーフ	20A
28		アクセサリーソケット	15A

NO.	表示	装備	容量
29		ホーン（セキュリティーアラーム）	10A
30		ACパワーサプライ	15A
31		非常点滅灯	10A
32		オーディオ	10A
33		ドアロック	15A
34		フロントフォグランプ	15A
35		ヘッドライト（下向き）（左）	15A
36		ヘッドライト（下向き）（右）	15A
37		後退灯（バックアップライト）	7.5A
38		エンジンECU	7.5A
39		イグニッションコイル	10A
40		メーター	7.5A
41		リレー	7.5A
42	STOP	制動灯（ブレーキランプ）	15A
43		ECU	10A
44	A/T	オートマチックトランスミッション	20A
45	—	スペアヒューズ	20A
46	—	スペアヒューズ	30A

- 装備仕様の違いにより，ヒューズはない場合もあります。
- 上記の表は，各ヒューズの受け持つ主な装備を表しています。

7.5A，10A，15Aのスペアヒューズはありません。ヒューズが切れたときは，同容量のつぎのヒューズで代用してください。

7.5A: ドアミラー

10A: ラジオ

15A:DCソケット

なお，ヒューズを代用したときは，なるべく早く新しいヒューズを補給してください。

13

バルブ（電球）が切れたときは！

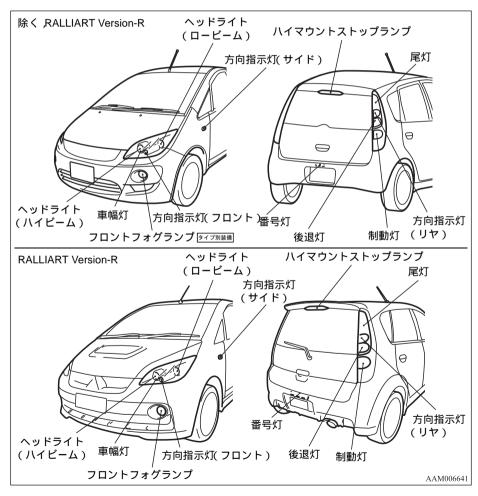
J01401600707

ヒューズが切れていないのにランプが点灯しないときは，バルブ（電球）が切れているときがあります。
バルブ（電球）を点検し，切れているときは交換してください。

バルブ（電球）のワット数

J01406200056

◆ 車外照明

J01406800182

ヘッドライト	除く，ディスチャージヘッドライト付き車	ハイビーム［ハロゲン球］	55W (H1)
		ロービーム［ハロゲン球］	55W (H7)
	ディスチャージヘッドライト付き車	ハイビーム［ハロゲン球］	55W (H1)
		ロービーム［ディスチャージ球］	35W (D2S)
車幅灯［ヘッドライト内蔵］			5W (W5W)
フロントフォグランプ タイプ別装備			55W (H11)
制動灯			21W (W21W)
尾灯			5W (W5W)
後退灯			21W (W21W)
番号灯			5W (W5W)
方向指示灯	フロント		21W (W21W)
	サイド	除く，RALLIART Version-R	5W (W5W)
		RALLIART Version-R	5W (WY5W)
	リヤ		21W (W21W)
ハイマウントストップランプ			5W (W5W)

● (　)内はバルブ（電球）の型式を示しています。

⚠注意

● ディスチャージヘッドライトの修理・バルブ交換の際は必ず三菱自動車販売会社にご相談ください。
電源回路，バルブおよび電極部分には高電圧が発生しており，感電するおそれがあります。

13

◆ 車内照明

J01406300028

マップ&ルームランプ	8W

バルブ（電球）の交換

J01401700564

ここではおもなバルブ（電球）の交換方法を記載しています。記載されていないバルブの交換については，三菱自動車販売会社にご相談ください。

1. 該当するランプのスイッチを OFF にして，エンジンスイッチをLOCKにします。
2. 該当するランプのワット数を確認します。
→「バルブ（電球）のワット数」P. 13-43

⚠注意

- 消灯直後はバルブの表面が高温になっているため，やけどをするおそれがあります。
  バルブの表面が十分冷えてから交換してください。

アドバイス

- バルブを交換するときは，同じワット(W)数，同じバルブ色のものを使用してください。
- 新しく交換するバルブの表面に触れないでください。
  油などが付着すると，点灯したときの熱で蒸発して，レンズ内側が曇ることがあります。
  バルブの表面に触れたときは，乾いた柔らかい布で油をふき取ってください。
- ランプ本体やレンズを外すときは，車体を傷つけないよう十分注意してください。
- バルブを交換した後は，ランプが正しく点灯するか確認してください。
- 雨の日や洗車後などに，レンズ内側が曇ることがあります。
  これは湿気が多い日などに窓ガラスが曇るのと同様の現象で，機能上の問題はありません。
  ランプを点灯すると熱で曇りはとれます。
  ただし，ランプ内に水がたまっているときは，三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

◆ ヘッドライト（ハイビーム）

J01401901026

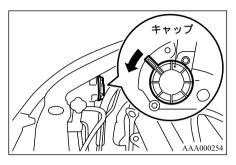
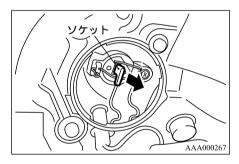
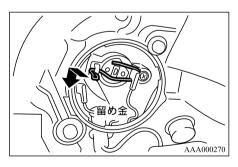
1. キャップを反時計回りに回して外します。

AAA000254

2. バルブからソケットを引き抜きます。

AAA000267

3. 留め金を外します。

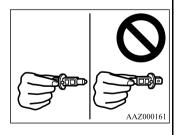
AAA000270

4. 留め金を矢印方向に引き起こし，バルブを引き抜きます。

AAA000283

5. 取り付けるときは，取り外したときと逆の手順で行います。

⚠注意

- ハロゲンバルブは，バルブ内の圧力が高いため，落としたり，物をぶつけたり，傷をつけると破損して飛び散るおそれがありますので十分注意してください。
- ハロゲンバルブの表面に触れないでください。
  点灯中はバルブの表面が高温になるため，油などが付着すると，点灯したときの熱で破損するおそれがあります。
  バルブの表面に触れたときは，ガーゼなどの柔らかい布に中性洗剤の 3% 水溶液を含ませて，油をふき取ってください。

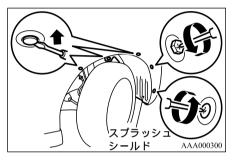
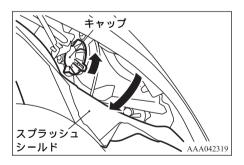
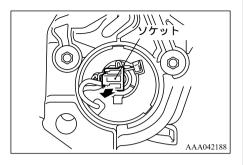
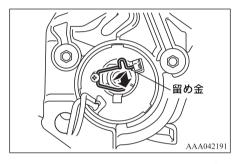
AAZ000161

アドバイス

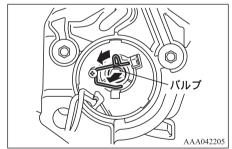
- バルブ交換後は，キャップを確実に取り付けてください。

◆ ヘッドライト（ロービーム）

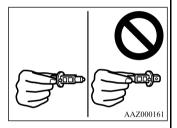
J01401901039

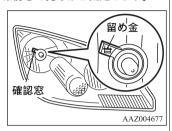
除く，ディスチャージヘッドライト付き車

1. 交換する側と反対にハンドルをいっぱいに切ります。
2. ドライバーなどで，スプラッシュシールドを固定しているクリップ 3 箇所，ネジ2箇所を外します。

3. スプラッシュシールドを矢印の方向へ押し下げ，キャップを反時計回りに回して外します。

4. ソケットを引き抜きます。

5. 留め金を外します。

6. 留め金を矢印方向に引き起こし，バルブを引き抜きます。

13

7. 取り付けるときは，取り外したときと逆の手順で行います。

⚠注意

- ハロゲンバルブは，バルブ内の圧力が高いため，落としたり，物をぶつけたり，傷をつけると破損して飛び散るおそれがありますので十分注意してください。
- ハロゲンバルブの表面に触れないでください。
  点灯中はバルブの表面が高温になるため，油などが付着すると，点灯したときの熱で破損するおそれがあります。
  バルブの表面に触れたときは，ガーゼなどの柔らかい布に中性洗剤の 3% 水溶液を含ませて，油をふき取ってください。

アドバイス

- バルブを取り付けるときは，留め金の状態を，確認窓で見ながら固定します。

- バルブ交換後は，キャップを確実に取り付けてください。

◆ ヘッドライト（ロービーム）

J01401900377

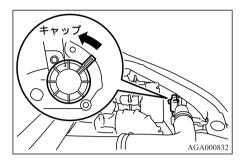
ディスチャージヘッドライト付き車

⚠注意

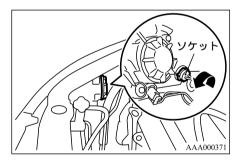
- ディスチャージヘッドライトのバルブ交換の際は必ず三菱自動車販売会社にご相談ください。
  電源回路，バルブおよび電極部分には高電圧が発生しており，感電するおそれがあります。

◆ 車幅灯

J01402000623

1. 助手席のバルブ交換をする場合は，作業のスペースを確保するため，キャップを反時計回りに回して外します。

アドバイス

- 運転席側のバルブ交換をする場合は，キャップを外す必要はありません。

2. ソケットを反時計回りに回して外します。

3. ソケットからバルブを引き抜きます。

4. 取り付けるときは，取り外したときと逆の手順で行います。

アドバイス

- バルブ交換後は，キャップを確実に取り付けてください。

◆ 方向指示灯（フロント）

J01402100392

1. 助手席のバルブ交換をする場合は，作業のスペースを確保するため，キャップを反時計回りに回して外します。

AGA000832

アドバイス

● 運転席側のバルブ交換をする場合は，キャップを外す必要はありません。

2. ソケットを反時計回りに回して外します。

AAA000371

3. ソケットからバルブを引き抜きます。

AAA000384

4. 取り付けるときは，取り外したときと逆の手順で行います。

アドバイス

● バルブ交換後は，キャップを確実に取り付けてください。

◆ 方向指示灯（サイド）

J01402200335

1. 先端に布をかぶせたマイナスドライバーなどを差し込んで，ランプ本体をこじて外します。

AAA000397

2. ソケットを反時計回りに回して外します。

AAA000401

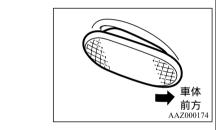
3. ソケットからバルブを引き抜きます。

AAA000414

4. 取り付けるときは，取り外したときと逆の手順で行います。

アドバイス

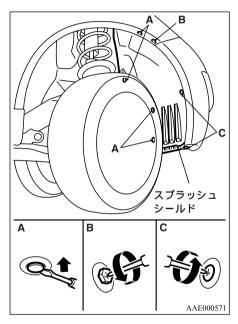
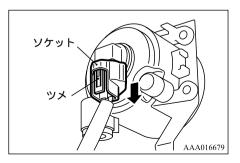
- ランプ本体を取り付けるときは，車体前方側より先に取り付けます。

AAZ000174

◆フロントフォグランプ

タイプ別装備

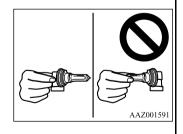
J01403200622

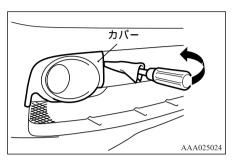
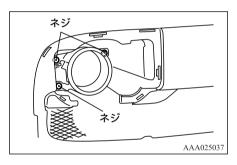
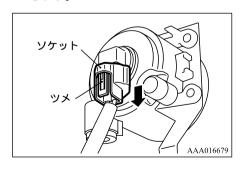
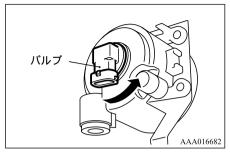
除く，RALLIART Version-R

1. 交換する側と反対にハンドルをいっぱいに切ります。
2. ドライバーなどでクリップ(A) 4箇所，ネジ (B, C) 3 箇所を外し，スプラッシュシールドをめくります。

3. ツメを押しながら，ソケットを引き抜きます。

4. バルブを反時計回りに回して外します。

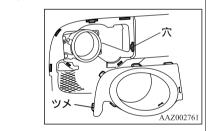
5. 取り付けるときは，取り外したときと逆の手順で行います。

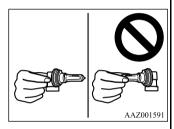
⚠注意

- ハロゲンバルブは，バルブ内の圧力が高いため，落としたり，物をぶつけたり，傷をつけると破損して飛び散るおそれがありますので十分注意してください。
- ハロゲンバルブの表面に触れないでください。
  点灯中はバルブの表面が高温になるため，油などが付着すると，点灯したときの熱で破損するおそれがあります。
  バルブの表面に触れたときは，ガーゼなどの柔らかい布に中性洗剤の 3% 水溶液を含ませて，油をふき取ってください。

RALLIART Version-R

1. 先端に布をかぶせたマイナスドライバーなどを差し込んで，カバーをこじて外します。

2. ネジ（3 箇所）を外し，ランプ本体を取り外します。

3. ツメを押しながら，ソケットを引き抜きます。

4. バルブを反時計回りに回して外します。

5. 取り付けるときは，取り外したときと逆の手順で行います。

アドバイス

- カバーを取り付けるときは，ツメ（7 箇所）を車体側の穴に合わせて取り付けます。

13

> **⚠ 注意**
>
> - ハロゲンバルブは，バルブ内の圧力が高いため，落としたり，物をぶつけたり，傷をつけると破損して飛び散るおそれがありますので十分注意してください。
> - ハロゲンバルブの表面に触れないでください。
>   点灯中はバルブの表面が高温になるため，油などが付着すると，点灯したときの熱で破損するおそれがあります。
>   バルブの表面に触れたときは，ガーゼなどの柔らかい布に中性洗剤の 3% 水溶液を含ませて，油をふき取ってください。
>
>
> AAZ001591

◆ リヤコンビネーションランプ

J01403000561

取り外すときは

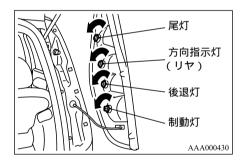
1. ネジ（3 箇所）を外し，ランプ本体を取り外します。

AAA017285

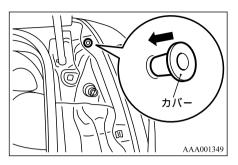
2. ソケットを反時計回りに回して外します。

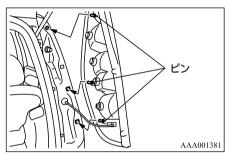
AAA000430

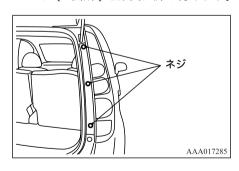
3. ソケットからバルブを引き抜きます。

AAA017982

取り付けるときは

1. 一番上の穴に透明のカバーを取り付けます。

AAA001349

2. ランプ本体のピン（3 箇所）を車体側の穴に合わせ，取り付けます。

AAA001381

3. ネジ（3箇所）を確実に締め付けます。

AAA017285

◆ 番号灯

J01402600368

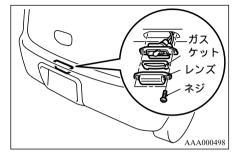
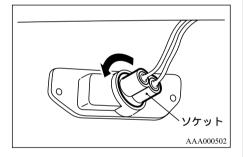
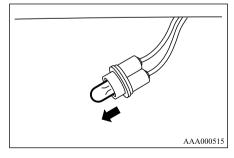
1. ネジ（2 箇所）を外します。レンズとガスケットを取り外し，ソケットを引き出します。

AAA000498

2. ソケットを反時計回りに回して外します。

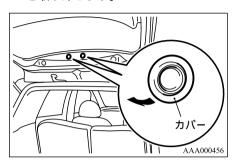
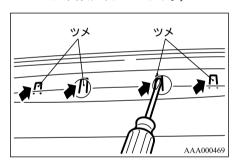
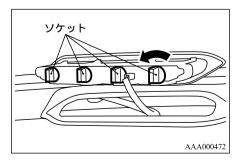
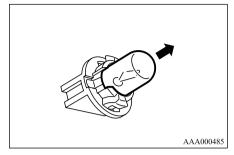
AAA000502

3. ソケットからバルブを引き抜きます。

AAA000515

4. 取り付けるときは，取り外したときと逆の手順で行います。

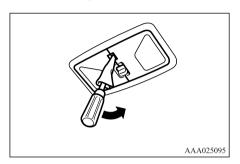
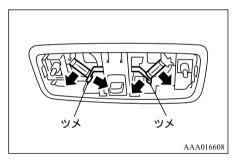
◆ ハイマウントストップランプ

J01402700385

1. テールゲートを開き，カバー（2箇所）を取り外します。

2. 穴の中のツメ部分（4 箇所）を押し，ハイマウントストップランプ本体を外します。（テールゲートを閉じると，ランプ本体が外れています。）

3. テールゲートを静かに閉じてランプ本体を外し，ソケットを反時計回りに回して外します。

4. ソケットからバルブを引き抜きます。

5. 取り付けるときは，取り外したときと逆の手順で行います。

◆ マップ&ルームランプ

J01404400399

1. 先端に布をかぶせたマイナスドライバーなどを差し込んで，レンズをこじて外します。

2. ツメを押しながらバルブを取り外します。

3. 取り付けるときは，取り外したときと逆の手順で行います。

アドバイス

● レンズを取り付けるときは，ツメを車体側の穴に合わせて取り付けます。

メンテナンスデータ

J01600101300

- 日常点検，定期点検の内容およびエンジンオイルなど油脂類の交換時期については，別冊の「メンテナンスノート」に詳しく記載してありますのでお読みください。
- 車両寸法（全長，全幅，全高），車両重量，エンジン型式，排気量については車載の「自動車検査証」をご参照ください。

燃料の量と種類

J01600500134

<table>
<tr><th>容量</th><th colspan="2">使用銘柄</th></tr>
<tr><td rowspan="3">約45L</td><td>除く,ターボ車</td><td>無鉛レギュラーガソリン</td></tr>
<tr><td>ターボ車</td><td>無鉛プレミアムガソリン*
（無鉛ハイオク）
*: 無鉛プレミアムガソリンが入手できないときは,無鉛レギュラーガソリンも使用できますが,エンジン出力は若干低下します。</td></tr>
<tr><td colspan="2">● 燃料は指定されたものを補給してください。→P. 2-3</td></tr>
</table>

オイル類の量と種類

J01601200154

項目	容量		使用銘柄			
			三菱自動車純正銘柄	API分類	ILSAC規格	SAE粘度番号
エンジンオイル	除く，ターボ車	約4.2L（オイルフィルター内約0.2Lを含む）	ダイヤクイーンSM	SM	GF-4	0W—20 5W—30
				SM/CF		10W—30
			ダイヤクイーンSLスーパー	SL相当	—	5W—20 10W—30
			ダイヤクイーンSJ	SJ相当/CF	—	10W—30
	ターボ車	約3.7L（オイルフィルター内約0.3L，オイルクーラー内約0.1Lを含む）	ダイヤクイーンSM	SM/CF	GF-4	10W—30
			ダイヤクイーンSLスーパー	SL相当	—	10W—30
			ダイヤクイーンSJ	SJ相当/CF	—	10W—30

● エンジンオイルは外気温に応じた粘度のものを使用してください。

-30 -20 -10 0 10 20 30 40 ℃

SAE 10W-30

SAE 5W-20,5W-30,0W-20

AAM002249

⚠注意

● ターボ車は0W—20，5W—20および5W—30を使用しないでください。0W—20，5W—20および5W—30は低粘度のオイルであるため潤滑不良がおき，エンジンが焼きつくおそれがあります。10W—30をご使用ください。

アドバイス

● ターボ車以外は工場出荷時は0W—20を入れてあります。0W—20はエンジンの始動性を良くしたり，燃費の向上に効果があります。
● 悪路や山道，登降坂路の走行，短距離走行の繰り返しなど厳しい条件（シビアコンディション）での走行は通常走行と比べてエンジンオイルの劣化が早くなります。このような使われ方をしたときは通常より早めに交換してください。

オイル類の量と種類

J01600600193

項目	容量	使用銘柄
オートマチックトランスミッション(CVT)オイル	約8.1L	三菱純正ダイヤクイーンATF　SPIII
マニュアルトランスミッションオイル	約1.75L	三菱純正ダイヤクイーン ワイドギヤオイル　G-1
リヤディファレンシャルオイル（4WD車）	約1.0L	三菱純正ダイヤクイーン スーパーハイポイドギヤオイル SAE90 (GL-5)
トランスファーオイル（4WD車）	約0.4L	三菱純正ダイヤクイーン スーパーハイポイドギヤオイル SAE80 (GL-5)
ブレーキ液・クラッチ液（マニュアル車）	所要	三菱純正ダイヤクイーン ブレーキフルードスーパー4 (DOT4)
ブレーキ液（CVT車）		

アドバイス

- マニュアル車はブレーキ液タンクとクラッチ液タンクが兼用となっています。

冷却水の量と種類

J01600700178

項目		容量	使用銘柄
冷却水（コンデンスタンク内約0.6Lを含む）	除く，ターボ車	約5.4L	三菱純正ダイヤクイーン スーパーロングライフクーラント
	ターボ車	約6.8L	

ウォッシャー液の量と種類

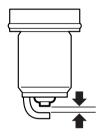
J01600800166

項目	容量	使用銘柄
ウォッシャー液	約2.0L	三菱純正ダイヤクイーン ウインドウウォッシャー液

点火プラグの種類

J01600900183

<table>
<tr><th colspan="3">使用銘柄</th><th>電極部のすきま</th></tr>
<tr><td rowspan="2">除く，
ターボ車</td><td>マニュアル車</td><td>BOSCH:ボッシュ製:　FR7SE，
FR7NPP33</td><td rowspan="2">1.0~1.1mm</td></tr>
<tr><td>CVT車</td><td>BOSCH:ボッシュ製:　FR7SI30</td></tr>
<tr><td colspan="2">ターボ車</td><td>NGK:日本特殊陶業製:　ILZFR6C-K</td><td>0.7~0.8mm</td></tr>
</table>

拡大図(電極部のすきま)

AAM000203

● 点火プラグの点検,交換は三菱自動車販売会社に依頼してください。

バッテリーの種類

J01601400172

項目	形式
除く,寒冷地仕様車	34B19L
寒冷地仕様車	55D23L

⚠警告

- バッテリーの＋端子と－端子を間違えないように取り付けてください。
- バッテリーを取り付けるときは，＋端子から先に接続してください。－端子から先に接続した場合，万一，＋端子が他部品に接触すると火花が発生し，バッテリーが爆発するおそれがあります。

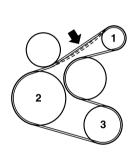
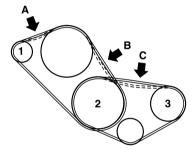
アドバイス

- バッテリー交換後は，お客様が設定した記憶の内容が消去される場合があります。消去されたときは，それぞれの手順でもう一度設定しなおしてください。

整備基準値

J01601000178

項目	サービスデータ		
ブレーキペダル	遊び		3~8mm
	踏み込んだときの床板とのすきま（踏力 約500N{約50kgf}）		70mm以上
クラッチペダル	遊び		4~13mm
	切れたときの床板とのすきま		77mm以上
駐車ブレーキ	マニュアル車	引きしろ（操作力200N{20kgf}）	5~7ノッチ
	CVT車	踏みしろ（操作力200N{20kgf}）	1~2ノッチ

ベルトのたわみ量（ベルトの中央部を約100N{約10kgf}の力で押す。）

＜除く，ターボ車＞

＜ターボ車＞

AAM002164

1. オルタネーター
2. クランクシャフトプーリー
3. エアコンコンプレッサープーリー

項目			新品ベルト装着時	使用中ベルト張り点検時	中古ベルト装着時および使用ベルト張り直し時
除く，ターボ車			4.4~5.4mm	6.8~9.0mm	7.3~8.3mm
ターボ車	オルタネーター用	A	2.8~3.5mm	4.4~5.8mm	4.7~5.4mm
		B	4.1~5.0mm	6.3~8.0mm	6.6~7.5mm
	エアコンコンプレッサー用	C	6.6~8.6mm	8.9~11.2mm	9.3~10.7mm

● ベルトの張り調整，交換は三菱自動車販売会社に依頼してください。

14

タイヤ，ホイールのサイズ

J01600201239

タイヤ，ホイールを交換するときは，つぎのことをお守りください。

- 4輪とも同時に交換してください。
- 指定サイズのタイヤ，ホイールを装着してください。
- タイヤ，ホイールを交換する際は三菱自動車販売会社へご相談ください。

⚠注意

- 指定サイズ以外のタイヤを使用したり，種類の異なったタイヤを混ぜて使用することは，安全走行に悪影響をおよぼしますので，避けてください。
- 4WD車は4輪に駆動力がかかるため，必ず同一指定サイズ，同一種類，同一銘柄および摩耗差のないタイヤを使用してください。サイズ，種類，銘柄や摩耗度合の異なるタイヤを使用すると，駆動系部品に無理がかかり，オイル漏れや焼き付きなどの重大な故障となり，思わぬ事故につながるおそれがあります。
- ホイールは，リムサイズやオフセット（インセット）量が同じでも，車体に干渉するため使えないときがあります。

ホイール	タイヤ
14インチ	175/65R14 82S
15インチ	185/55R15 81V
16インチ	205/45R16 83H，205/45R16 83W

冬用タイヤなどについても表中のサイズのものをご使用ください。
お客様のお車との組み合わせは三菱自動車販売会社にお問い合わせください。

14

タイヤの空気圧

J01600300565

タイヤサイズ		空気圧(kPa {kgf/cm²})
標準タイヤ	175/65R14 82S 185/55R15 81V 205/45R16 83H 205/45R16 83W	220{2.2}
応急用タイヤ	T115/70D14 T125/70D15	420{4.2}

カスタマイズ（機能の設定変更）

J01600400579

つぎの機能をお好みの設定に変更することができます。
詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。

装備	調整機能	設定項目	出荷時の設定
キーレスエントリー	UNLOCKスイッチを押した後,自動的に施錠されるまでの時間→P. 4-2	約30秒	○
		時間を長くする	
	リモコンスイッチで施錠･解錠したときの非常点滅灯による作動確認 施錠時:1回点滅 解錠時:2回点滅 →P. 4-3	施錠時のみ	
		解錠時のみ	
		施錠･解錠時	○
		点滅回数を入れかえる 施錠時:2回点滅 解錠時:1回点滅	
		点滅しない	
	リモコンスイッチでできるパワーウインドウの開閉操作 →P. 4-3	閉じるのみ	○
		開ける,閉じる	
		開閉しない	
セキュリティーアラーム[*1]	システムの設定→P. 4-9	警報作動する	
		警報作動しない	○
パワーウインドウ	エンジンスイッチをOFFにした後に開閉できる時間（タイマー機能）→P. 4-16	約30秒	○
		時間を長くする	
		タイマー機能を働かなくする	
	ロックスイッチをONにしたときに運転席スイッチで開閉できるドアガラス →P. 4-16	全席	○
		運転席のみ	

[*1]：お客様自身でもカスタマイズ（機能の設定変更）可能です。
→「システム作動の設定変更のしかた」P. 4-11

14

装備	調整機能	設定項目	出荷時の設定
センタードアロック（CVT車）	エンジンスイッチがONのときにセレクターレバーをⓅに入れると解錠 →P. 4-6	解錠する：常時	
		解錠する：パワーウインドウロックスイッチをONにすると解錠しない	
		解錠しない	◯
半ドア警告	半ドアのまま走行したときの，警告灯の点滅とブザーによる警告→P. 6-15	警告する	◯
		警告しない	
ヘッドライト	ヘッドライトオートカット機能（自動消灯）→P. 6-17	作動する	◯
		作動しない	
	降車後照明として利用するときのライトスイッチの位置→P. 6-18	≣Dのみ	◯
		≣D◯C≣と≣D	
ヘッドライト（オートライトコントロール付き車）	自動点灯のタイミング（オートライトコントロールセンサーの感度調整） →P. 6-16	標準	◯
		点灯を早くする	
		点灯を遅くする	
	ライトスイッチがAUTOの位置でフロントワイパーを動かすと自動的にヘッドライトが点灯→P. 6-22	点灯する	
		点灯しない	◯
方向指示灯	方向指示灯の点滅に合わせてブザーが鳴る→P. 6-20	ブザーが鳴る	
		ブザーが鳴らない	◯
	方向指示灯が作動するエンジンスイッチの位置 →P. 6-20	ON	◯
		ONまたはACC	
フロントワイパー	車速感応→P. 6-22	あり	◯
		なし	

装備	調整機能	設定項目	出荷時の設定
リヤワイパー	間けつ作動時間→P. 6-24	約8秒	○
		時間を短くする[*2]	
		時間を長くする[*2]	
		連続作動にする	
フロント・リヤウォッシャー	ウォッシャー液を噴射させたときのワイパー作動→P. 6-23，6-24	連動する	○
		連動しない	
ドアミラー（電動リモコンドアミラー付き車）	自動格納・復帰の条件→P. 7-7	車速約30km/h以上で復帰	○
		エンジンスイッチに連動（ONで復帰，OFFで運転席ドアを開くと格納）	
		キーレスエントリーに連動（LOCKで格納，UNLOCKで復帰）	
		自動格納・復帰しない	
マップ＆ルームランプ	ドアを閉じたとき，キーを抜いたときに消灯するまでの時間（遅延消灯）→P. 8-5	約15秒	○
		時間を短くする	
		時間を長くする	
		遅延消灯機能を働かなくする[*3]	

[*2]：連続作動モードあり
→「リヤワイパー／ウォッシャースイッチ」P. 6-24

[*3]：この設定にすると，マップ＆ルームランプはキーを抜いても点灯しません。

A~Z

A/C 9-4，9-16
ABS警告灯 7-26
ABS(アンチロックブレーキシステム) 7-25
EPS 7-28
ISO FIX対応チャイルドシート 5-25
ODO(オドメーター) 6-4
SRSエアバッグ 5-31
SRSエアバッグ警告灯 5-24，5-39
SRSカーテンエアバッグ 5-31，5-38
SRSサイドエアバッグ 5-31，5-36
TRIP(トリップメーター) 6-4

ア

アームレスト(ひじ掛け) 5-6
アクティブスタビリティコントロール 7-29
アシストグリップ 8-10
アルミホイールのお手入れ 11-11
アンチロックブレーキシステム(ABS) 7-25
アンテナ 10-29

イ

ISO FIX対応チャイルドシート 5-25
INVECS-III CVT 7-12

ウ

ウインカー(方向指示レバー) 6-20
ウインドウガラスのお手入れ 11-8
ウォッシャー
　ウォッシャー液 12-2，14-4
　ウォッシャー液の点検・補給 11-3
　フロントウォッシャースイッチ 6-23
　リヤウォッシャースイッチ 6-24
運転席SRSエアバッグ 5-31，5-33

エ

エアコン
　エアコンの上手な使い方 9-26
　オートエアコン 9-16
　クリーンエアフィルター 9-27
　吹き出し口 9-2
　マニュアルエアコン 9-4
エアバッグ
　SRSエアバッグ 5-31
　SRSエアバッグ警告灯 5-24，5-39
　SRSカーテンエアバッグ 5-31，5-38
　SRSサイドエアバッグ 5-31，5-36
　運転席SRSエアバッグ 5-31，5-33
　助手席SRSエアバッグ 5-31，5-34
ABS 7-25
ASC OFF スイッチ(アクティブスタビリティコントロールオフスイッチ) 7-30
ASC(アクティブスタビリティコントロール) 7-29
エンジンオイル 12-2
　エンジンオイルの補給 11-2
　エンジンオイル量の点検・補給 M
エンジン型式 S
エンジン警告灯 6-14
エンジンスイッチ 7-8
エンジンのかけ方 7-9
エンジンフード(ボンネット) 4-20
エンジンブレーキ 2-13

M 別冊の『メンテナンスノート』をお読みください。
S 車載の『自動車検査証』をご参照ください。

エンジンルーム 1-15

オ

オイル 14-3
応急用スペアタイヤ 13-15
オーディオ
  AM/FM電子同調ラジオ＆CDプレーヤー（CDチェンジャー,MDプレーヤー,カセットプレーヤー対応） 10-11
  AM/FM電子同調ラジオ＆CDプレーヤー（時計付き） 10-2
  オーディオの上手な使い方 10-27
オートエアコン 9-16
オートマチックトランスミッション
  オートマチックトランスミッション(CVT)オイル 14-4
  CVT 7-12
  CVT車の運転のしかた 7-20
  セレクターレバー 7-13
オートライトコントロール 6-16
オーバーヒート 13-32
お手入れ
  アルミホイール 11-11
  ウインドウガラス 11-8
  サンルーフ 11-10
  樹脂部品 11-10
  親水鏡面ドアミラー 11-9
  洗車 11-6
  塗装の補修 11-11
  フロントドア撥水ガラス 11-8
  本革 11-5
  ワイパー 11-10
  ワックス 11-7
オドメーター（積算距離計） 6-4

カ

カードホルダー 8-2
外装品のお手入れ 11-6
カスタマイズ（機能の設定変更） 14-9
ガソリン（燃料） 14-2
カップホルダー 8-7
寒冷時の取り扱い 12-2

キ

キー 4-2
キーレスエントリー 4-2
キックダウン 2-16
機能の設定変更（カスタマイズ） 14-9

ク

区間距離計（トリップメーター） 6-4
曇り取り
  リヤウインドウデフォッガースイッチ 6-25
クラクション（ホーンスイッチ） 6-25
クラッチ
  クラッチペダル 14-6
クリープ現象 2-16
クリーンエアフィルター 9-27
グローブボックス 8-6

ケ

警告
  シートベルト警告 5-21

Ⓜ 別冊の『メンテナンスノート』をお読みください。
Ⓢ 車載の『自動車検査証』をご参照ください。

警告灯 6-9， 6-13
SRSエアバッグ警告灯 5-24， 5-39
ABS警告灯 7-26
エンジン警告灯 6-14
充電警告灯 6-14
電動パワーステアリング警告灯 7-28
燃料残量警告灯 6-6
半ドア警告灯 6-15
プリテンショナー警告灯 5-24， 5-39
ブレーキ警告灯 6-13
ヘッドライトオートレベリング警告灯 6-20
油圧警告灯 6-14
けん引 13-33

コ

交換
タイヤ 13-17
バルブ（電球） 13-45
ヒューズ 13-40
工具 13-10
後退灯 13-43
小物入れ 8-6
グローブボックス 8-6
センターパネルボックス 8-6
コンビニフック 8-9

サ

サンバイザー 8-2
サンルーフ 4-17
サンルーフのお手入れ 11-10

シ

シート 5-2
チャイルドシート 5-25
フロントシート 5-4
ヘッドレスト 5-9
リヤシート 5-7
シートベルト 5-18
2点式シートベルト 5-22
3点式シートベルト 5-19
プリテンショナー機構付シートベルト 5-23
シートベルト警告 5-21
CVT
INVECS-III CVT 7-12
オートマチックトランスミッション(CVT)オイル 14-4
室内灯 8-4
マップ＆ルームランプ 8-5
シフトレバー 7-11
ジャッキ 13-10
ジャッキアップ 13-13
車幅灯 6-15， 13-43， 13-49
車幅灯表示灯 6-13
車両重量 S
車両寸法 S
充電警告灯 6-14
修理の連絡先 M
樹脂部品のお手入れ 11-10
助手席SRSエアバッグ 5-31， 5-34
親水鏡面ドアミラー 7-7
お手入れ 11-9

M 別冊の『メンテナンスノート』をお読みください。
S 車載の『自動車検査証』をご参照ください。

ス

水温計 6-8
スピードメーター 6-4
スペアタイヤ 13-15

セ

制動灯 13-43
積算距離計（オドメーター） 6-4
セキュリティーアラーム 4-9
セルフ式ガソリンスタンド 2-24
セレクターレバー 7-13
洗車 11-6
センタードアロック 4-5
センターパネルボックス 8-6

タ

ターボ車の取り扱い 7-11
タイヤ
　空気圧 14-8
　空気圧の点検・調整 11-4
　スペアタイヤ（応急用） 13-15
　タイヤチェーン 12-2，12-6
　タイヤの摩耗 11-4
　タイヤメンテナンス 11-3
　タイヤローテーション 11-3
　タイヤ，ホイールのサイズ 14-7
タイヤ交換 13-17
タイヤパンク応急用修理キット 13-23
タコメーター 6-4

チ

チェーン（タイヤチェーン） 12-6
チャイルドシート 5-25
チャイルドプロテクション（後席ドア安全施錠装置） 4-7
駐車ブレーキ
　駐車ブレーキ 7-2
　ブレーキ警告灯 6-13
チルトステアリング 7-4

テ

DCソケット 8-3
定期点検 M
テールゲート 4-7
テールランプ（尾灯）
　バルブ（電球）の交換 13-54
　バルブ（電球）のワット数 13-43
点火プラグ 14-5
電球（バルブ） 13-43，13-45
電動パワーステアリング 7-27

ト

ドア 4-4
　施錠・解錠 4-4
　センタードアロック 4-5
　チャイルドプロテクション 4-7
ドアミラー 7-5
時計 8-3
トランスファーオイル 14-4
トリップメーター（区間距離計） 6-4

ナ

内装品のお手入れ 11-5
ナンバープレートランプ（番号灯）
　バルブ（電球）の交換 13-55
　バルブ（電球）のワット数 13-43

M 別冊の『メンテナンスノート』をお読みください。
S 車載の『自動車検査証』をご参照ください。

ニ

荷室の作り方　5-10
日常点検　M

ネ

燃料　14-2
燃料計　6-5
燃料残量警告灯　6-6
燃料タンクの水抜き　12-2
燃料噴射装置の洗浄　11-2
燃料補給
　セルフ式ガソリンスタンド　2-24
燃料補給口（フューエルリッド）　4-21

ハ

パーキングブレーキ（駐車ブレーキ）　7-2
排気量　S
ハイドロプレーニング現象　2-12
ハイマウントストップランプ　13-43，13-56
ハザードランプスイッチ（非常点滅灯スイッチ）　6-21
発炎筒　13-10
バックミラー（ルームミラー）　7-4
バックランプ（後退灯）
　バルブ（電球）の交換　13-54
　バルブ（電球）のワット数　13-43
バッテリー　12-2，14-5
バッテリー上がり　13-29
バッテリー液量の点検・補給　M
バニティーミラー　8-2
バルブ（電球）
　交換　13-45
　ワット数　13-43
パワーウインドウ　4-15
パワーステアリング
　電動パワーステアリング　7-27
パンク応急用修理キット　13-23
パンク（タイヤ交換）　13-17
番号灯　13-43，13-55
半ドア警告灯　6-15
ハンドルの上下調整（チルトステアリング）　7-4

ヒ

ひじ掛け（アームレスト）　5-6
非常点滅灯スイッチ　6-21
非常点滅表示灯　6-13
尾灯　13-43
ヒューズ　13-38
表示灯　6-9，6-13
　アクティブスタビリティコントロール(ASC)作動表示灯　7-31
　アクティブスタビリティコントロール(ASC)OFF表示灯　7-31
　車幅灯表示灯　6-13
　スポーツモード表示灯　7-19
　非常点滅表示灯　6-13
　フロントフォグランプ表示灯　6-13
　ヘッドライト上向き表示灯　6-13
　方向指示表示灯　6-13
日よけ（サンバイザー）　8-2

フ

フェード現象　2-13
フォグランプ
　フロントフォグランプ　6-21，13-43，13-52
　フロントフォグランプスイッチ　6-21
　フロントフォグランプ表示灯　6-13

M 別冊の『メンテナンスノート』をお読みください。
S 車載の『自動車検査証』をご参照ください。

フューエルリッド（燃料補給口） 4-21
フラットシートの作り方 5-16
プリテンショナー警告灯 5-24， 5-39
フルタイム4WD 7-23
ブレーキ
アンチロックブレーキシステム(ABS) 7-25
ブレーキ液 14-4
ブレーキ液量の点検・補給 M
ブレーキ警告灯 6-13
ブレーキパッドの摩耗 13-38
ブレーキペダル 14-6
ブレーキランプ（制動灯）
バルブ（電球）の交換 13-54
バルブ（電球）のワット数 13-43
フロントウォッシャースイッチ 6-23
フロントシート 5-4
フロントドア撥水ガラスのお手入れ 11-8
フロントフォグランプ 13-43， 13-52
フロントフォグランプスイッチ 6-21
フロントフォグランプ表示灯 6-13
フロントワイパースイッチ 6-22

へ

ベーパロック 2-13
ヘッドライト 6-15， 13-43， 13-46， 13-47， 13-48
ヘッドライト上向き表示灯 6-13
ヘッドライトオートレベリング警告灯 6-20
ヘッドライトレベリング 6-19
ヘッドレスト 5-9
ベルトのたわみ量 14-6

ホ

ホイール
タイヤ，ホイールのサイズ 14-7
ホイールカバー 13-21
方向指示灯 13-43， 13-50， 13-51， 13-54
方向指示表示灯 6-13
方向指示レバー 6-20
ホーンスイッチ 6-25
ポジションランプ（車幅灯）
バルブ（電球）の交換 13-49
バルブ（電球）のワット数 13-43
ボトルホルダー 8-8
ボンネット（エンジンフード） 4-20

マ

マップランプ 8-5， 13-45， 13-57
マニュアルエアコン 9-4
マニュアルトランスミッション 7-11

ミ

ミラー
親水鏡面ドアミラー 7-7， 11-9
ドアミラー 7-5
ルームミラー 7-4

メ

メーター
オドメーター（積算距離計） 6-4
水温計 6-8
スピードメーター 6-4
タコメーター 6-4
トリップメーター（区間距離計） 6-4
燃料計 6-5

M 別冊の『メンテナンスノート』をお読みください。
S 車載の『自動車検査証』をご参照ください。

15

メーター照度調整ダイヤル 6-8
メンテナンスデータ 14-2

ユ

油圧警告灯 6-14

ラ

ライトスイッチ 6-15
ラゲッジフック 8-9
ランプ
　バルブ(電球)の交換 13-45
　フロントフォグランプ 6-21
　マップランプ 8-5
　ルームランプ 8-5
　ワット数 13-43

リ

リヤウインドウデフォッガー(曇り取り)スイッチ 6-25
リヤウォッシャースイッチ 6-24
リヤコンビネーションランプ 13-54
リヤシート 5-7
リヤディファレンシャルオイル 14-4
リヤワイパー／ウォッシャースイッチ 6-24

ル

ルームミラー 7-4
ルームランプ 8-5, 13-45, 13-57

レ

冷却水 12-2, 14-4
冷却水量の点検・補給 M

ワ

ワイパー 6-22, 12-2
　フロントワイパースイッチ 6-22
　リヤワイパースイッチ 6-24
ワイパーウォッシャースイッチ 6-24
ワイパーのお手入れ 11-10
ワックスのかけ方 11-7

M 別冊の『メンテナンスノート』をお読みください。
S 車載の『自動車検査証』をご参照ください。

純正部品のおすすめ

- お客様のお車に最適な純正部品をご使用ください。
- 純正部品は，弊社の新車に使用されているものと同じ部品で，厳しい検査に合格し，その品質が保証されています。
  また，三菱自動車販売会社を通じてお求めになれます。
- 新車時の性能と快適な乗り心地を長く維持していただくために，点検や交換の際は，三菱自動車販売会社にご相談ください。
- 三菱自動車指定の純正部品および油脂類以外のものを使用すると，故障などの原因になることがあります。
- 純正部品には右のマークが貼ってあります。

MITSUBISHI MOTORS
GENUINE PARTS

事故が起きたときは！

あわてずにつぎの処置をしてください。

●継続事故防止

続発事故を防ぐため，車を路肩などの安全な場所に移動させ，エンジンを止めます。

●負傷者の救護

- 医師，救急車などが到着するまでの間，可能な応急手当を行います。
  この場合，とくに頭部に傷などがあるときは，そのままの姿勢で動かさないようにしますが，続発事故のおそれがあるときは安全な場所に移動させます。
- 外傷がなくても医師の診断を受けてください。
  後になってから後遺症が出るおそれがあります。

●警察への届け出

事故が発生した場所，状況および負傷者や負傷の程度などを警察官に報告し指示を受けます。

●相手方の確認とメモ

相手方の氏名，住所，電話番号を確認し，事故の状況をメモします。

●ご購入された販売会社と保険会社への連絡

万一にそなえて

安心のため，自賠責保険（強制保険）のほかに任意自動車保険にも加入しましょう。
詳しくは三菱自動車販売会社へご相談ください。